

30th ANNIVERSARY



ILLUSTRATION FIGURE-TOYS VISUAL WORK CHARACTERS COMIC WORK

0784886413508

ISBN4-88641-250-5 C9476 ¥2000E

定価:本体2,000円 +税

雑誌66035-73

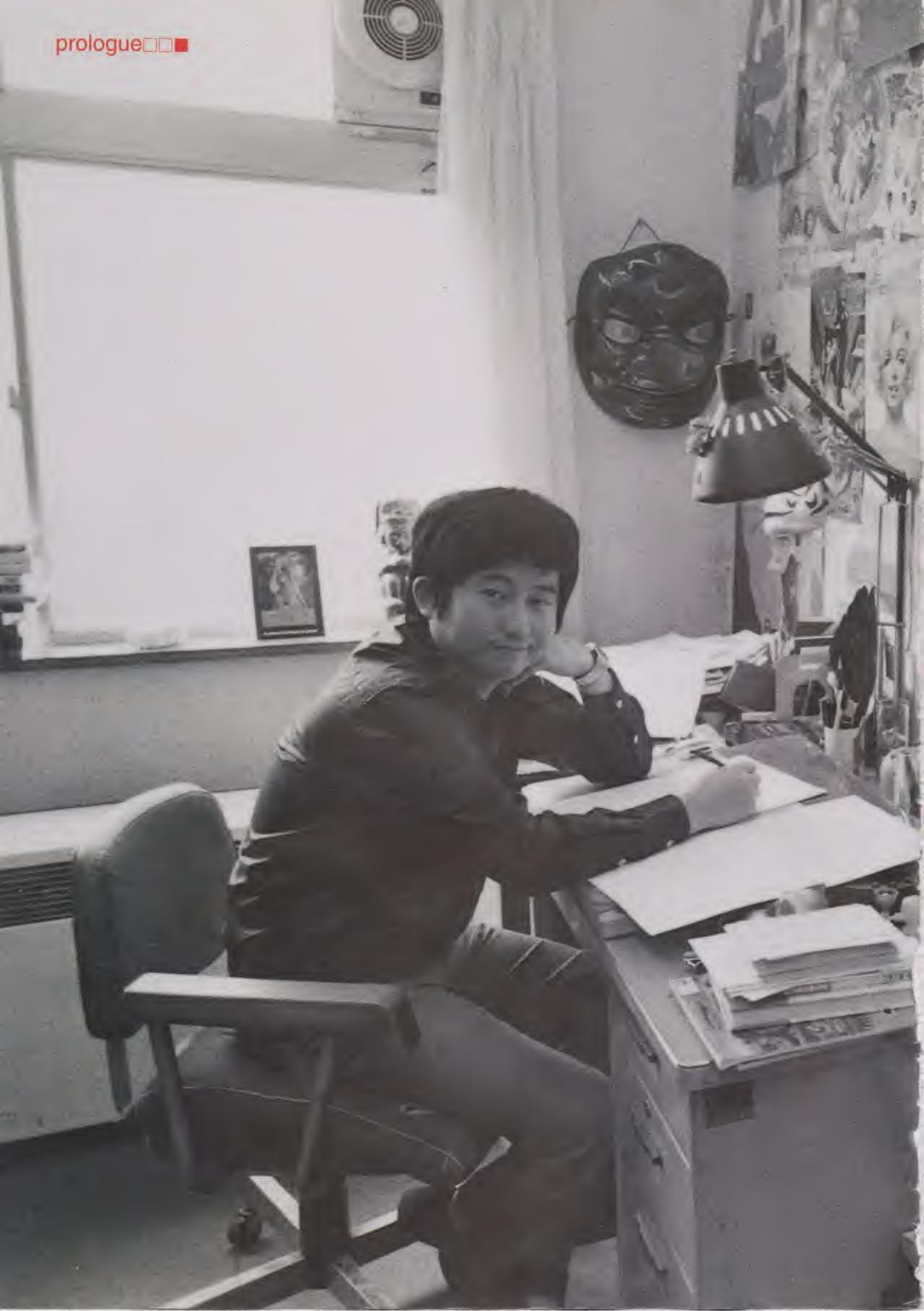
☆タツミムック

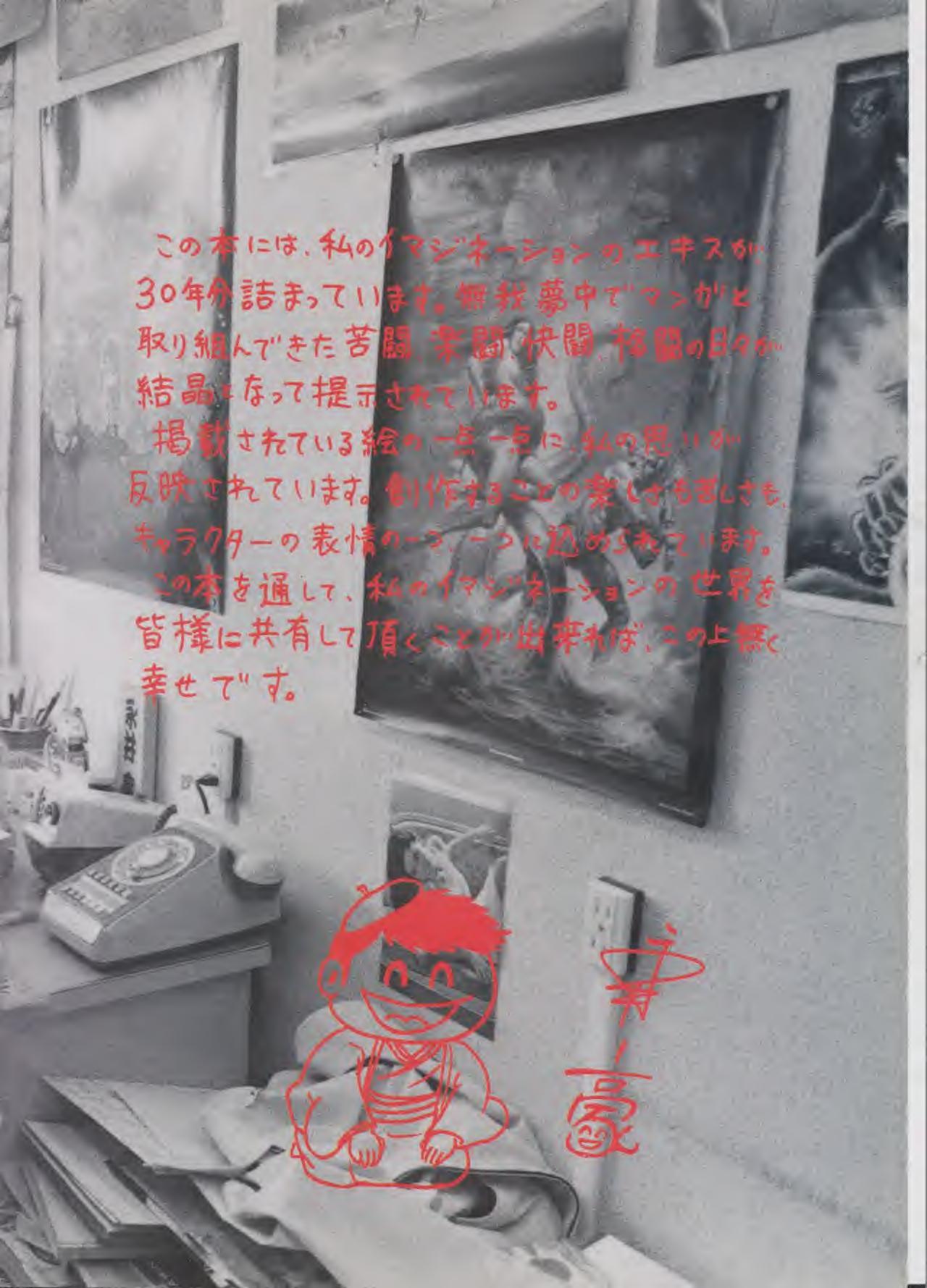
TATSUMI MOOK

30th anniversary

GO NAGAI 30th ANNIVERSARY GO NAGAI MILLS HOUSE AND HOUSE OF DIRECTION INC., ED NAGAI

DIRECTED BY DYNAMIC PRODUCTION INC., GO HAGAI
ILLUSTRATION FIGURE-TOYS VISUAL WORK CHARACTERS COMIC WORK





GO NAGAI All His Works

Contents

FEATURES

Illustration 005/ Figure-toys 037

Talk Between Go Nagai and Yoshikazu Yasuhiko●永井豪×安彦良和 054

Visual Work 059/ Characters 075/ Comic Work 091





CHAPTERS

Prologue 003

Dynamic Oversea 088

His History 112

Explain Go World 113

Haruka Takachiho●高千穂遙

Gosaku Ohta●桜多吾作

Shoichi Inoue #上章一

Sho Fujita 藤田尚

Kenichi Yamaoka 山岡謙一

Yasumi Kobayashi

小林泰三

Studio Go-chang 126

Dynamic Polaroid Gallery 128

List Of His Work 130

Epilogue 142

Present for readers 144

INTERVIEW

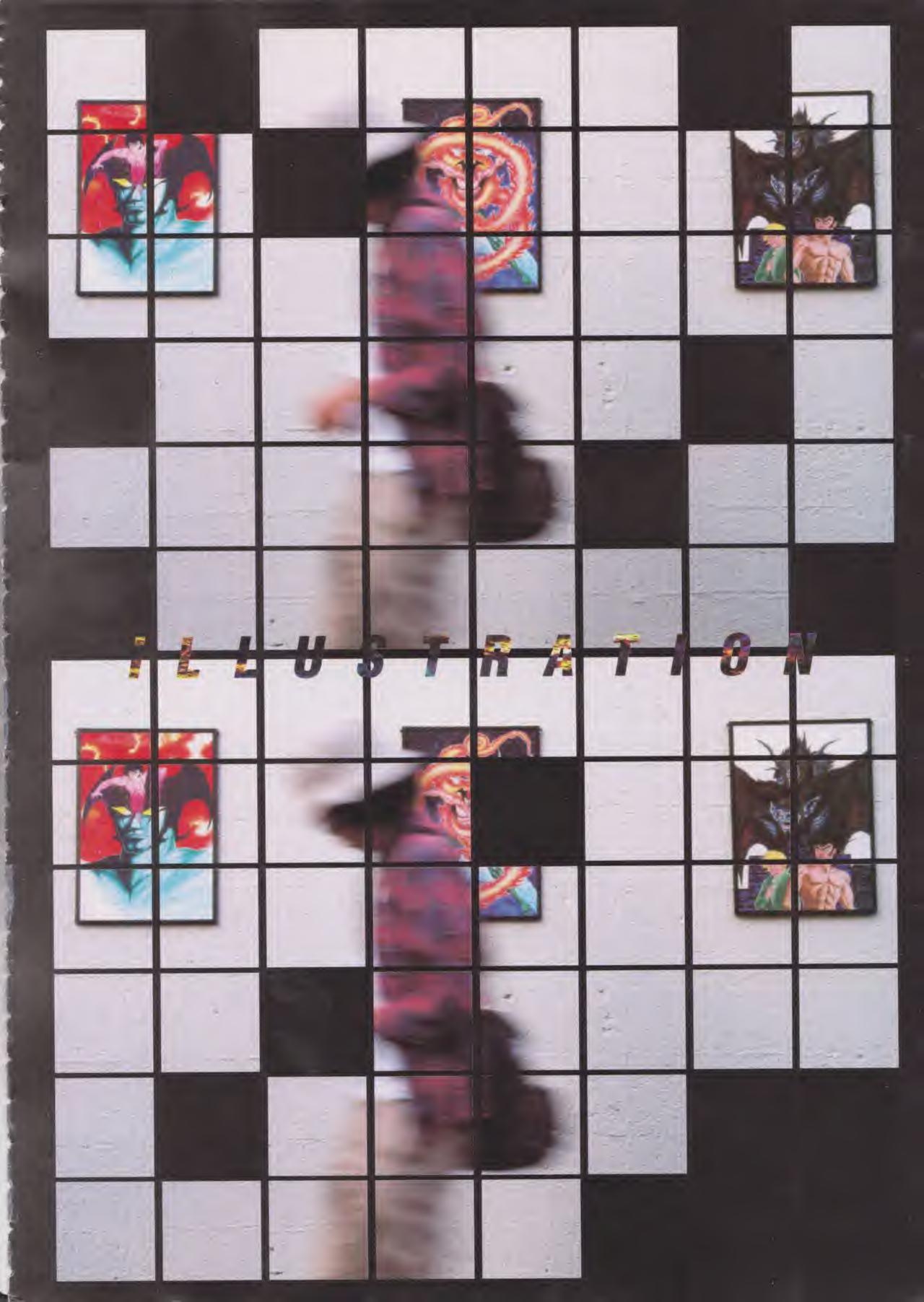
Shotaro Ishinomorio石ノ森章太郎 036

Ken Ishikawa • 石川 賢 058

Keigo Oyamada(cornelius) 小山田圭吾 074

Jun Togawa 戸川純 090







30In Anniversary lithographs 2 sep '97 - 6 sep '87 BUNGEISHUNJU GALLERY GINZA TISKYO



[Metamorphosis]







大都社 1996

Wazinger Z











Great Mazinger 70-1-75055-

大部社 1986



大都社 1986



大都社 1986

UFO ROSOT Grendizer UFOロボ グレンダイザー



立國書房 1981



立風書房 1981









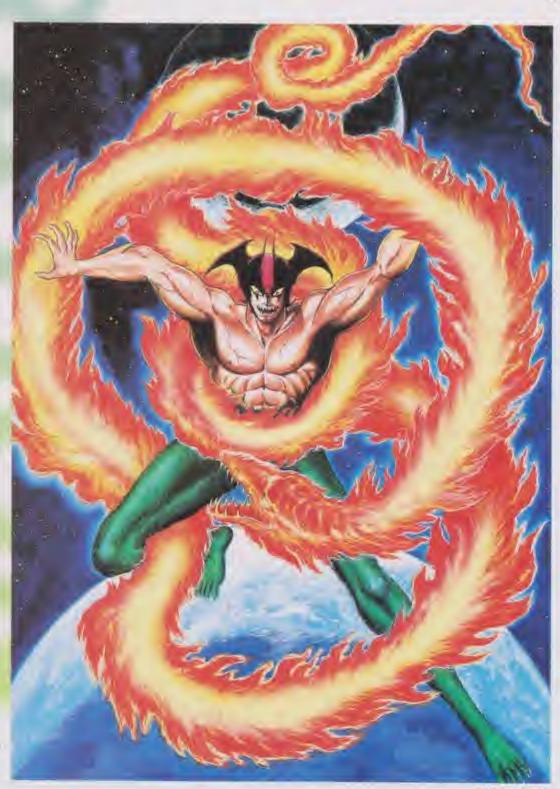
バンダイ 1990



興龄社 1986

DEVILMAN

デビルマン



M 脱社 1987











日本文芸社

開談社 1978

VIOLENCE JACK

バイオレンスジャック



日本文芸社 1989



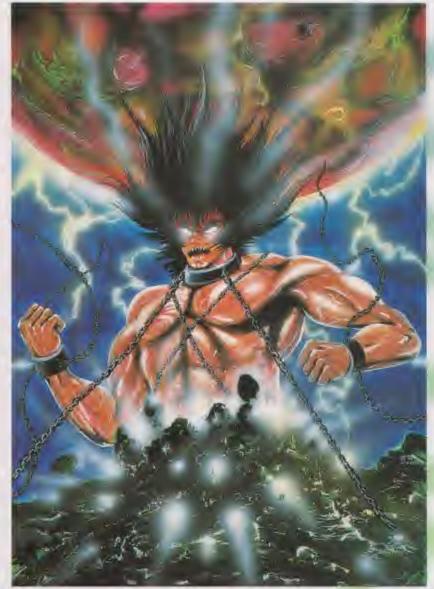
徳間書店 1978

MAQ DANTE



SUSANO O DENSETSU 凄/王伝説





角川書店 1985



JUSHIN RIGER







朝日ソノラマ 1980



Maro



助文社 1989

10X11 1000



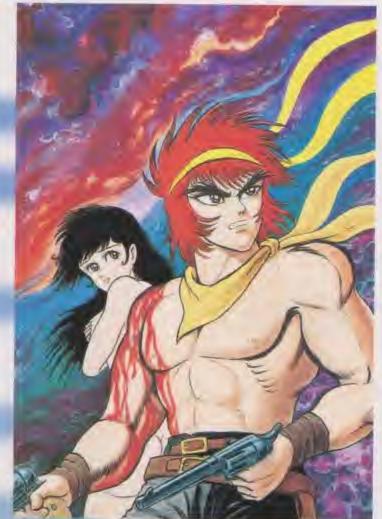
Abashiri Ikka astth-*







秋田書店 1985



Gakuen Taikutsu Otoko ガクエン退風男



Burai The Kid

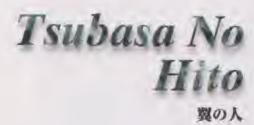
無頼 ザキッド 角川書店 1991







Maboroshi Panty まぼろしパンティ

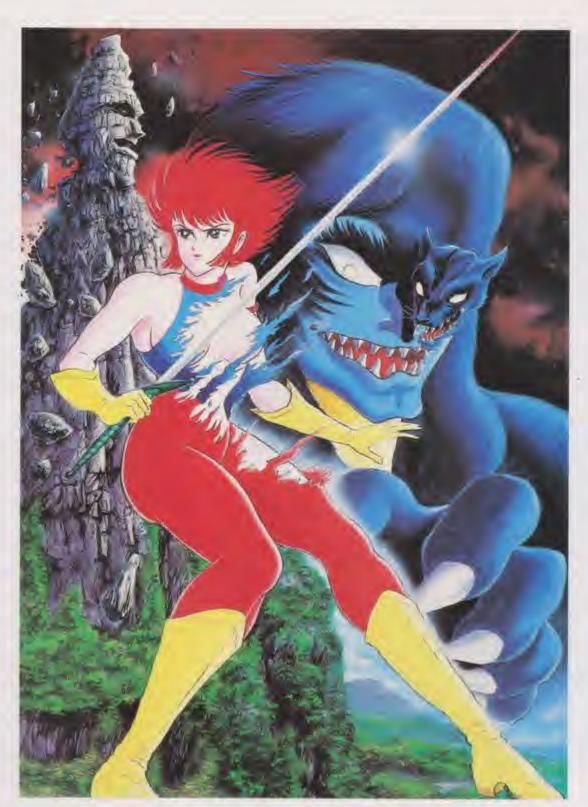




角川書店 1.986







CUTEY HONEY

キューティーハニー

中央公論社 1992



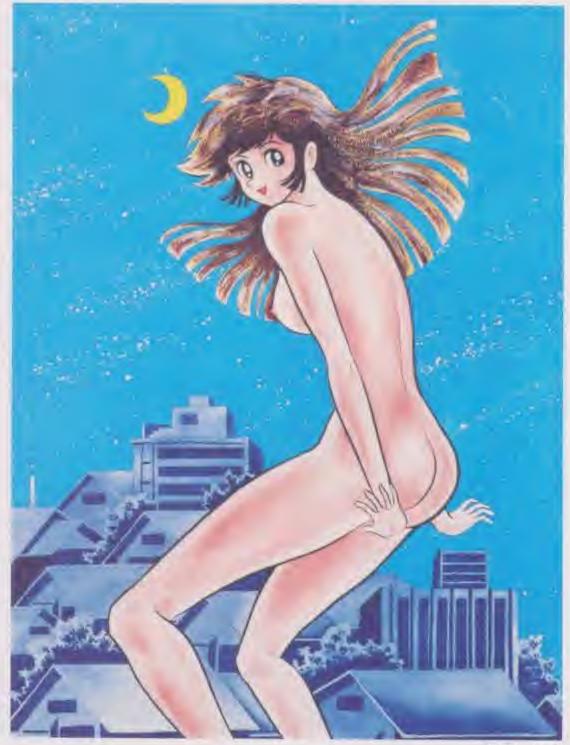
東映ビデオ



集英社 1977

HARENCHI GAKUEN

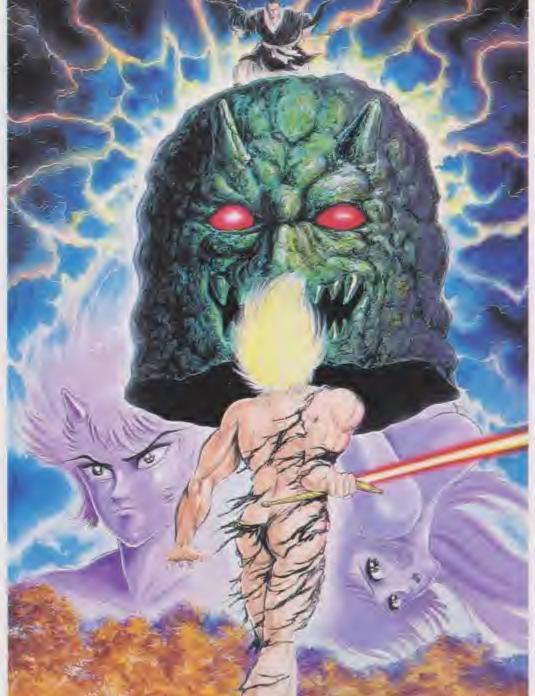
ハレンチ学園



集英社 1972



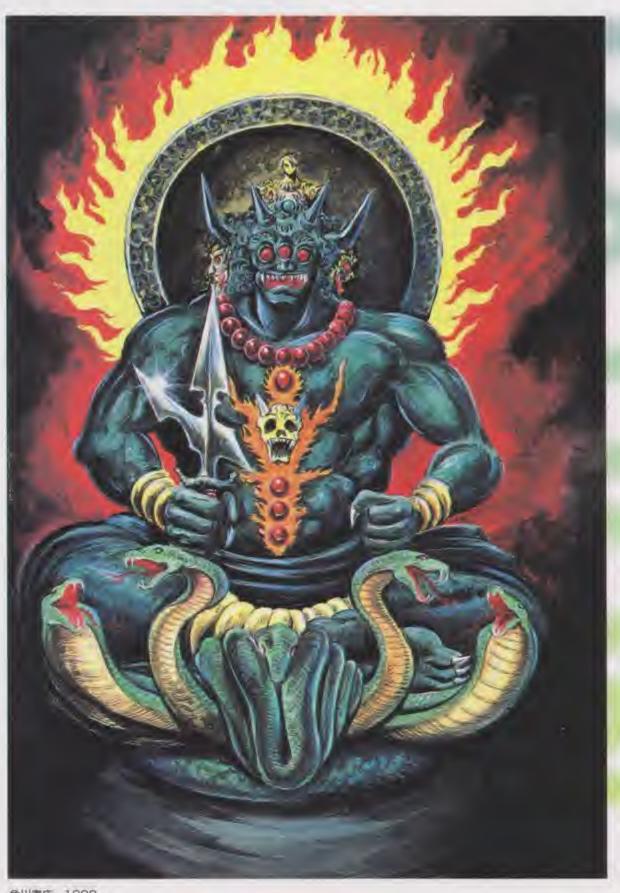




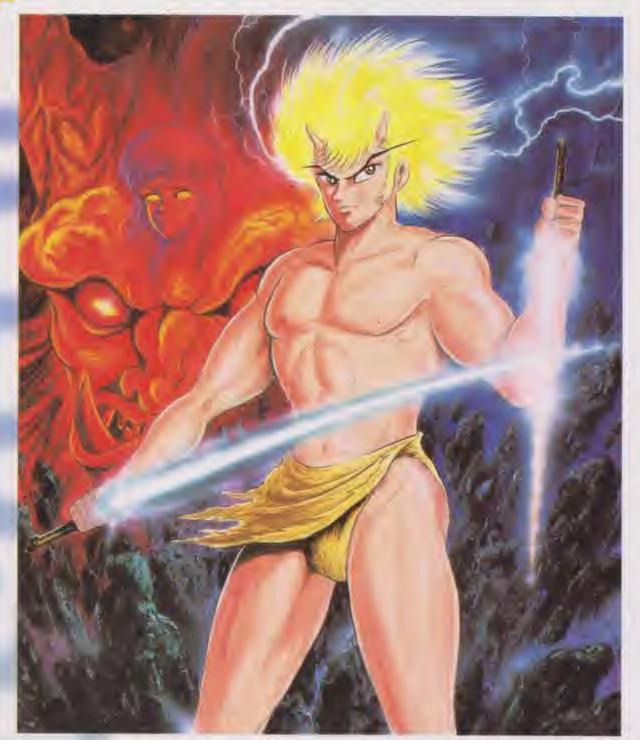
角川書店 1988



調談社 1977



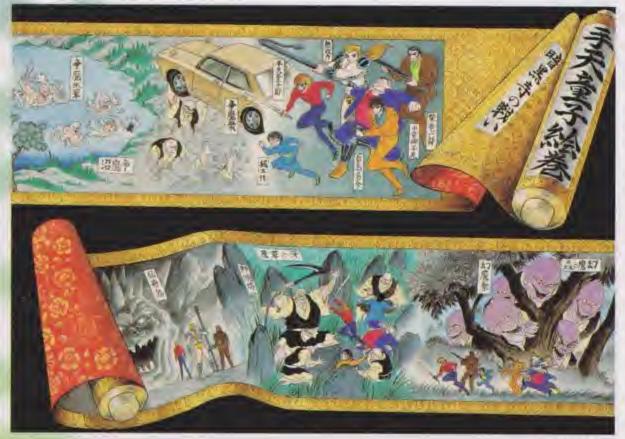
角川書店 1988



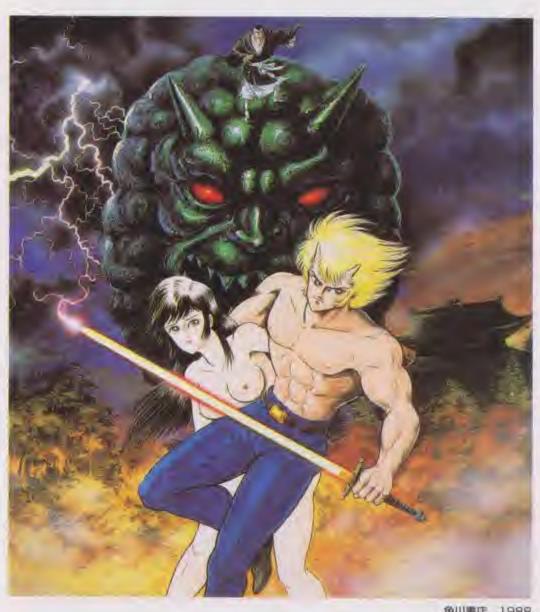
角川書店 1989



角川書店 1988



開談社 1986



角川層店 1988



――30ン年前ですか、永井さんが先生の元を訪れた時のことは覚えてらっしゃいますか。風呂敷ひとつで伺ったということですが。

石ノ森 そりゃあ覚えてるさ。その風呂 敷包みの中身が、全部原稿なんだよな、マ ンガの。アシスタント希望のコでも、自分 が描いたキャラクターを 4、5 枚持ってく ればいいほうなんだ。けど、彼の場合はち ゃんとしたストーリーになっているものを 何本も持ってきた。量もすごいが完成度も 抜群だったね。もう最初から違ってた。

心構えみたいなものが、ですか。

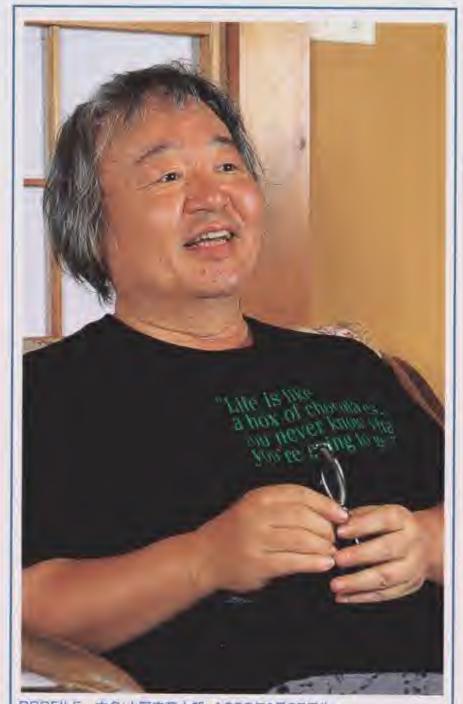
石ノ森 そうそう。積極的に難しい部分 をやりたがったりね。難しいことを面白が れるようなコは、飲み込みも早いし、グン グン上達していった。豪ちゃんはその見本 みたいなものだったな。

先生からご覧になって、特に際立っていたのはどんな部分でしょう。

石ノ森 アシスタントとして、まずは線の引き方から勉強しなけりゃいけない。普通はそれに1年くらいかかるんだよ。それからキチッとしたバックを描かせるようになる。大概はここまでで2、3年は経ってるんだ。でも豪ちゃんの場合はウチに来るまでに、自分でそこまでの過程を済ませていた。何か際立っていたかって、能力だよ。

一何かアドバイスはされました?

石ノ森 普段からボクはアレコレいわないほうだから。手伝いしていれば、その人の構成の仕方とか、構図の取り方とか、直接見れるじゃない。それ自体がすごく勉図



PROFILE 本名:小野寺草太郎。1938年1月25日生。 1954年「二級天使」でデビュー。 その後「サイボーグ009」『仮面ライダー』などを世に送り出した 日本を代表するマンガ家のひとり。永井豪の師でもある。

の世代のマンガ家だと、まだまだ自己規制をかけているところがあるんだよ。つまりタブーとされていたテーマがいくつかあって、そこへは踏み込まないでおこう、とか。 シモネタや残酷なシーンですか。

石ノ森 うん。ちょうどその頃、仲間のマンガ家たちと新漫画党っていう会を作っていたんだ。ルールを少し破った、新しいマンガを描こうという連中の会。でもまだルールに縛られていたわけだ。児童マンガはかくあるべきっていうね。だからそのルールを破れば、かなりマンガが新しくなるって思いはあった。あってもやらなかったんだけど、豪ちゃんたちの世代には、それが不満なんだ。そこで一歩踏み出さないと、新しいことは何もできないって気持ちが、随分あったと思うよ。ギャグマンガにでも、その一線を踏み越えようとしていた形跡が見られるからね。

一おかけで当時のPTAからは、そうと うキツい攻撃を受けましたが。

石ノ森 ちょうどマンガが持っているパワーみたいなものが、認められ始めた頃なんだよね。だからPTAや社会学者たちが豪ちゃんを非難したのさ。社会全体がマンガを敵視していた時に登場しただろ、豪ちゃんは。スケーブゴートだったんだろうね。まあ、そうなりやすいテーマではあったけど(笑)。

出る杭は打たれる、ですか。

石ノ森 でも豪ちゃんがタブーを破ってくれたおかげで、マンガのジャンルが一気にブワァーッと広がった気がするんだ。し

石ノ森草太郎

「水井豪はオキテ破りである」

少年時代がある人なら、誰もが一度は憧れた永遠のヒーロー・仮面ライダー生みの親にして、 我らが豪ちゃん、永井豪育での親でもある石ノ森章太郎氏。 あまたある名作の原点は、ここにあったといっても過言ではない――。

強なんだよ。いかに盗み取るか、だと思うんだ。

永井さんに盗まれたというか、伝わっている なあ、と思う部分はあります?

石ノ森 伝えたというより、ふたりは同じ感性のなかで、ものを探していると思うんだ。

一おふたりとも手塚治虫さんの影響を受けておられる、というのもその理由のひとつでしょうか。

石ノ森 そうだろうね。豪ちゃんも手塚治虫のマンガが好きだっていってたし、ボクも手塚マンガで育ったから、感性が似てくるんでしょう。手塚治虫の世界を、さらにバリエーションを増やして描こうとしたのがボクなんだけど、そのマンガ家のところへ弟子入りにきたんだからさ、豪ちゃんは。それをもっと増幅させようという気概があったろうと思うんだよね。

先生の作品には、仮面ライダーやサイボーグ 009といった、心に「負」を背負って戦うヒー ローが多く登場されますよね。異形のものである が故の苦悩を持っているような。永井さんのデビルマンや鬼には、ある部分で石ノ森先生の影響が 表れていると思うんですが。

石ノ森 ボクも当時にしては、割と新しいマンガを描いてたつもりなんだけど、彼もその精神は一生懸命取り入れようとしていたんじゃないかなあ。ただボクの場合はさ、オブラートに包んで、できるだけまろやかに表現してたんだけど、豪ちゃんはマンガをもっとシビアに、リアルにしたいと考えていたと思うんだ。

一同じ影のあるヒーローが主人公でも、たとえば「人間なんて」っていうセリフが、石ノ森先生だったらつぶやくような感じになると思うんですが、 永井さんだとバーストのフキダシに入っている、 というイメージはあります。

石ノ森 同じものを描こうとしていても、表現法にはそれだけの差があるということだろうな。モチーフによっても表現の仕方は変わってくるし。我々

かも青年漫画誌が、その直後くらいに世に出てきた。 それによってセックスとか宗教とか、マンガでやっちゃマズイって、ぼくらも社会全体も考えていたものが全部自由になった。だから、豪ちゃんが描いてたようなマンガには、必然性があったんだよ。 ちょっと早かっただけでさ。

――やっぱり、女性の裸は描いてみたいモチーフ なんでしょうか。

石ノ森 いや、裸っていうよりタブーを破ったマンガを描きたいと、みんな思ってたわけさ。なかなかやれなかったからね、やりたいと思っても。で、豪ちゃんはそれを簡単にやっちゃったと。彼はさ、読者の目を自分の世界に引っ張ってくる表現方法をもってるんだよ。ボクがつぶやくところを向こうは絶叫させちゃうって、さっきあなたがいっていたけれども、それは確かにあって。ボクらは照れるところでも、彼は照れずにできちゃう。その違いなんだろうね。





30th ANNIVERSARY GARAGE KIT ジレーヌ・空画の類(VOLKS) 油形・画句昭治













▲VOLKS アプロタイA ▼VOLKS ガラタド7





▲VOLKS グレンダイガー ◀VOLKS グレートマジンガー ▶VOLKS ダイアナンA



▲VOLKS ボスボロット TVOLKS SU-ISDIL



▲VOLKS 妖獣ジンメン



▲VOLKS マジンサーガ

VIII



▲VOLKS ハレンチ学園



▶ VOLKS デビルマン 異郷書

▲VOLKS あばしりー系





▲ MAX FACTORY デビルマン



▲MAX FACTORY ダレンダイザー ▲MAX FACTORY マジンガーZ











▲VOLKS シレーヌ脚・愛



▲VOLKS シレーヌ舞・恨



several hundre now very popul





AVOLKS シレーヌ舞・III

うからは年前、デビルマンのカレーシキット(以下ガレキ)を初めて過った側り解消圧、現在さまざまなメーカーから発売されているデビル テンのガレキは、側向氏の呼吸が基本となっている。ガレキという作を進え、水外載という理解までもはえようとする側向性論に関ってある。 圓句昭浩



元々全く迎う仕川をしてたんです。お客としてホー クスには通っていたんですけどね、小さな怪獣だった と思うんですけど、粘土で造って。上手くできたもん だから店に持って行ったんですよ。それか社長の目に とまりまして、この世界に入ったわけです。まだガレキ というモノが知られていなかったから、何を造ろうか 模索している状態でした。悩み抜いた末たどり着いた のがテビルマンなんです。リアルタイムで読んでまし たね、本当に前岸的でした。こんな世界があるなんで、 思いもしませんでしたから。

それで、テビルマンのガレキを造らせてくれって、ダ イナミックプロへお願いに行こうとしたんですが、ガレ キを説明するモノがないわけてすよ。たまたま東宝さ んから「遊星からの物体X」の版権をもらっていたので、

X星人のガレキを持って行きました。そうしたら豪先 生も直んでくださってね。

「いいですねー」で、次は何を造ってくれるの」って。 素先生って造ったモノに対して、批判めいたことは何 も言わないんですよ。ボクの造るデビルマンなんて はっきり言って豪先生の絵とは全く違いますもんね。 それでも最先生は、いモノはいいってほめてくださる。 ホントに関か広いんだなあって思います。

テヒルマンやシレーヌを造るときって、ものすごい 集中力が必要なんです。集中力とエネルギーの長周 か合えばあっという間に置れるんですけど、なかなかね。 先生の絵そのままに造るのは逆にそれほど難しくな いのかもしれません。でも、テビルマンという作品は そんな造り方をしてはいけない気がして。先生もデビ

ルマンを描いていたときは相当な集中力を必要とし たと思うんです。テビルマンという作品は、宗教観を 越えた宇宙観だと思うんですよ。宇宙観て人それぞ れですけど、僕の場合、外宇宙と同じように自分の中 にも体内宇宙というものがあるんではないかと。だか らます家先生の体が宇宙を感じとってから立体化する わけです。僕の造る作品が先生の絵と違うモノになる 理由はそんなところにあるんです。テビルマンを造る というよりも永井張という世界を造っているのかもし れません。

造形家ですから何の作品を造ろうか手を抜くような ことはありません。でも、死ぬまでつくれる作品を持っ ていたい、ライフワークと言えるようなモノ。そう考え るとそれはやっぱりテビルマンしかないんです。



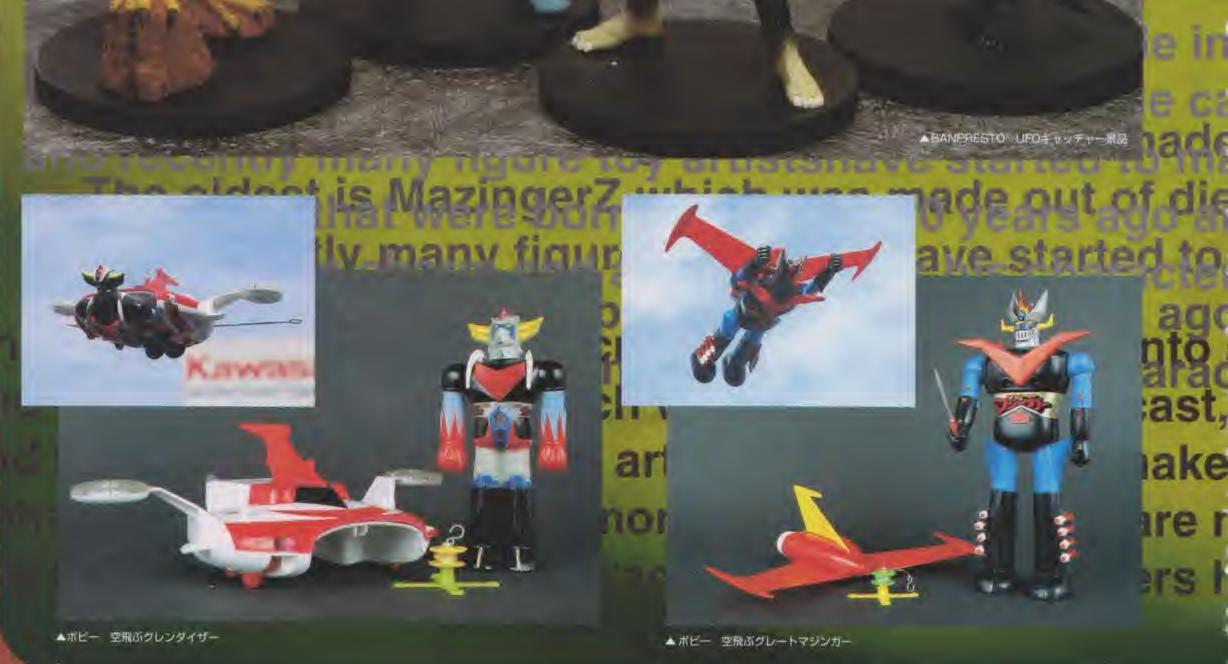






▲ボビー UFOロボグレンタイサー 宇宙科学丛地













「タブーの意味を知って、破らなくちゃって」 (永井) 「極論すると永井豪はいいけど、他はやめろってことかな」 (安彦)

純情永井少年が毒を覚えた理由

安彦: なにかで見たんだけど、3つ4つで手塚 先生に狂ったっていうのは本当なの(笑)?つま んないこときくけど、その時はまだ当然字は読 めないんですよね?

永井:読めなかった。絵だけ見て(笑)。

安彦: 絵だけ見て、それでものめりこんじゃった。 **永井**: そう。 それから、上の兄貴にストーリー を何度も何度も読んでもらって、ああ、そいう うストーリーなんだって。

●永井さんの兄弟はみなさん絵が好きだったみ たいですよね。

永井: うん。みんな絵は描きます。すぐ上の泰

字が一番上手だったな。僕が一生懸命描いてると「そうじゃねえんだよ」ってさらさらっと描いてくれる。これが、ものすごく上手なの。もう悔しくてしょうがない。別に努力しないでも描けるタイプだったみたいで、それ以上は絵に執着しなかったみたい。僕は悔しいから、どんどんムキになって。それが結局こういう結果になってしまいました(笑)。

●安彦先生も兄弟はたくさんいらっしゃるんですか? 安彦:男兄弟が少ないんですよ。兄貴と僕二人 で。あと上に女が。絵のようなものを描いたの は、僕と一番下の妹、7番目8番目。小さい頃は 妹とね、イチャイチャと遊んでは絵を描いて。 バレリーナの絵とかね(笑)。「どうだ」とかいっ て。妹とは仲よかった。

●永井先生の作品を見て、最初どんな印象をも たれました?

安彦:豪さんのマンガを始めてみたのは、学生の頃だったかな。少年マガジンを読む大学生が社会現象として話題だった頃。友だちのアパートとか行くと、マガジンが積んであって。その頃に読んだ『オモライくん』とか『キッカイくん』とか、あのあたりが初めて。かわいらしい軽い絵なんだけど、油断ならないなあっていう印象を持ったんですね。見た目は非常に優しくてかわいらしくて。でも毒があるっていう。その辺が非常におもしろいなあって。あの頃一番若手でしょう?

永井: そうですね。当時はデビューできた新人が少なかったんですよ。赤塚先生のギャグが全盛時代だったんで、割り込めたのは、ジョージ秋山さんと僕ぐらいだったんですよ。

安彦: ああいう毒っていうのは、自分でも意識 してるんですか? 意識してない?

永井:ボク、根ははすっごい素直だったんです よ。家は貧しかったんだけど、まるでお坊っち ゃんみたいな育て方してくれて。

安彦:放任されてた?

永井: 放任もされてたけど、あれは絶対お金持ちの家の育て方じゃないかという。

安彦: お坊っちゃんが4人も5人もいて、親は 大変だったね。

永井:大変だったと思う。戦争前はすごくお金 持ちだったんだけど、戦争で上海から引き上げ て資産を全部なくしちゃって。ずいぶん苦労した んだろうけど、子どもには全然そういうそぶり を見せないタイプで。そのおかげで、根はすごく

素直な人間なんですよね。なんですけど、多分ねえ、毒がついたとしたら、いっちゃまずいかもしれませんが(笑)、石ノ森先生のところで(笑)、想像を絶するアシスタント生活を送って、それでいろんなストレスがたまって…

安彦:根性が曲がって。

永井: そこまではいいませんけど、相当なストレスがたまったと思いますね。とにかく、石ノ森先生自身のペースががめちゃくちゃに早くて、追いつかない。おまけに自分の分描いたらフッとどっか行っちゃうし。

安彦: チーフでしたっけ?

永井: チーフで。そもそも石ノ森先生 のところに入ってしばらくしたら、先 輩が全員いなくなったんですよ。僕ひ とりの時が 2、3ヶ月続いて。いきなり 月 250ページ。アシスタントひとりで。

安彦: ひとりのチーフだったんだ。じゃあ、め ちゃくちゃ忙しかったでしょ?

永井: ええ。編集とはしょっちゅう喧嘩するし、 自分の寝る時間はないし。月のうち2、3週間は、2時間睡眠がずっと続くんですよ。食事以外では、トイレでやっと息つけるぐらい。

安彦: それだけ描けたっていうのはすごい。最初からアシスタントでやろうなんて気じゃなくて、デビューしようと思ってたから、かなり質の高いもの描いてたんだね。

永井:一時的には石ノ森先生の絵を描いてて、 自分の絵を崩しちゃったんですよね。で、だん だん戻ってきたというか。でも一回崩れたおか げで、幅が広くなったんですよ。

安彦: 手塚先生のところに行ったりは?

永井:石ノ森先生のところに行く前に、手塚先生に会いに行ったんです。原稿持って。そうしたら、先生は大阪出張でいないっていうんで、別の人が見てくれたんですけど。会いに行く前

日に夢に見てね、虫プロの庭に小屋みたいのがあって、その中から石ノ森先生がこっちこい、こっちこいってやってるの。何で石ノ森先生が出てくるんだろうって思って。手塚先生に会えなくて、その夢のこと思い出してね。そうしたらアシスタントになれたという。

安彦:夢に出てきた石ノ森先生というのは、普通の顔で?

永井: そうじゃないんです。手だけなんだけど 石ノ森先生ってわかったんです。

安彦:石ノ森先生は意識してた?

永井:好きでしたよ、もちろん。手塚先生と絵 柄が似てたし、手塚先生に次いで好きでした。

安彦: 石ノ森先生って連載開始の頃は、さあ描くぞっていう雰囲気が非常に色濃くあって、ある意味すごく恐いんだよね。

永井: 飽きっぽいのか知らないけど、新連載だとやたら力はいるんですよ。

安彦: それ感じた。石ノ森さんて、すっごいお



もしろいって思ったもん、ある種思わせぶりな、 最初のパワーが。

永井:かなり実験してるんですよね、コマ割りとか。場面作りなんかでも人のやらないようなことをさっとやっちゃう。それも軽々と。天才なんだろうなって思うんだけど。全然苦労した気配見せないで、さらさらっと。

安彦: あれ、この人死んじゃったの? ってこと なんかを、さらっとやってくれちゃう。あ、これ は描いていいんだっていう。子ども心に恐いなって。すごいクールな人だと思った。

永井:作り方はよくわかりましたよね。マンガはこういう風に作っていくんだなって。先生はなんにも教えてくれない人なんですね。勝手に勉強すればっていう感じで。座り机で背景なんか描いてると、上からのぞき込んで立ち直れないような皮肉を言うんですよ。スポーツカーの絵を見て「お、コッペパンか」って(笑)。スポーツカーだ!ってのに、ひどい。

マンガは影響力を"持っている"

安彦: 手塚さん以前と以後っていうのはよく挙 げられるけど、永井豪以前と以後というのも、 結構大きい気がするんですね。

永井:ああ、そうかもしれない。貸本なんて見てるとヌードが出てたから、描いちゃいけないなんで露とも思わなかったんですよね。単行本とメジャーな雑誌の違いとかいう意識がない人間なんでね、ヌードは出していいもんだと思ってたし。それが時代劇のギャグマンガで、ちょっと女の子に水着の格好させたら、すごく編集に怒られたんですよね。「それはタブーだ」って。何がタブーなんだろうって。「時代劇に水着はおかしい」って。おかしくたってファッションだからいいだろうって。いろんなこといって抵抗して喧嘩になったりして、そういうのでタブーってわかってきたんです。あ、これは破らなきゃいけないって。

安彦:わかってきたら、確信犯的に 破った?

永井:確信犯ですね。『ハレンチ学園』 なんかは完全に確信犯。これをやっ たら騒ぎになるぞって。

●石ノ森部屋でも性格ゆがんでます けど、『ハレンチ学園』でも性格ゆが みましたよね。

永井: それはあると思う。

安彦:きっと問題ある家庭に育ったんだろうって。

永井: 当時は本当に、何で?っていうくらい叩かれて。作品評とかはしょうがないって思ってたけど、しまいには人格攻撃とか家庭環境攻撃になってくると…。でも、ボクとしては名前が挙がればいいやってところもあって、どんどん書けなんて思ってたんです。いくら書かれてもそういう意味

では落ち込まなかったけど、ものすごくストレスはたまってたと思う。だからストーリーマンガを描けるようになって、「魔王ダンテ」のときにドンツで破壊願望が出てきたんだと思うんです。担当者はびっくりしてね、「豪さんは人間許せなくなってるんじゃないですか」って。ドキッとして、そこですごく反省してね、人間は許してもいいんだというふうに思って、気が楽になったことがあるんです。そのひとことで救われたっていう。「デビルマン」のときは、自分自身の毒も、割と整理されてるんだよね。「魔王ダンテ」よりは。「魔王ダンテ」はモロ出てきたから。ストーリーも構成も考えないで描いてたんで。

安彦: でも傷つけた者が、自分も傷つくんだよね、永井さんのは。それもひどく傷ついて、徹底的に痛みを感じる。善玉も鬼も悪人も。これから先は、ちょっと豪さんと考え方違うかもしれないけど。よく、いいじゃないか、何を描いたって、それを読んだからって子どもが不良に





なるわけじゃない、影響受けるわけじゃない、 っていう論理があるけど、それは違うと思うん ですね。

永井:影響受けると思いますよ。

安彦:あ、そう思う?

永井:ボクはだから、最終的なところで自分なりのモラルは一応守ってるんですよね。一線は常に、考えてはいるんです。

安彦:影響は与えているぞ、と? それなら非常に納得できる。

永井: 「凄ノ王」の中でレイブシーン描いて、 その時に編集部に怒りの電話も手紙もたくさん来たんですね。でもそれによって人がどれだけ傷つくかを描くためのレイプシーンなんだから、途中でごちゃごちゃいわずに、最後まで作品を見て欲しい、というつもりで描いていたし。復讐によって主人公もまた傷ついていくということが、作品を通しての一つのテーマだったんだよね。

安彦:暴力やセックス、特にアブノーマルセックスみたいなものは、パワーといっていいのかわかんないけど、持ってるわけじゃないですか。

永井:ええ、一種の異様なね。

安彦: あぶない力はあぶない力として、簡単に開放しちゃいけない部分があるんだよね。たとえば、今どき3歳の子でもおしりさわられたら、「ヘンタイ」っていったりする。みんな風俗化しちゃうでしょ。パターン化した風俗なんだよね。見た目では永井豪よりももっと過激なものは溢れているんだけど、永井豪が最初に掟破りをしたときの活力は、今はないなって。

永井: それはないですね。

安彦:出版コードみたいな話じゃなくてさ。そうなると、その先続かないんだよね。できれば そんな話はしたくないし。

永井: 昔からそういうのと常に戦ってきたんだけど、最近戦う必要がなくなってきたっていうのがあるよね。戦わなくてもみんな描いてるという。

安彦:無理矢理整理すると、永井豪はいいけど、他はやめろ、ということかな。極端に言うと。 豪さんは、編集者に「もっと、もっと」って挑 発されたりはしない?

永井: 『ハレンチ学園』の当時でもありましたけど、最近でもありますね。毎週でも毎号でも警視庁と掛け合うから、あぶない線ギリギリでやってくれっていわれてね。えー、だいじょうぶかなあ、と思いながらギャグっぽくごまかしごまかし描いてたんだけど、あるとき…(小声で)浣腸系? をちょっとギャグで使ったのね。そうしたら突然連載切られてしまって。それはすごく編集長の嫌いな部分だったらしくてさ(笑)。みんなそれぞれ、いやな部分はあるんだなって思って。自分のタブーはそれぞれあって、それでいて他のタブーは侵せ侵せといって。

安彦:でも、編集サイドとの戦いは結構あったでしょう。「バイオレンスジャック」とか。

永井: 『バイオレンスジャック』で少年の首切

ったとき、絶対やめてくれって。毎日だんだん 人が増えていくのね、最初は担当で、その次副 編で、その次編集長で、その次局長連れて来る って。だんだん人数が増えてきて、5人6人対 1人で討論して、結局ジャックの本質的なとこ ろが変わっちゃうからって、押し通したんです けど。そしたらページ減らされちゃったし。

対決!?マジンガー対ライディーン

安彦: ボクにとっては、そういう掟破りの永井 豪ももちろんそうなんだけど、アニメ始めてか らの、メジャーの代表としての永井豪が、圧倒 的だったね。特に虫プロを出てから。

永井:虫プロで何やってたの?

安彦:「あしたのジョー」とか「ムーミン」とか。 『ムーミン』は僕もやったけど。末期の、手塚アニ メをやらなくなってからの虫プロ。で、そこをや めて、その残党が今のサンライズっていう会社 の前身をつくって、ロボットアニメを始めたの。 ロボットアニメはスポンサー見つければ、なんで もやれるわけ。だからいいな、おもしろいなって 思って。その頃が要するに、マジンガー以降の 永井アニメ向かうところ敵なし状態。東映とダ イナミックがつるんで通った後は、ぺんぺん草 も生えない、っていわれてた (笑) 不毛地帯で、 マイナーな作品をつくってた。そのころの永井 豪が、なんたって大きいですね、印象としては。 だから、今日にしても「ちょっと話しに来てく んない」って編集さんにいわれて、え、俺が何 で豪さんと?って(笑)。身分が違いすぎる。

永井:身分なんか違わないよ (笑)。

安彦:とにかく、永井豪=メジャーだったね。作品のラインナップ見るとすごいなあって思う。何をどうやって見せようかっていう、手練手管のところで、全部やられちゃたという。ライディーンをやってる頃、永井さんは何をやってないだろう、みたいな話し合いをよくしてた。

●安彦先生も、『勇者ライディーン』や『機動戦士 ガンダム』などのデザインもやられてるわけですが。 **永井**:すごく刺激になってましたよ。ライディ ーンの敵の要塞が手の形を使ってて、あれはや られたな、とか。要塞にしろ何にしる、年がら 年中知恵しばってたから、まだその手が残って たか、とか(笑)。

安彦:僕はデザイナーっていうよりも、アニメ 演出家だったから、作業スタッフだったのね、 言いだしっぺじゃなくて。今もずっとそうなん だけど、人にああしろ、こうしろというのがど うもいえない。作画監督やってても、「これ、直 して」っていえない。「いいよ、俺が直す」って いってしまう。豪さんが「メインはいまだに自 分で入れてるよ」って聞いて、感動したんだけど。 永井:さすがに、脇役とかはお願いしたりして ます。20代の頃は全部ペン入れまでしてたん ですけどね。

安彦: ひとつうらやましいのは、永井ファミリーというか、永井ブラザーズというか、チーム

TALK BETWEEN GO NAGAL & YOSHIKAZU YASUHIKO"

ワークがすごいよね。

永井: アシスタント時代にある意味で辛い思いを したので、自分のアシスタントは大事にしようっ て意識が最初から強かったんです。幸運にも仲 よくなって、一緒に歩んでくれる人たちって、 結構多くいて。みんなマンガが好きでいてくれて。

安彦:大所帯を切り盛りしてもやっていく手法 っていうのは、石ノ森教室の成果なのかな?

永井: そうだと思います。

安彦:お山の大将とか好きだった?

永井:自分ではひとりで1日1ページぐらいコ ツコツやるマンガ家になるつもりでいたんです。 それが石ノ森先生のところで考えが変わっちゃ って。石ノ森先生って特殊だったんだけど、僕 にとっては唯一のお手本だから、石ノ森先生に 近い量産作家にならないと、マンガ家としてや っていけないんだって思いこんじゃったの。だ から自然とそれを受けついじゃった。

一本の線に隠れたマンガの魔力

安彦:マンガって、特に最近の2次元コンプ レックスみたいなところで再認識されてるよ ね。線画の持ってるパワーとかインパクトが、 バカにしたもんじゃないぜ、っていう。線画の

パワーってさ、表現が 稚拙だろうが演出方法 がどうだろうが、本来 的に魔力を持ってるん だよね。

永井:その魔力が嬉し いんですよね。それを 使って、キャラクター にどれだけ命を与えら



井氏秘蔵、デビュー前の習作にしばし見入るふたり。師・石ノ森章太郎 れるか、いつも考えまの影響が色濃い作品など、興味深いものが多く残っている

すよ。ストーリー以外の部分でどんなことをし い。見えちゃう人は、気が済まないだろうから てるかを、読者にどうやって想像させるかって、 そこまで考えますもん。

安彦:線画の魔力っていったときに、暗黙のう ちに手塚さんの、って思ってて、劇画の人に怒 られちゃうんだけど。ただ劇画でも、池上(遼一) さんとかってすごく魅力的ですよね。

永井:池上さんは、劇画なんだけど、どっか線 に色気があるね。ちょっとファジイな部分でい うかマンガ的な要素を持ってますよね。

安彦: 香港のマンガはおなじみでしょ? 香港 のマンガってバリバリに劇画タッチなんだけど、 日本のマンガ家というと池上遼一の名前が決ま り切ったように出てくる。あれはなんだろう。 彼らにとってもファジイな魅力あるのかな。

永井:そうでしょうね。でも安彦さんも香港で はすごく影響を与えてる。よく聞きますよ。

安彦:何で俺なの? っていうのは非常にわから ないんですけど。豪さんの線も非常に色っぽい ですよね。高橋留美子を見たときに同じように 思ったんですね。非常にとっつきやすくて、手 軽な色っぽさがあるんだけど、あぶねえな、こ いつ、って。全然知らなくても第一印象でどー

んと入ってくる。

永井:安彦さんの絵は魅力ありますよ。ものす ごくうらやましいって思うのは、省略のうまさ。 線のいるところといらないところを、すごくわ かってる人だなあって思うんですね。線でいろ んなものを感じさせる、リアルなものを感じさ せることができる、きれいな絵だなあって。

安彦: ひとつに怠け者だから、余分なものを描 けないという。

永井:いやあ、でもああいう風に描けたら、も う少し、と思うことがずいぶんありますよ。安 彦さんは、最少の労力で、最大のものを見せる ことができる人だなあと。

安彦:よう手抜きをしているなあ、と。

永井:(笑) そういうわけじゃないですよ。僕な んか、ちょっと描きすぎる。省略でもっと感じ させることができたらいいのにな、って思うこ とがずいぶんありますよね。

安彦: 物理的にアシスタントがいないというこ ともあるだろうし、もう一つ、大友 (克洋) さん と話したときにヘーっと思ったんだけど、ボク 目が悪いんですよ。豪さんは?

永井:僕も近眼です。大友さんは目がよすぎる んですよね。2.5くらいある(笑)。

> 安彦:ああ、そうか、 だから描くのかって。 見えちゃうんですね。

永井: それは大きいと 思う。

安彦:それで、納得し ちゃって。あれがどう なってて機械がどうな んて、見えないから描 こうという気にもならな

ねえ。

永井:ボクは目が悪いけど、アブナイものは見 えてしまうという。「手天童子」を描いていると きなんて、鬼が周りにパーッときちゃうんです よね。スタッフまで気持ち悪くなっちゃって、 早く連載終わらせてください、なんてお願いさ れたり。

●安彦先生も日本の神話をテーマにされてたり しますが、周囲にそういう霊的なことは起こり ますか?

安彦:いや。鈍感なんで。お参りにはいったこ とありますけど。出雲の熊野大社とかね。スサ ノオさんを描いたりしたんで、ちょっと気にな って。だからお社造るのって、そういうことだ と思います、崇らないでくださいって。

永井:福を授けてください。じゃなくてね。立 派な神殿を建てて、囲ってしまっている。ここ にいてください、っていうことですよね。

安彦:豪さんもそろそろ囲ったほうがいいかな。

永井:いや、ボクはまだまだ。

安彦:崇っちゃうんだ。 永井:崇ります(笑)。



・ 永井さんとの出会いはいつですか?

石川 漫画家になろうと上京してきた頃、 2人の新人がデビューしてね。それが、永 井豪とジョージ秋山。当時、デビューする 新人ってあまりいなかったんですよ。その なかで2人は際立ってましたね。アシスタ ントにつくんだったら、大御所より新人の 方がいいかなって思ってたから、最初、豪ち ゃんのところに行ったんですよ。そしたら いいよ」って言ってくれてね。それから、 かれこれ28年のつきあいになるかな。

お会いした時は、どんな印象でした? **石川** この人が永井豪かな? って思うくらい、子どもっぽかった。ファンの子が入ってきたって思ったぐらいだったから(笑)。「ハレンチ学園」を見た感じでは、スケベおやじをイメージしていたからね。

その時原稿を持っていかれたと思うんですが、永井さんの反応はいかがでした? 石川 すごく喜んでくれた覚えがあるんです。おもしろいって。当時、俺自身ギャグマンガを描いたことなかったんですね。 永井豪のところに行くから、少しギャグっぱい方がいいだろうと思って、描き下ろしを持っていったから、すごく不安だった。 でも結構ウケてくれて、すぐ採用が決まったんですよ。

一永井さんから、アドバイスみたいなものはありました?

石川 デビューする時は、豪ちゃんにアイテア的な部分とかでずいぶん助けてもらいました。ギャグマンガでデビューしたんだけど、自分はギャグマンガにそんなに□



PROFILE 1948年6月28日生。 1969年にアシスタントとしてダイナミックプロダクションに入社。 翌年 | それゆけコンパット | でデビュー。 TV 放映もされた | ゲッターロボ | シリーズも手掛ける永井原の右腕。

茶店で豪ちゃんが「実は身堂竜馬は殺人鬼なんだ」っていうんですよ。それには本当にびっくりして、え!?って。あ、やっぱりすごい! やっぱり常識がれてるってね。身堂竜馬といえば、美男でしょ。そういう考え方もあるんだって思いましたよ。豪ちゃん、最初から計算してたか知らんけど(笑)、マンガのおもしろさはここにあるんだなって、ね。

が対さんは豊的な遊話も多いですよね。 石川先生はどうですか、そういう体験は多いですか。

石川 俺はないです(笑)。マンガ家って仕事が辛くなると、どこかに逃げ道を見つけたいというところがあってね。ひどい人は逃げちゃったり、他の人のせいにしたり。それを豪ちゃんは、そういう超常現象のせいにするんだなっていうのが俺の感想なんだけど(笑)。本人は、大まじめで「お化けが来て、仕事の邪魔をする」ってね。旅館に泊まったりすると、「夜中にお化けを見た。ここじゃ仕事ができないから、帰る」って(笑)。

- 最近だと永井さんとはサムライワールドシリーズでご一緒に描かれてますよね。

石川 作者は永井豪でも、ダイナミックプロ作品っていえるかもしれないね。 豪談 児雷也」をはじめ、僕も下描きで参加している作品があります。個人的には、サムライワールドシリーズみたいにダイナミックプロにいるいろんな人が集まって一緒に仕事をするの、好きなんですよ。マンガ家が集まって、みんなで面白く仕事しよう

石川置

「水井豪はモーツァルトである」

連雄 ダイナミックプロの太陽が永井豪ならば、月にあたるのが石川賢であろう。 太陽によって輝きを覚え、ときに太陽へも影響を与え、そして太陽の灼熱を誰よりも知る存在。 師であり戦友の"豪ちゃん"を、氏は月のようにたおやかに語ってくれた。

自信がないんですよね。そもそもは白土三平が好きで、内容も絵も白土風に偏っちゃってるところがあったんだけど、豪ちゃんも白土三平が好きで、よく理解してくれましたよ。結局、永井マンガと白土マンガが融合した感じにはなっていったんじゃないかな。「桃太郎地獄変」は、自分でも一番好きな作品なんだけど、そういう部分が出ていますよ。

石川先生ご自身のジャンルがひろがった、と。 石川 永井豪のところに来て、ラッキーだったなっ て思います。豪ちゃんに会わなかったら、SFや ギャグというスタンスはあまり考えなかったと思う。 時空ものなんかは完璧にそうですよ。豪ちゃんに 会ったからこそできたといえますね。

永井さんには驚かされる部分も多かったかと思うんです、特に「ハレンチ学園」を描かれていた時のパワーとか。一番近くでご覧になってていかがでした?

石川 変な言い方かもしれないけど、当時の豪ちゃんの考え方には脂がのってましたね。マンガを

展開させていくパワーがすごかった。えっ、こん なことやるの? あんなことやるの? って毎回 毎回驚かされてましたよ。「ハレンチ学園」のP TAとのもめごとにも屈しないバイタリティがあ って、タブーをどんどん破っていきましたからね。 本当にハラハラしました。「あばしり一家」で残 酷な殺し方を描くと、出版社から「やめてくれ」 ってクレームがきて。ところが豪ちゃんは屈しない。 「自分はこういう意図で、こう描いてんだから、 絶対曲げない」って、編集者とやり合うんですよ。 それを見てて、こっちはまだ新人だし、こりゃマ ズイなぁ、困っちゃったなぁ(笑)って。豪ちゃ んは、編集者と対抗してるというより、世間と対 抗している部分が多分にあったんじゃないかな。 信念を持って自分の描きたいものを描く姿は、作 家として素敵ですよ。

一反面、すごくユニークな面も持ってらっしゃ る方ですよね。

石川 「ガクエン退屈男」を手伝ってた時に、喫

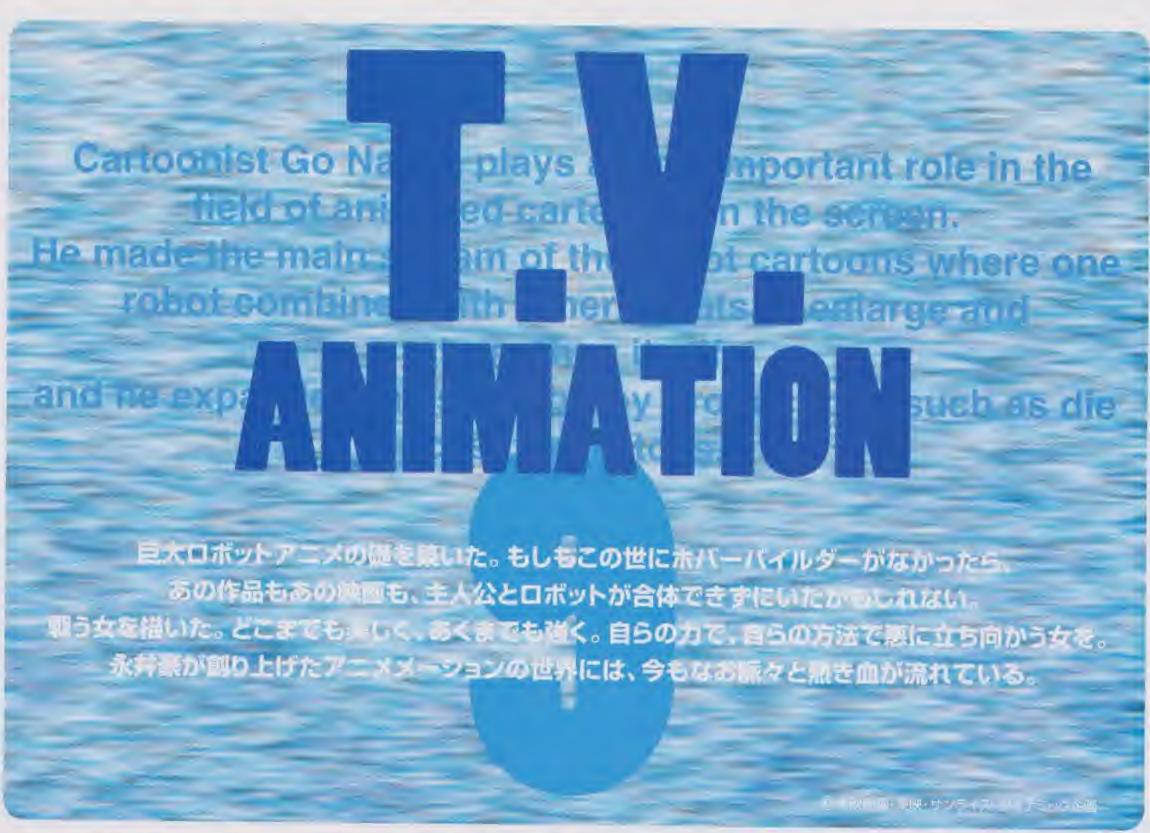
というのがね。豪ちゃんのダイナミックプロ観も そこにあるんじゃないかなと思うんだよね。昔は、 みんなでひとつの作品をやってみようって考え方 が相当強かったから。

永井豪先生の作品の中で一番好きなものは? 石川 「手天童子」ですね。話がきれいにまとまっているし、マンガとして、というか絵的なものとして、あれだけいろんな要素を違和感なく入れたという点でね。あの作品はすごい。あと、作品じゃないけど豪ちゃんの描く目の表情が好きだな。優しさから厳しさまで幅があるんですよ。「デビルマン」なんかは、怒りの表情はすごいですから。

永井さんと28年間おつきあいしてきて、今の お二人の関係はどう変わりました?

石川 最初は弟子だったけど、最近は、よきライバルかな? ん一、でもやっぱり弟子かな(笑)? ま、仲間っていう意識も強いですね。豪ちゃんをひとことでいうと、やっぱり天才だよね。あの人がモーツァルトだとすると、俺がサリエリかな(笑)。





NAZINGERZ



マジンガース

恐るべき機械獣軍団を操り、世界制服に乗り出した悪の科学者Dr.ヘル。そのゆく手に敢然と立ちはだかった 鉄(くろがね)の城こそ、ヘルの野望を阻止せんと兜十蔵博士が密かに開発し、孫の甲児へと託したスーパーロボット・ マジンガーZだった! 日本のテレビアニメに "巨大ロボット物" というジャンルを確立したバイオニアであると同 時に、70年代の東映動画に"永井豪の時代"をもたらず決定打ともなった作品。永井豪の斬新なデザイン感覚に 支えられた各種メカ設定、時にその開発過程にまで踏み込んで描かれたロケットパンチ、ジェットスクランダーな ど魅力的な装備の数々。それらを駆使した全く新しいロボットバトルの映像は子どもたちの心を虜にした。"ジャ ンボマシンダー"や"超合金"など、作品世界と有機的に結びついた玩具の大ヒットも特筆されるべき出来事だった。



38話「壁のロボット ミネルバX」

マジンガーZのパートナーとして設計されながら、戦う宿命を 背負わされたミネルバX。ロボットの悲恋劇ともいえる異色の展 開か人気を読んだ屈指の名作で、ロマン派・芹川有吾の演出力 が映像の隅々にまでみなぎっていた。アニメブーム棚にはたび たび情報誌や上映会で紹介され、ついには専用のイメージソン グも作られたほど。



67話「泣くな甲児! 十字架にかけた命」

38話と対をなす芹川悲恋ものの名編。甲児暗殺のために遺 わされたアンドロイドの少女えりか。人間になることを願う彼女は、 甲児の優しさに触れるうち、次第に心を揺らしてゆく。女性のし なやかな仕草を描かせたらビカいちの名監督・若林哲弘の独壇 場といえる回。凶弾に舞う十字架と甲児の涙が、多くのファンの 心に刻印を残した。

豪さんの不思議メカデザイン

マジンガーシリーズを作り上げた当時のスタッフが語る、巨大ロボット黎明期。 空にそびえる鉄(くろがね)の城は、こうして生まれていった――。

東映動画/アートディレクター 辻忠直

1941年東京生まれ、1961年東映動画入社。「マジンガー2」に具術デザイナーとして参加。 以後、「ゲッターロボ」「ゲッターロボG」「UFDロボグレンダイザー」などロボットものを担当する。現在は東映動画 のチーフプロデューサー、アートディレクターとして活躍。最近では「ドラゴンボールGT」の美術を手掛ける。

東映動画が巨大ロボットアニメから遠ざかって何 年になるのだろうか。

作品リストを調べてみると、1977年のテレビ朝日放映 |超人戦隊バラタック」が最後だった(厳密にいえば1991年にローカル局制作の |ゲッターロボ號|がある)。この作品も僕が美術を担当したのだが、振り返ってみると何故かしらロボットものが多かった。

美術デザイナーとしてのデビュー作品が「マジンガーZ」だった。企画書をもらったとき、タイトルを「マシンガンZ」と読み間違えてしまったことを思い出す。マジンガー以後、「ゲッターロボ」「ゲッターロボG」「UFOロボグレンダイザー」と永井豪ロボットものを担当したが、当初は内心では美術設定の少ないファンシーものの方が楽でいいのに、と思ったりもしたものだ。

当時担当した作品の美術設定は散逸して、今は手元にほとんど残っていない。横山さん(現・東映動画製作担当)からお借りした資料をあらためて読んでみる。懐かしさは当然あるが、それと同時にキャラクターから古さというか、時代の流れをまったく感じられないことに驚かされる。豪さん独特のフォルムとタッチが未だに新鮮。今のアニメキャラクターには類形的なタイプが多くなっているから、そんなことを感じるのだろうか。

■巨大ロボットアニメの黎明期

巨大ロボといえば、リモコンで操縦する「鉄人28号」 だけだった頃、アニメはマンガ映画と一括りされて いた。それがカラーテレビの普及でアニメ番組はゴ ールデンタイムに放映されるまでになる。1972年 の12月に放送が始まった「マジンガーZ」の前後は「ガ ッチャマン」「サザエさん」であった。



マジンガーZは当初、バイクと合体するよう設定されていた。左下のイラストは企画 初期のバイク型バイルダー。そして下かパイルダーと合体した"エネルガーZ"。一直は流されたが、弓さやかが降るダイアナンAで、この設定は生かされることになる。



[デビルマン] に続く永井豪作品の第二弾として「マジンガース」が決定して、制作準備に入ったのは放送が始まる4、5ヵ月前だったと記憶している。ストーリー設定は出来上がっていたが、キャラクターや美術設定は決定稿ではなく、豪さんのラフスケッチの段階であった。

スタートはマンガとアニメが同時だったように記憶している。マンガからアニメ化に向けた決めごと作業はたくさんあるので、スケジュールのことを考えると間に合うのかと青ざめた。

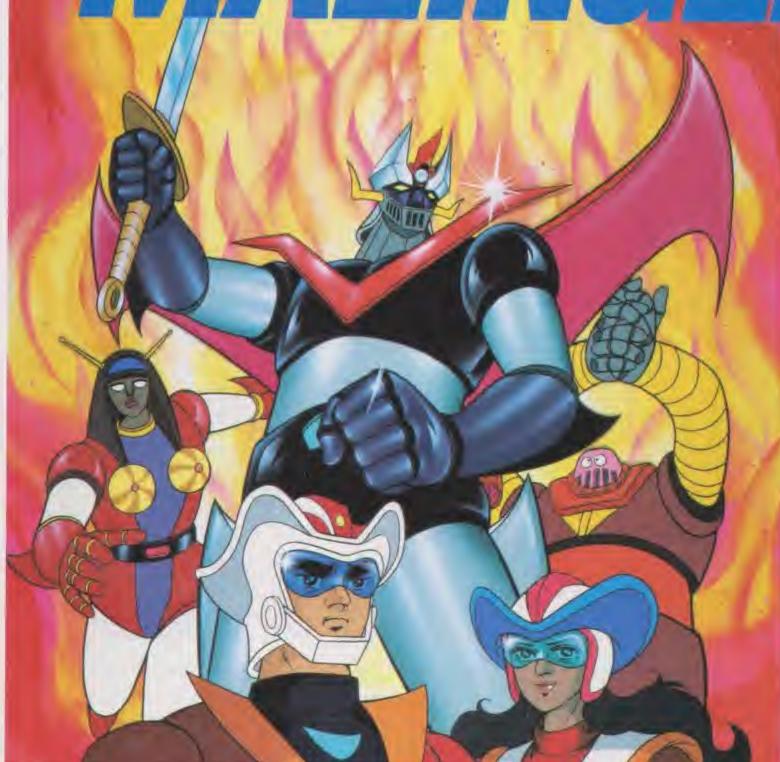
その頃の東映動画は魔法もの路線が多く、メカが 得意なスタッフが思うようにいたわけではない。そんなこともあって、メカ絡みの美術デザインは何で もやった。タイトル文字のデザインに始まってキャラ クターの色指定、美術ボード、美術設定など。特に美 術設定はとめどもなくあって、ディテールまで描き込 めなかった。しかし、この苦労が後の「ゲッター」や「グ レンダイザー」作品に活かされたかと思う。巨大ロ ボであるマジンガーも、登場する人物キャラも、とに かくユニークなデザインだが、特筆すべきはドクター・ ヘル以下の悪側の強烈な個性を持ったキャラクター 群だ。この個性派軍団に見劣りしない背景画面を創 るには、意識を集中せざるを得ない箇所があった。 常に闘いの場となる光子力研究所である。設定条件

は富士山麓にある青木ヶ原、ジャバニュームを採掘して光子力エネルギーに変換するブラント施設などが置かれている。美術デザインとして、設定条件よりも建物のフォルムを優先させて考えた。富士山に負けないフォルムなら、同じシルエットでいけば、とデザインした。研究所のデザインコンセプトは豪さんやスタッフには伝えず、外観スケッチや内部断面図の段階で提出した。NGが出なかったのは時間的な余裕がなかったせいもあるのだと思う。

一番悩んだのはマジンガーの格納庫だった。画面的には一番絵になるシーンなので、格納庫の扉が開いて出て来るのでは平凡すぎる。地下格納庫にすることは決めていたが、アイディアがなかなかでてこなかった。ある時、ふと映画の「十戒」のように水を割って出現するのはどうだろうか、と関いた。ちょうどその頃、現在の新宿副都心がある淀橋浄水場が、再開発のために取り壊されるという記事と写真が新聞や雑誌に出ており、ヒントにさせていただいた。

永井豪作品で培った巨大ロボットアニメのスピリッツはいまも忘れてはいない。今度とお化けはなかなか出ないというが、それを承知の上で永井豪の巨大ロボットアニメは、ぜひ復活してほしい。そしてその時は、ぜひスタッフとして加えていただきたいと思っている。

GREAT MAZINGER



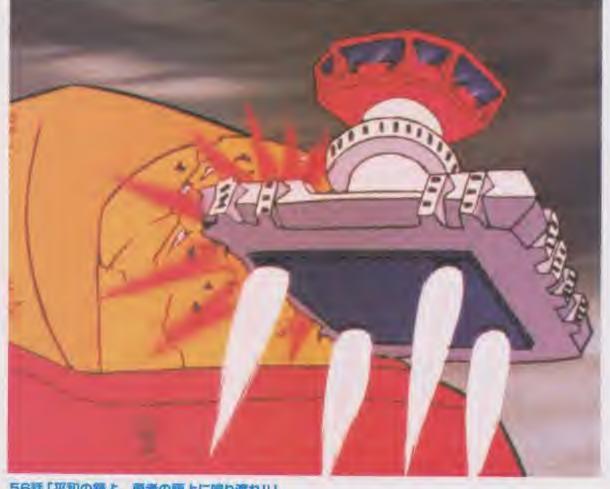
グレートマジンガー

「マジンガーZ」のヒットを受けて企画、製作された シリーズ第2弾。強大なミケーネ帝国の復活を予見 した兜十蔵博士が、かねてより息子の剣蔵に開発さ せていた偉大な勇者グレートマジンガー。超合金二 ューZの装甲を持つ新スーパーロボットを操縦する のは、戦闘プロフェッショナルとして訓練を受けてき た孤児の剣鉄也だ。鋭角的なイメージが強調された グレートのデザイン. 機械獣の能力をはるかに上回 る戦闘獣の設定など、前作をしのぐハードなドラマ 展開が印象的な作品となった。ストーリーの先取り 情報や、ロボットジュニアのテザイン募集など、雑誌 メディアとのタイアップ戦略の成功に加え、前作から 継続する各種玩具の売れ行きも好調で、「マジンガー」 ブームはここにピークを迎えることとなる。なお、本 作の企画段階のタイトルは「ゴッドマジンガー」であ つた。

放映 昭和49年9月8日~50年9月28日 C X 系 全56本 原作 永井豪とダイナミックプロ 企画 春日東、別所象治、横山曽 二 脚本 高久進、護川圭介、安藤豊弘 海出 勝間田具治、大谷恒 清、明比正行、山吉原夫ほか 作画監督 森下圭介、鹿島恒保、毎野 館、森利夫、我妻宏、白土武ほか 美術、海田又治、山崎薫、動岡孝 夫ほか 音楽 渡辺田明 製作/果映 (動画)、旭通信社



「マジンガーZ」の最終回を事実上の1話としてスタートした本作だが、その世界観や人物の内面はより過酷さが強調されたものとなった。刺哲也、炎ジュン、兜刺造それぞれが抱く孤児や混血、サイボーグとしてのコンブレックスの描写もそのひとつで、特に初期はこれらキャラクターの内面を掘り下げた佳作エピソードが続出した。



56話「平和の鑑よ 勇者の頭上に鳴り渡れ!!」

ミケーネとの最終決戦を描いたラスト4話はファンの血がたぎる力作だった。53、55話では兜甲児、 号さやかがそれぞれ帰国、夢のダブルマジンガーに加え、レギュラーロボットも勢揃いして戦いに参加。 だが、兜剣造博士の死と剣哲也の重傷という痛みと重みを私たちに伝えてくれた。

UFOロボ グレンダイザー

劇場版「宇宙円盤大戦争」をバイロットフィルムとし、これに兜甲児のレギュラー復活などさまざまな改善、再構成が行われて実現した「マジンガー」シリーズ第3弾。フリード星の王子デュークフリード(宇門大介)が、第2の故郷である地球の平和を守るため、グレンダイザーとともに宿敵のベガ星連合軍に挑んでいく。キャラデザインは「ケッターロボ」の小松原一男が担当。中盤、視聴率的には若干苦戦したが、3クール目以降導入されたダイザーチームの設定、さらに荒木伸吾が姫野美智とともにデザインしたデュークの妹マリアの登場などが功を奏し、最終的に74話にわたるロングラン作品として成功を収めた。本作は後にヨーロッパへと輸出されたが、「ゴルドラック」のタイトルで放送されたフランスでは子どもたちの心をつかんで空前のヒットを記録した。

放映 - 昭和50年10月5日 - 62年2月27日 C X 系 全74本 原作 / 永井斎とダイナミックブロ 企画 / 春日東、別所李治、勝田 田穂男 脚本 / 上原正三、西川圭介ほか ディレクター / 勝即田 具治、小湊洋市ほか キャラクターデザイン / 小松原一男、荒木 伸目 作画監督 / 小松原一男、森下圭介、森利夫、荒木伸吾ほか デザイナー / 辻忠直、伊護岩光、湊秀信ほか 音楽 / 築池俊舞 製作 / 東映 (動画)、旭通信社



UFU RUBUTATION GRENDIZER



25話「大空に輝く愛の花」 63話「雪に消えた少女キリカ」

「マシンガーZ」における前述の芹川濱出回のように、女性キャラクターに焦点をおいて戦いのなかの悲しみを浮かび上がらせた異色作品は「グレンタイザー」のなかにも登場した。演出・勝陽田具治、作画監督・荒木伸吾のコンピが手がけた25、63、72話はいずれもアニメファンにとって忘れられないエピソードだ。テュークの幼なじみナイーダ、デュークに亡き兄の姿を重ねる科学者キリカ、テュークを慕うべが星王女ルビーナ。これらのゲストヒロインのデザインはいずれも、荒木プロに入社して間もない姫野美智の手によるものだった。





デビルマン

ヒマラヤの氷の中で長き眠りについていた悪魔デーモン族が地球支配のために復活。だが、先兵となったデビルマ ンは、高校生・不動明の身体と同化したことから人の愛の素晴らしさを知り、恋人である牧村美樹を守るために自ら裏 切り者となる道を選ぶ。永井豪原作による初のテレビアニメ。「魔王ダンテ」のアニメ化企画に、当時一世を風靡して いた変身物の要素が加えられ、よりヒーロー性の強い作品として結実したもの。永井氏による雑誌連載はアニメ製作 と同時進行で行われたため、基本設定の一部を除いて両者の物語展開は大幅に異なっている。製作は東映動画。辻 真先の脚本をもとに、勝間田具治、小松原一男ら「タイガーマスク」スタッフが手腕を奮い、アクション色豊かでかつ 不気味さの漂う名編が続出した。テレビアニメとしては異例の夜8時30分からの放映も話題となった。

放映/昭和47年7月8日~昭和48年4月7日 NET系 全39話 原作。永井豪 企画/有質學, 旗野義文 脚本/辻賈先、山 騎忠昭、高久進 演出 | 勝間田具二、明比正行、日根徳豊、

西沢信孝、殷楽博、新田義方、落合正宗、山口秀憲ほか 作 画監督・小松原一男、日土武、森利夫、荒木伸吾ほか 美術 福本智雄、浦田又治、遠藤重義、栗秀信ほか 音楽 三沢 郷 製作 NET、東映(動画)



当初、ドロドロとした怪奇性が顕著だった本作に対し、視聴者からは「残酷で暗い」 という反響も多く寄せられた。そのため、明るいギャグ性を加味しようとスタッフが 26話から登場させたのが妖獣ララだ(写真は27話)。永井氏デザインによる老婆 の妖獣が原形になったこのキャラは、名コメディリリーフとして作品後半に不可欠な 存在となった。



39話「妖獣ゴッド 神の奇跡」

最終話では、ついに不動明が美樹の前でデビルマンに変身! だが、ヒーローの正体がバレる=別れ、という図式 にならないところが本作のスゴさだった。「どんな格好になったって、中身は同じ明くんじゃない?」美樹の言葉が"愛" の勝利を物語る。ちなみに本放映時、東京ではこの回が未放映になったのは有名な話。

GUITE



キューティーハニー

聖チャベル学園に通う美少女・如月ハニー。だが、 彼女の正体こそ、体内の空中元素固定装置で瞬時に してさまざまなコスチュームへと変身するスーパー アンドロイド・キューティーハニーだった。装置を狙 う犯罪組織 "豹の爪" に父を殺されたその日から、八 ニーの華麗にして過酷な戦いは開始された……。"少 女版多羅尾伴内"という東映動画側の企画をもとに 永井豪氏が原作を担当。SF的な設定を加味しなが ら練り上げられた作品。「デビルマン」同様、放映が 土曜夜8時30分だったこともあり、変身時にヌードに なる大胆な描写が導入され、注目を浴びた。永井氏 の絵柄をうまく消化してデザインをこなした荒木伸吾、 舞台装置的でシュールな美術設定を生み出した浦田 又治らの活躍も目覚ましかった。特にDVAやテレビ で続編やリメイクがつくられれるなど、根強い人気を 持つ作品。

放映、昭和48年10月13日〜昭和49年3月30日 NET系 全25話 原作・永井県とタイナミックプロ 企画/勝田穏男 脚本 辻真先、 高久進 医川桂介 演出 勝岡田貞治、松楽博、墓西治、大質信夫。 小浸洋市、宮路一哉、日土底ほか 作画監督 / 荒木伸吾、菊池城二 上村栄司、小泉誠三、宇田川一彦ほか 美術/浦田又治、伊藤英治、 并問程宏 伊藤岩光 音楽 渡辺岳夫 製作 NET 東映 (動画)

その他の永井豪作品

- ○Xボンバー(実写)
 - (フジ系 1980年10月~1981年3月)
- **一細鉄ジーグ**
 - (NET系 1975年10月~1976年8月)
- ○サイコアーマーゴーバリアン
 - (テレビ東京系 1983年7月~1983年12月)
- ○キューティーハニーF
 - (テレビ朝日系 1997年2月~放映中)
- ○サイボット ロボッチ
 - (テレビ東京系 1982年10月~1983年6月)



"DOROPA" ENVA-LINE

ドロロンえん魔くん

閻魔大王の甥っ子のえん魔くん、名門雪女家の息女・雪子姫、情報屋のカバエル。彼らは地獄の掟を破る妖怪を取り締まるため、妖怪パトロール隊として派遣された3人組だ。街にスモッグがたちこめ、川の汚水が悪臭を放つ公害日本は、まさに妖怪たちの楽園なのだ……。東映動画が「ゲゲゲの鬼太郎」に代わる独自の妖怪アニメを企画して永井豪氏に発注した作品。人物配置や主役声優などに「鬼太郎」との共通点がみられるが、アクの強いキャラクターは永井氏ならではのもの。特に雪子姫は、そのミニスカート状の着物の魅力もあって男性ファンの絶大な人気を集めた。環境問題や人間の排他主義など、社会派的な視点での意欲作が数多く生まれた作品でもあり、「長靴をはいた猫」の名匠・矢吹公郎がその任にあたった。

放映 昭和48年10月4日-昭和49年3月28日 CX系 全25屆 原作/永井景とタイナミックプロ 全面/別所孝治、傾野養文 御本/辻具先、山崎忠昭、富家俊一、上原正三 チーフティレクター 矢吹公郎、森下主介、山舌原夫、永樹八人、生類昭言、川田武勲、 落合正宗ほか 作画監督/日土武、日川忠浩、森利夫、大責信夫、 野田卓延ほか 実術 福本智雄、遠縁重義、下川忠海、山崎副 音楽/陽井広志 製作 フジテレビ、東映動画



LITTLE WITCH TICKLE



魔女っ子チックル

イタズラが過ぎたため絵本の中に閉じ込められていた魔女っ子のチックルは、偶然その絵本を手に入れた11歳の少女チーコによって助け出される。人間界へとやってきたチックルは、お父さんやお母さんに魔法をかけてチーコと双子だと思い込ませることに成功。ラッキーベア、チックルとチーコの新しい生活が始まった。ダイナミックブロの持込み企画をもとに、東映本社テレビ部が製作した唯一の "魔女っ子もの" アニメ。原作とメインキャラの原案を永井豪氏が手がけ、作画監修を「タイガーマスク」で知られる木村圭市郎が担当。ただし、キャラクターの顔立ちにややキッい印象があったため、中盤からデザイン修正が行われている。ワーナー・ブラザースのキャラクター、トゥーティが友情出演(!?)する変わり種のエンディングもファンの間で語り草になった。

放映 / 昭和53年3月6日 - 昭和54年1月29日 ANB系 全45話 原作、永井豪、ダイナミックプロ プロデューサー、確永夕原、松永英、毎鳥数、小野耕 人、脚本 / 田村多津夫、曽田博久ほか チーフティレクター 久岡敬史 満出、坂田恵、 高木厚炎ほか 作画監督 木村走市朗・森下圭介 奥術設定 加厚清 音楽 優辺岳 夫 制作協力 / ネオ・メディアプロダウション。風ブロダクション、日本サンライズ 製作 デレヒ朝日、褒勲 (本社)、大広



獣神ライガー

百万年前、善神アーガマによって鬼ヶ岩に封じられた邪神ドラゴ。その封印を解き、全世界を手中に収めんとする ドラゴ帝国の猛攻が開始された。善神の血を受け継ぐ少年・大牙剣は自らの使命に目覚め、アーガマの分身である バイオアーマー・獣神ライガーと融合、熾烈な戦いの日々が幕を開ける。永井豪氏とタカラの間で進められていた 企画にサンライズが参加し、テレビアニメ化が実現した作品。善神と邪神が対立する世界観の構築をはじめ、ライガ ーのメインキャラのデザイン原案もすべて永井氏が担当。アニメ版のキャラは、この永井原案をもとにスタジオMA Xの内田順久がデザインを手がけた。なお、本作品が放映スタートして間もなく、一種のタイアップ企画として新日 本プロレスから同名のレスラーがデビュー、現在も獣神サンダーライガーとして活躍している。

放映 平成元年3月11日—平成2年1月27日 ANB系 全43話 原作/永井豪 企画・原作協力/サンライズ 企画協力/ダイナミック 企画 プロデューサー 今井伽 本名洋一、中川宏徳 脚本 会川昇。 高橋義昌 井上敦樹ほか 監督 駆動典夫 測出 開田修、川澤献文ほ か キャラクターデザイン/内田順久 バイオアーマーデザイン/牧野行洋 作画監督/内田順久 山田政紀ほか 美術/岡田有章 製作/ 名古屋テレビ、東急エージェンシー、サンライズ

GOD MAZINGER



超古代の地球。ドラゴニア帝国の攻撃によって滅 亡の危機に瀕したムー帝国では、女王アイラ・ムー が時を隔てた未来から少年・火野ヤマトを召還。 "選 ばれし者"であるヤマトはムーの石像と合体、ここ に守護神ゴッドマジンガーが甦った! 「グレートマ ジンガー」の企画時タイトルであり、永井豪氏にと っても愛着の深かった「ゴッドマジンガー」が10年 ぶりに陽の目をみることに。本作は当初「マジンガ ーZ」のリメイク企画だったが、最終的には古代の神 というユニークな設定をもつ、まったく新しい"マ ジンガー"として完成。永井氏は放映に併せて原作 単行本も描き下ろしている。製作は東京ムービー 新社で、竹内啓雄、平山智など「キャツ・アイ」を終え たスタッフが多数参加。なおアニメ版では、原作に ない "光宿りしもの"の争奪戦が物語の縦糸として 折り込まれていた。

放映/昭和59年4月15日-9月30日 NTV系 全23階 原作 永井東 プロデューサー 初川則夫、加藤俊三 シリーズ構成 小野田博之 脚本。社真先、並木敏、大野木賈、塚本裕美子、星山 博之、田口成光 演出 早川よしお、井内秀治、坂野亀吉、井戸諸徹、西森明良、伊藤幸松、南敦ほか キャラクターデザイン 平山智 作画監督 本橋秀之 美術監督 瀬藤栄子、大野広司、早乙女海 音楽 羽田屋太郎 製作 東京ムービー新社



INAZINGER Z VS



永井豪原作による2大人気テレビ作品のヒーローを競演させたアニメ史上画期的な劇場映画。Dr.ヘルに操られた機械獣軍団およびデーモン族の妖獣たちとマジンガーZ、 デビルマンの死闘を描く。以後、この路線は"ヒーロー対決シリーズ"として「東映まんがまつり」に定着。全体のストーリーは永井豪氏がまとめたアウトラインがもとになっ ており、「マジンガーZ」のテレビシリーズでお馴染みの高久進が脚本を担当。ワイド画面をフルに生かした勝間田具治のレイアウトセンスとアクション演出、角田紘一ほか長 編映画班のスタッフが主力を務めた丁寧な作画があいまった結果、劇場アニメならではの見せ場にあふれた秀作となった。本作はまた、ジェットスクランダーによってはばた くマジンガーZの勇姿を、テレビ版に先行して描いた内容ともなっている。

NAZINGERZUS THE GREAT GENERAL HEBARKNESS

マジンガーZ対暗黒大将軍

古代より地底近くに潜伏しなから世界侵略の機をうかがってい たミケーネ帝国がついに野望を実行に移し始めた。暗黒大将軍に 率いられた七つの軍団が各国の都市を襲撃。甲児はマジンガース で発進するが、圧倒的なパワーの戦闘獣たちを相手になすすべも なく破壊されてしまう。その時、甲児の眼前に新たな勇者が出現し た……。「マジンガーZ」の劇場映画第2弾。新ヒーロー、グレート マジンガーの登場を、何とテレビシリーズの3ヵ月も先行して描き、 本作で劇場初監督を務めた西沢信孝が手腕を発揮、重厚でツボを 心得た画面を作り出すことに成功している。なお、テレビ版キャス トが未決定だった時期に製作されたこの作品では、剣鉄也役をデビ ルマンの田中亮一が演じている。

原作 永井豪とダイナミックフロ 製作 替石橋一 企通 有鍵像、旗野機文 脚本 高 久進 演出 西沢信孝 作画監督 角田鉱一 原画 奥山均子、森英樹、木野選児、金山 小田克也、阿部陽、小松原一男、森下圭介、小泉勝三ほか 美術監督 辻忠直 背 景 下川忠海、勝又歌ほか 音楽 渡辺笛明 製作 東映動画

GREAT MAZINGER VS GETTER ROBUT

グレートマジンガー対ゲッターロボ

あらゆる金属を食べて無限に成長を続ける宇宙怪獣 ギルギルガンが出現。ゲッターチームは怪獣を操る謎の 円盤を追い、グレートマジンガーは怪獣に立ち向かうも のの、どちらも力及ばず、撤退を余儀なくされてしまう。 強力な宇宙からの侵略者を倒すため、兜・早乙女両博士 は2大ロボットによる共同作戦を計画する。永井豪氏と 石川賢氏の2大ヒーローを競演させた劇場作品。原作掲 載権を持つ出版社も、講談社と小学館それぞれに分か れているため、本作に限り2社の提携が行われた。監督 は「グレート」班の明比正行、作画監督は「ゲッター」班 の小松原一男が担当。両テレビシリーズのストーリーか らは完全に独立した形で登場した怪獣ギルギルガンは、 デザインも個性的で、三段階の形状に成長変化する設定 など映画的な見せ場も工夫された敵役としてファンの人 気も高い。



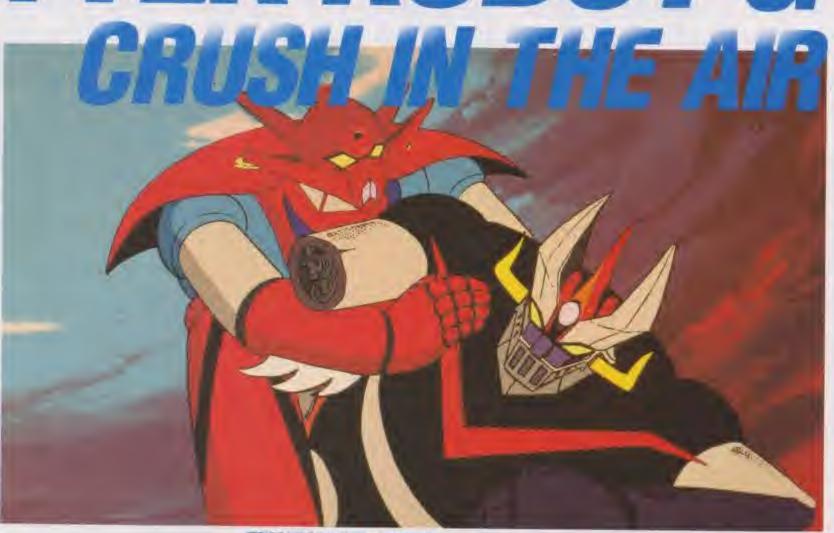
昭和50年3月21日公開 上級時間30分 原作、永井縣、石川賢とタイナミックプロ 製作 今田智郷 企画、有 實體。橫山寶二 椰本 麵川圭介 演出,明比正行 作而監督 小松原 一男 原國 查利夫、富永貞義 美術 福本智雄 肖景 勝又激、海井

信明、阿部泰三郎 音楽 渡辺笛明、菊池俊师 製作 東映動画

GREAT MAZINGER VS GETTER ROBOT G

グレートマジンガー対ゲッターロボG 空中大湫空

謎の宇宙船が早乙女研究所を急襲、ムサシ は空魔獣グランゲンとの戦いで無残な死を遂 げてしまう。続いて、宇宙船を追って羽田空港 へと向かったビューナスA、グレートマジンガ ーもまた結合獣ボング、光波獣ピグドロンの 前に苦戦を強いられる。だが、そこへ新メンバ 一のベンケイとともにゲッターロボGが出現。 さらにグレートの新兵器グレートブースター も到着し、両チームの逆襲が開始された。「グ レートマジンガー対ゲッターロボ」の続編。ム サシの死と研究所の破滅からゲッターロボG の出撃へといっきに連なるストーリーは、先行 して放映されたテレビ版とは異なるドラマチ ックな展開となった。一方、グレートブースタ 一の登場はテレビ版に先がけたものとなって いる。演出の明比正行、作画監督の小松原一男、 美術の福本智雄などメインスタッフは前作と ほぼ同じ顔ぶれ。



昭和50年7月26日公開 上映時間25分 原作 永井景、石川貴とダイナミックブロ 製作/今田智惠 企画 有質値 横山賢二 脚本 悪川桂介 演出 明比 正行 作画監督 小松原一男 原面 友永和秀、萬岡博、森利夫 美術 福本智雄 背景 阿部東三郎、佐藤正行、沼 井信朗、馬本此 音楽 海辺南明 新地俊舞 製作 東韓動画

UFUROBUT #AGIN Ratu 音楽 海辺 田明、新池俊賞 駅作 東映動 GRENDIZER VS

GREAT-MAZINGER



UFDロボ グレンダイザー 対グレートマジンガー

ベガ大王の親衛隊長バレンドスの宇宙船が 地球へと飛来。宇門大介に心配をかけまいと 単身TFOで出撃する兜甲児だが、不覚にも円 盤獣ジンジンに拿捕され、バレンドスにグレー トマジンガーの存在を知られてしまった。早速、 ロボット博物館からグレートを奪ったバレンド スは、自らそれを操縦してグレンダイザーを 襲撃するが……。"ヒーロー対決シリーズ"の 中で、本当にヒーローロボット同士の対決がビ ジュアルとして描かれた異色の劇場作品。全 体のストーリーとしては「グレンダイザー」の うちの1エピソードに数えられる内容になって いる。劇場版初演出を務めた葛西治の豪快な 画面構成、小松原一男、友永和秀ら作画陣に よるメリハリの効いた動きの魅力に加え、ロ ボット博物館という奇抜な設定、グレートの意 外な弱点発覚など、マニアックな楽しさが散り ばめられた好編。

昭和51年3月20日公開 上映時間27分

原作・永井豪とダイナミッグプロ 製作・今田智曹 企画・有 質健、閉田毬男 脚本・陽川圭介 海出 幕西治 作画監督 小松原一男 原画 友永和秀、湖川滋、木下美喜 美術・伊藤 岩光 背景 松本健治、海老沢一男、原田陽一、野崎俊郎 音 巻 菊池俊輔、渡辺忠明 製作・東映動画

昭和51年7月18日公開 上映時間30分 原作、永井裏とタイナミックフロ 製作/今田智麗

作圆监督。木野望児 原西。阿部隆。小川明弘、金山通 弘、角田店一、広田全、的場茂夫、森英樹、湖川滋ほか 美術監督/潮田又治 背景/川井嶽、高野正道、佐藤正

GRENDIZER GETTER ROBUT G GREAT WAZI AGAINST THE HU SEA MONSTE

グレンダイザー・ゲッターロボG・ グレートマジンガー 決戦!大海獣

太古に死滅したと思われていた海獣ドラゴ ノザウルスが巨大な姿となって出現、石油コ ンビナートやタンカーを襲撃する事件が発生 した。国防軍の再三の攻撃もまったく歯が立 たず、ついに強力なロボット軍団が編成される。 ブレンダイザー、ゲッターロボG、グレートマジ ンガー、ダブルスペイザー、ダイアナンA、ビュ ーナスA 。ところが、単独で出撃したボス ボロットが過ってドラゴノサウルスに飲み込ま れてしまった……。劇場用「マジンガー」シリ ース最終作。3大ヒーローロボットにレディロ ボットまでが競演するオールスター編で、本 作のみの主題歌も作られている。それまで原 **適として同シリーズに参加してきた木野達児** が初の劇場版作画監督を担当。新カメラシス テムの導入により、さまざまに工夫された映 像処理が登場しているのも見どころのひとつ。

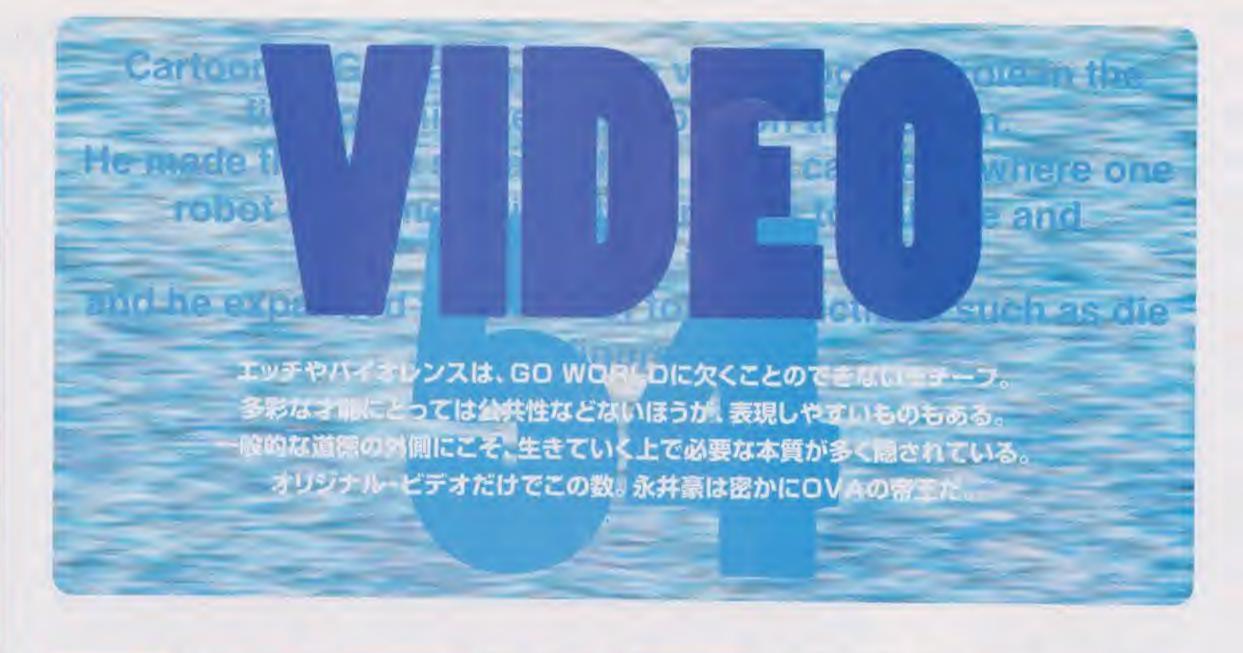


THE WAR OF SPACESHIPS



故郷のフリード星をヤーバン星に滅ぼされ、円盤とロ ボットの合体メカ・ガッタイガーとともに地球へと移り住 んだデュークフリード。そこへ、ヤーバン大王の娘テロン ナが円盤部隊とともに飛来、ガッタイガーの引渡しを要 求する。だが、父の命のままに非情な作戦を遂行しなが らも、彼女の心中は揺らぎつづける。ふたりは幼なじみ であり、テロンナは今でもテュークを愛していたのだ……。 UFOブームの要素を加味した巨大ロボットものというコ ンセプトで、東映動画が企画、製作したアニメ。上原正三 の原案をもとに、永井豪氏とダイナミックプロが原作と キャラクター原案を担当。戦場で引き裂かれた男女の悲 刷的ラブロマンスを、巨匠・芹川有吾が見事に映像化した。 子どもたちにも評判だった本作は、同年秋からのテレビ シリーズ「UFOロボグレンダイザー」へと発展していった。

昭和50年7月26日公開 上映時間30分 原案/サーグル・バーン 原作/永井優とダイナミックプロ 製作/今田智蘭 企画/有質量/勝田捻男 脚本/上原正三 测出 芹川有君 作画监督/斯野皓 原画/奥山岛子、阿部隆 木野運児 的場茂夫 金山師弘ほか 美術設定 辻忠直 美術 |内川文広 | 所景 | 勝又歌、福立知子ほか 音楽 | 同部俊輔



1984



起能力少女バラバンバ 発売/ジャパンホームビデオ

1985

事次元ハンター ファンドラ レム・ファイト機 監督/関連和之 ・・ 発売/日本コロムビア

1986

夢次元ハンターファンドラ PART2 デッドランダー編 監督/吉田浩 總版 発売/日本コロムビア



バイオレンスジャク 番外編ハーレムボンバー 監督/板野一郎



夢次元ハンターファンドラ PART3 ファントス編 監督/影山掛倫 絶版

1987



デビルマン 歴生編 監督/飯田つとむ 絶版 発売/キングレコード

1988

バイオレンスジャック 地獄街 監督/板野一郎



憑鬼の章 監督/西村純二 絶版



マジンガース 必殺技コレクション1 発売/東映ビデオ



マジンガーZ 必殺技コレクション2

1990



テビルマン 妖鳥シレーヌ編 監督/飯田つとむ 発売/調談社・バンダイ



手天童子(2) 降魔ノ章 監督/西村純二 絶版 発売・日本コロムビア



バイオレンスジャック ヘルスウィンド編 監督/和田卓也 発売/創映新社・JHV



CBキャラ永井豪ワールド オレは悪魔だデビルマン! 監督/飯田つとむ 絶版 発売/パンダイメディア



手天童子(3)鉄鬼の章 監督/川越淳 絶版 発売/日本コロムビア



監督/近藤信宏 絶版 発売/日本コロムビア



CBキャラ永井豪ワールド オレは強いぞ!マジンガーZ 監督/飯田つとむ 絶版 発売/パンダイメディア



CBキャラ永井豪ワールド これが最後だ! バイオレンスジャック 監督/飯田つとむ 絶版 発売とハンダイメティア



手天童子(4)鬼獣の章 監督/須藤昌朋 絶版 発売/日本コロムピア



カーマ・スートラ 監督/大開雅幸 絶版 発売/東宝



1992

けっこう仮面2 監督/よしもときんじ 絶極 発売/日本コロムピア



あばしり一家 監督/護郎高志 発売/ボニーキャニオン



アイアンバージンJUN 監督/前國文夫 絕版 発売/日本コロムビア





おいら女蚕 監督/五月女有作 總版 発売/日本コロムビア



花平パズーカ 監督/池上營優 絶版 発売/日本クラウン



黒の獅士 陣内編 監督/渡部高志 絶版 発売/日本コロムビア



新キューティーハニーsta.1 監督/長岡康史 絶版 発売/東映ビデオ



斯キューティーハニーsta.2 監督 長岡康史 地版 発売/東映ビデオ



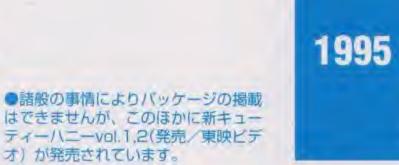
新キューティーハニーsta.3 監督/長岡原史 地版 発売・東映ビデオ



新キューティーバニーsta.4 監督/長岡康史 絶版 発売/東映ビデオ



新キューティーハニー特別編 監督 長岡原史 絶版 発売/東映ビデオ



1989

1992

1994



新キューティーハニーsta.5 監督 長岡原史 絶版 発売/東映ビデオ



新キューティーハニーsta.6 監督 長岡康史 絶版 発売/東映ビデオ



新キューティーハニーsta.7 監督/長岡康史 絶版 発売/東映ビデオ



新キューティーハニーsta.8 監督/長岡康史 発売、東映ビデオ



平成ハレンチ学園 監督/野陽吐品 発売/ピンクバイナップル



ハレンチ紅門マン遊記 監督/前島健一 発売/ピンクバイナップル



●諸般の事情によりバッケージの掲載 はできませんが、このほかに新キュー ティーハニーvol.3,4(発売/東映ビデ オ)が発売されています。



1970



ハレンチ学園 監督/丹野雄二 発売/につかつ



ハレンチ学園 身体検査の巻 監督/丹野雄二 発売/につかつ



ハレンチ学園 タックル・キッスの巻 監督、林巧 発売/につかつ



新ハレンチ学園 発売/にっかつ



永井豪の恐いZONE 監督/永井豪·早川光 発売・バンダイ



空想科学仁侠伝 極道忍者ドス電 監督/永井豪 発売/東北新社



永井豪の恐いZONE2 監督/永井豪・早川光 発売/バンダイ



けっこう仮面 監督/早川光 発売/ジャ/ワンホームビデオ



美少女探偵 まほろしバンティ 監督/長嶺高文 絶版 発売/マグザム



永井豪のホラー劇場 爾加神 監督/伊藤秀祐 絶版 発売/タキ コーボレーション



1990

永井豪のホラー劇場 マネキン 監督/伊藤秀祐 總版 発売/タキ コーボレーション



けっこう仮面2 監督/秋山豐 発売/ジャバンホームビデオ



おいら女蛮 監督/石井てるよし 絶版 発売/タキ コーボレーション



1991

けっこう仮面3 監督/秋山豐 発売/ジャパンホームビデオ



獣神サンダーライガー・ 怒りの雷鳴 監督/和田卓也 発売/パンダイビジュアル



平成ハレンチ学園 監督/村松弘之 発売/ギャガ コミュニケーションズ



吸血温泉へようこそ 監督/松山仁 発売/ミュージアム

小山田さんの入口は「へんちんポコイダー」だというのを、どこかで拝見したことがあるんですけど。

小山田 ポコイダーだったかなあ。 おなり~っポロッ殿だい! って漫画ありませんでしたっけ。割とエログロな感じの。 一ああ、ありましたね。

小山田 漫画はたぶん、それかもしれない。 ボコイダーとかボロッ殿とか……そんなシ リーズありましたよね。

でもあの漫画、永井さんじゃないんですよね。

小山田 そうだっけ?

― たしか真樹村正さんがボスのモチーフ だけ使って描いていたと思います。

小山田 そうかあ。じゃあポコイダーになるのかな。でも永井豪先生を意識して読んでたんじゃないんですよね、その当時は。今になって考えてみれば、という程度で。

― じゃあ、永井豪、の名前を意識してご 覧になったのは……。

小山田 マジンガーZかな、テレビの。 漫画はあとになって見ました。

――漫画は、内容がテレビとあんまり違う んで驚きませんでした?

小山田 バンッで切られると血みたいな のがブシュウッって出るようなシーンあり ましたよね。たぶんオイルって設定なんで しょうけど、あれ血に見えるじゃないです か。ロボットなのになんかスゲエなって、 あれがメチャメチャ印象的だな。

一血が出るロボットは、ダイナミックプロのお家芸ですよね。石川賢さんのゲップ



PROFILE 1969年1月27日生。 1989年フリッパーズギターのリーダーとしてデビュー。 1993年「Cornellus(コーネリアス)」としてソロ活動を開始。 今年8月には最新アルバム「FANTASMA」をリリース。

ヤラ知ってないと笑えないじゃないですか。 小山田 そういうスターシステムの使い 方はすごく上手ですよね。バイオレンスジャックってほんと、まんまそうじゃないで すか。一番すごいと思ったのが、マジンガー Zが盲目の黒人空手家になってでてくる ヤツ。

鉄(くろがね)の城編」ですか。Zが ジム・マジンガって名前ででてくる。

小山田 兜甲児がまだ子どもで、乙に肩車されて「右だ、ハイキック!!」とか指示出して乙がスパーンッてやっつけるっていうあの設定。あれはマジで感動した。えん魔くんもハニーも、みんなでてくるでしょう、バイオレンスジャックって。すごい。2種類あるんですよね、ストーリーが。一ええ。講談社刊と日本文芸社刊と。

小山田 最後ってデビルマンになるんでしたっけ。

そうですね。

小山田 やっぱデビルマンだね。

一前のアルバム(69 96)出されたときに、 背中に羽根付けて歌ってましたよね。やっぱりあれ、デビルウィングなんですか。

小山田 全然デビルウィングです。造ったんですよ、デビルウィング。ディパックに羽根入れといてシャッて、ひもを引くとバッて開くという。くだらない(笑)。

まだどこかにあるんですか、それ。

小山田 ありますよ、きっと。

時々思い出して自宅でシャッとか……。

小山田 ないです、それは(笑)。

一羽根はないかもしれませんが、ほかの

小山田重吾

「永井豪は2本立てである」

僕の背中に生えてきた黒く大きな翼、とデビルウィングをつけて歌う小山田クン。 永井豪ファンを公言するミュージシャンは多いが、永井豪を先生と呼ぶミュージシャンは少ない。 そんな真性永井豪ファンが愛するGO WORLDは、悪魔と鬼の結界のなかにあった。

ターロボでも、オイルが血に見えるシーンがありますし。

小山田 テレビと全然違うっていたらデビルマンでしょう。

ーデビルマンはやっぱり漫画のイメージが強いですか。

小山田 メチャメチャ衝撃的でしたね。不動明が デビルマンにとりつかれるシーンが印象的で。ヒ ッピーみたいな人たちが、ドラム叩いたり踊り狂 ったりする絵、あれが気に入ってた。あと、サイ コジェニーがすごい怖かったのを覚えてます。

あの体の真ん中に顔がある。

小山田 名前もカッコイイですよね、サイコジェニー。

どちらかというと、ギャグやエッチより、そっち系が好きだったんですか。

小山田 そうですね。永井先生の作品ではSF方面の方が好きです。短編の「鬼」とか。手塚先生っぽいのがあったりして、結構読んでました。

永井さん、昔から手塚先生はずっと好きで、 影響もかなり受けてるようですよ。

小山田 ボクも手塚先生は好きでした。あと藤子 不二雄先生かな。ドラえもん大好きだったし。永 井先生と、僕のベスト3はその3人ですね。でも 水木しげる先生も好きだしなあ、石ノ森先生も… …でも石ノ森先生はテレビの印象が強いけど。

ギャグ方面はほとんど読んでないですか。

小山田 オモライくんとかは読んでるんですけどね。 ギャグって微妙な部分があって、タイミングも大 切じゃないですか。時代性とか。

でも、永井さんのギャグ漫画って、小さい頃はただエッチでよかったんですけど、意味が分かるようになるとまたおもしろい、みたいな。

小山田 うん、ギャグやエッチもあって永井豪だよね、やっぱそっちもあるからいいんだよ、バッチリ2本立てなんだよね。それも魅力なんですよ。

一「けっこう仮面」にでてくる、よその先生の キャラをパロディにしちゃうとかって、もとのキ 永井豪ものは持ってます?

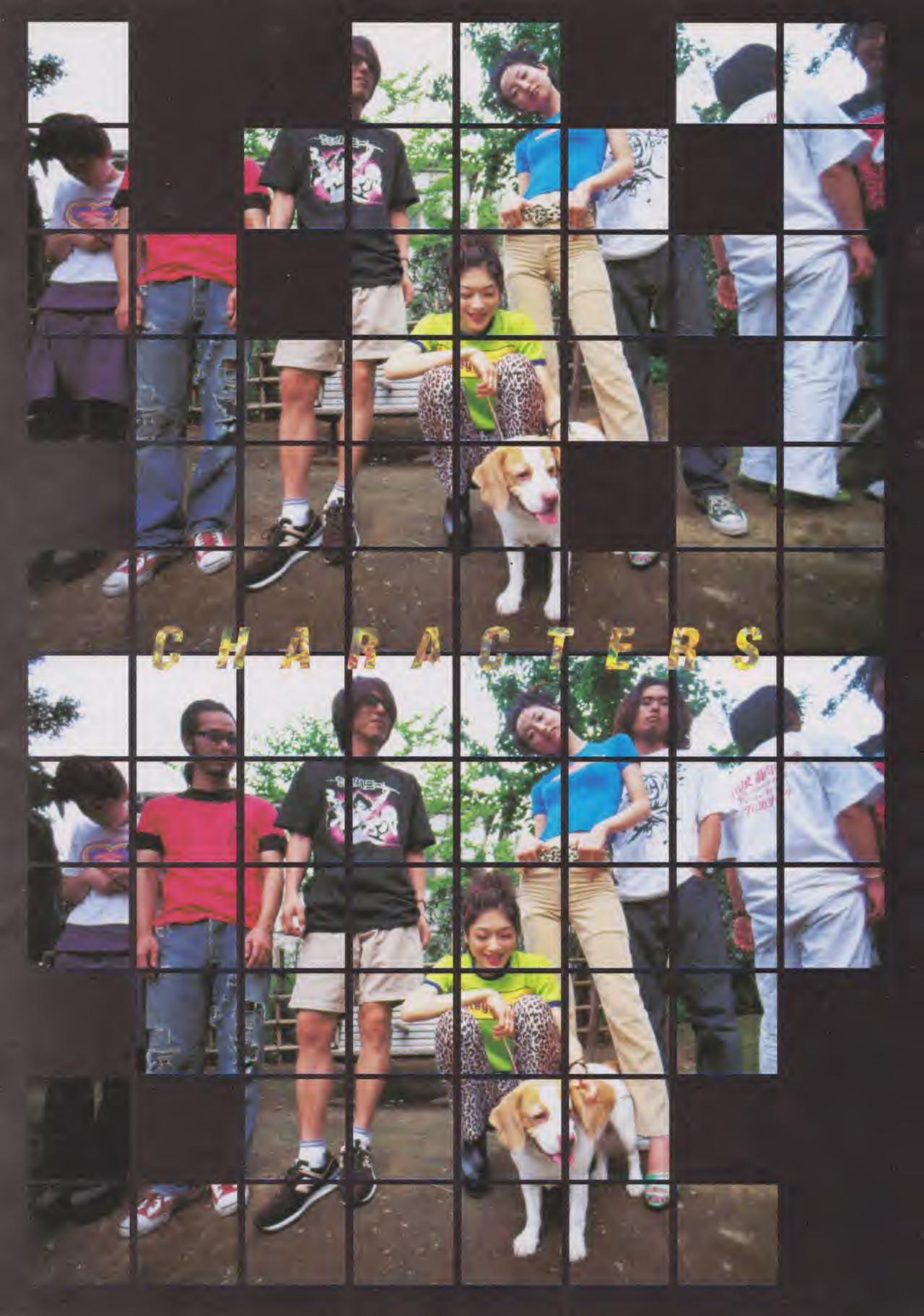
小山田 フィギュアは持ってます。デビルマンの "怒りの前進" ってやつ。漫画は、読むと人にあげちゃう性格なんで、あまり手元には残っていないんですよ。あ、でも永井先生にサインいただいた本は大事に持ってます。

一永井さんに会われたんですか。

小山田 某雑誌の自分の連載で、好きな人に会わしてくれるっていわれたんで、じゃあ永井先生に会いたいって。

一どんな方でした? 永井さんは。

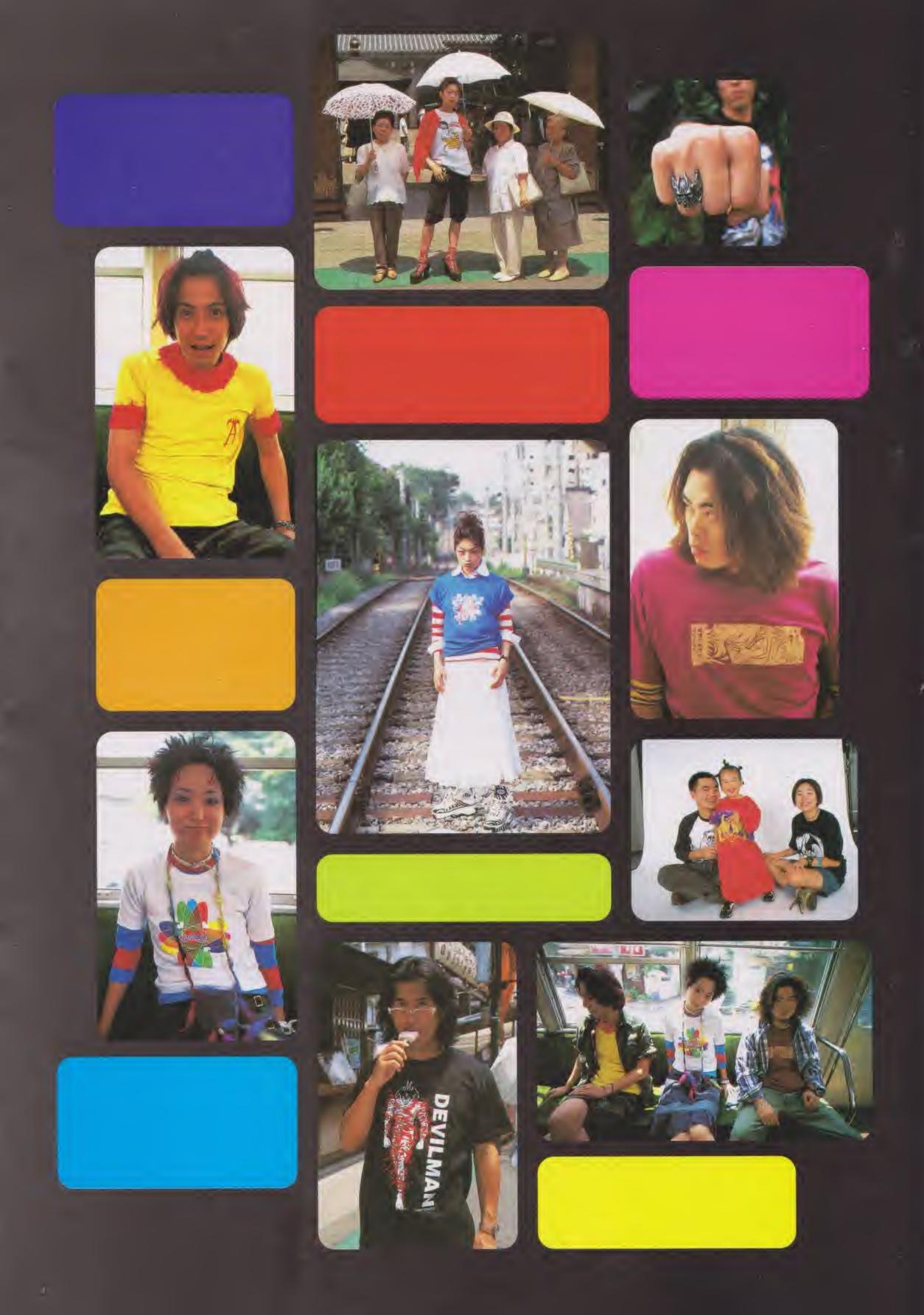
小山田 すごくスピリチュアルな人ですね。自分の前世とか来世が見えちゃうときがあるんですって。 先々のビジョンが見えるから、それに動かされる、 みたいなことをおっしゃってました。だから子ど も向けの漫画も描くけど、SFみたいな作品も「これを描かなきゃいけない」っていう使命感みたいなもので描くことがあるって。神秘の方です、永 井先生は。







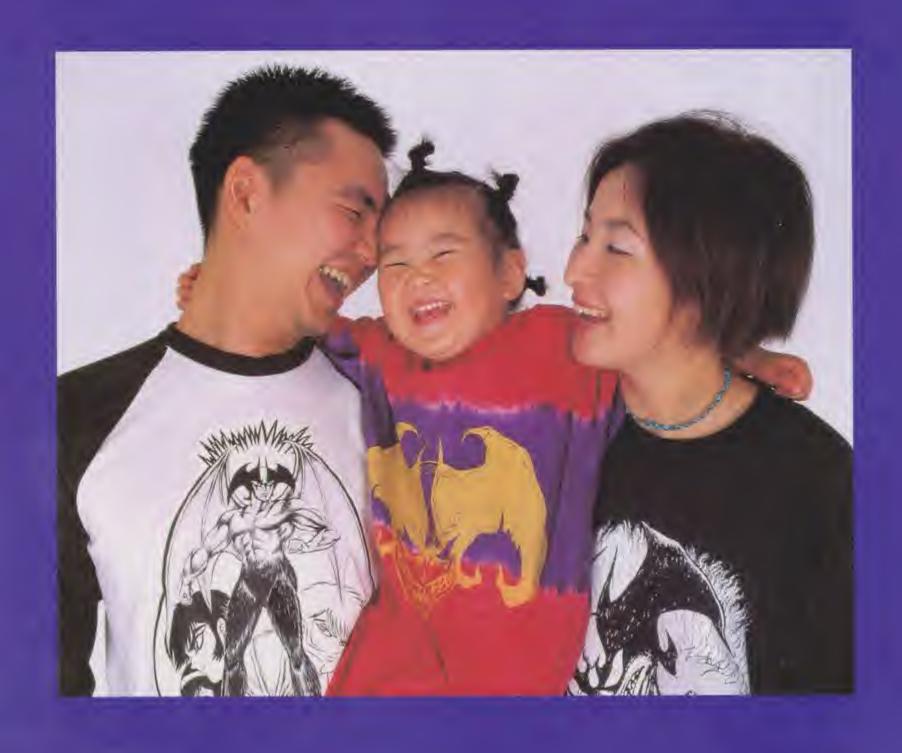






















①デビルマンTシャツ COSTUME PARADAISE ②デビルマンTシャツ COSTUME PARADAISE ①デビルマンTシャツ COSTUME PARADAISE ②デビルマンTシャツ NETWORK ③デビルマンTシャツ NETWORK ③デビルマンTシャツ NETWORK ③デビルマンTシャツ METWORK ③デビルマンTシャツ METWORK ③デビルマンTシャツ METWORK ③デビルマンTシャツ METWORK ③デビルマンTシャツ METWORK ③デビルマンTシャツ METWORK ③デビルマンレディTシャツ METWORK ③デビルマンTシャツ METWORK ③デビルマンTシャツ METWORK ③デビルマンTシャツ METWORK ③デビルマンTシャツ METWORK ③デビルマンTシャツ METWORK ③デビルマンTシャツ TOHMEN ③キューディーハニーTシャツ TOHMEN ③キューディーハニーTシャツ TOHMEN ③キューディーハニーTシャツ ART STORM ③デビルマンTシャツ BANPRESTO



protograms by LUCA (automatic)

17 (13 07 MEGUM) HAHA

MODELS YUKING
YOKO HASHIMOTO
AMANO - neus or makadao
HERA - neile or hawadan
TARESHI SAKAMOTO - COCOBAT
SARYON TETSU YUMI, LEO

FLOWER/FRANCISC OF LAWRENCE TEX

DYNAMIC OYNAMIC OY

解説 顔のない巨人 永井豪 フェデリコ・コルビ ダイナミック企画

ヨーロッパで彼ほどメジャーで無名な日本人もいない。 グレンダイザーが100%の視聴率をとりながら作者としての知名度はゼロに近い。永井豪…。 大きな足跡だけを残し、巨人は伝説となった。

『(ヨーロッパで) 7月は、新番組を始めるのに最悪の時期だが、7月3日から始まった『ゴルドラック』は特別なのだ。放送開始の1ヶ月後、フランスの全ての子どもたちはそのゴルドラックを最強のヒーローに選び、2ヶ月経ったら、『バットマン』や、『ターザン』など、前世代のヒーローたちは子供の記憶から消えてしまった。3ヶ月目、ゴルドラックの視聴率が100%に達した。裏番組はもちろん0%。4ヶ月目は、ゴルドラックと両親でどちらが好きか、と子どもたちに聞いたら、全員が「そりゃ、ゴルドラックだろう」と答えるようになった。5ヶ月目は、幸いクリスマスと重なっていたため、フランス中の親はゴルドラック・グッズをプレゼントして子どもたちの愛を取り戻した』

これは、ゴルドラック(=グレンダイザー)を取り上げたフランスの『パリマッチ』誌 1979年1月19日号からの引用である。さらには、こうも記されている。

「ゴルドラックの人形(日本ではジャンポマシンダー と呼ばれていた50センチ位のおもちゃ)は、クリスマス の25日前に売り切れ、おもちゃメーカーとのコネが なければ、とんでもない価格のブラックマーケットで 買うしかなかった。15年間、子ども番組と商品化権を 担当するテレビ局の担当者の話では、こんなに人気が 出たキャラクターは初めてだそうである。12月からの 1カ月だけで、レコードは40万枚、ポスターは15万枚、 コミックが連載されている雑誌は30万部、ステッカー やカードは数百万枚の売上を記録した。(中略)メーカ ーのマッテル社では、製造が国内の需要に追い付かな い上に、イタリアやベルギー、カナダ、スペインでも 人気が爆発し、これからは今以上に忙しくなりそうだ。 カナダでは、プロフェッショナルリーグのサッカーチー ムがゴルドラックに改名したほどの人気振りなのだ』 その当時(1978~79)のフランス、イタリア、ス

ペインなどの新聞や雑誌を読んでみたら、必ずこれに似たような内容の記事が載っていたものだ。ひとつだけ違うのは、スペインではグレンダイザーではなく、マジンガースに人気が集中しており、ダブルハーケンよりロケットバンチがスペイン中の子どもたちの心を奪ってしまったことくらいか。「マジンガース」は、スペインからさらに南米へと渡っていった。今でも南米コロンビアやヴェネズエラ、アルゼンチンなどにマジンガーのホームページやファンクラブが非常に多い。人気は一向に衰える気配をみせていない。

日本では「新世紀エヴァンゲリオン」やたまごっちが"一部の人たち"の間で人気を集め、成功しているようにも思えるが、ゴルドラックやマジンガーは子供から老人まで、誰もが知っているさらに偉大なキャラクターとして存在していた。それこそ、日本で巻き起こっているさまざまなブームがどんなに大きくとも、それが"一部の人たち"で人気を集めているといわざるを得ないくらいに。今でも20歳以上の人たちの心には、それぞれのゴルドラック物語が刻まれているはずだ。イタリアでは永井豪のロボットアニメはすべて放映され、「鋼鉄ジーグ」から「グレートマジンガー」まで、グレンダイザーと同じくらいのヒーローとして、子どもたちの人気を集めていた。

グレンダイザーやマジンガーが貴重な記憶の一片であるにもかかわらず、それらの国々でも「永井豪」の名前は、驚くほど知られていない。あれだけの作品を輩出した原作者が無名に近いのは、謎といっていい。

それはなぜか。なんと永井豪の名前がクレジット されている作品が、ほとんどなかったのだ。これは グレンダイザーに限ったことではない。『キャンディ キャンディ』や『キャプテンハーロック』など、ほか の日本人作家が描いた作品も、アニメ版の製作会社 である東映動画が独自に企画したキャラクターとして紹介され(もっともこれは事実誤認が生んだ悲劇であり、東映動画が情報操作したわけでは決してないのだが)、インタビューや特集記事では同社が「輸出を意識して企画段階から白人に見えるようなキャラクターを描いた」とか「動画はすべてコンピュータで処理している」など、根拠のない情報がいくつか公表されたりもしていた。ちなみに「輸出を意識したデザイン」と聞いて「日本人はヨーロッパの文化優略を図っている」、または「コンピュータで作られたアニメを子供にみせたら、子供たちも機械のようになってしまう」などと日本のアニメに不信感を抱くヨーロッパ人が増え、最終的にはこのような発言が日本アニメ排斥運動に発展するという、皮肉な結果を生んだ。

ヨーロッパでの永井豪は作品ばかりが先行しているが、アメリカでは漫画家、イラストレーターとして高く評価されている。アメリカのコミック誌に描き下ろし作品を掲載した日本人は、おそらく永井豪が初めてではないだろうか。ハリウッドの某大物監督も永井豪の大ファンで、永井豪作品から得たヒントをいくつかの映画に活用していると伝え聞く。

これだけ超人気キャラクターを次々と描きながらも、名前がほとんど知られていない作家は、他にはあまり例をみない。ミッキーマウスの作者を知らない人はいないだろう。生みだしたキャラクターの漫透度が同じことを考えれば、永井豪の名前が出てこないのは不思議というより他ない。198年は「グレンダイザー・ヨーロッパ上陸20周年」の記念の年にあたる。イベントもヨーロッパ各地で催してゆく予定だ。彼の作品を20年に渡って愛し続けた人たちに、世界一有名な日本人クリエイター・永井豪の名前を覚えて頂きたいと切に願う。

「私は『ゴルドラック』以上のアニメを知らない」

フランスにおける「ゴルドラック」の人気は、おそ らく日本の方々には理解しがたいものだと思います。 単なる人気番組の枠を越えて社会現象になりました。 従来のテレビアニメは小さい子どもを意識して、あま り刺激がなかったのです。そんな状況を完全に打破し たのが「ゴルドラック」でした。主人公のデュークフ リードは決して闘いを望まないし、好みません。しか し周りの人たちを守るためには、彼が闘うしかないの です。その姿に子どもたちはカリスマ性を覚えたので しょう。当時、フランスの子どもたちは誰もがデュー クフリードに憧れていました。ヒーローにはいろんな タイプがあると思いますが、デュークフリードはフラ ンス人にとって、確実にヒーローのひとりです。

「ゴルドラック」が成功したために、多くの日本の アニメが紹介されました。「宇宙海賊キャプテン・ハ ーロック」、「キャンディ・キャンディ」、「キャプテ ン・フューチャー』(仏題キャプテン・フランム)などは 大変人気があったと記憶しています。その後『聖闘士 星矢』や「北斗の拳」、「らんま1/2」、「美少女戦士セ

ーラームーン」などが人気キャラクターになりました が、これもすべて「ゴルドラック」成功の前例がなけ れば、フランスで紹介されることはなかったでしょう。

こうした日本のアニメを好む熱心なマニアも多くい ます。日本と同じように中心は20~30代の男性。 ただそのマニアの一般的な評判があまりよくないの も、残念ながら事実です。「大人のくせにまだアニメ を見てる」とか、「現実感がない」などといわれてい ます。しかし『ゴルドラック』だけはちょっと状況が 違うのです。マニアだけのものではなく、国民のヒー ローとして受け入れられているので、現在でもファン は多くいます。

日本のアニメを放映する場合、BGMやストーリー に若干の手直しを加えることがあります。しかし「ゴ ルドラック」はストーリーもそのまま、BGMも菊池俊 輔氏のオリジナルが使われています。オープニングテ ーマも、歌詞をフランス語に翻訳されただけ。だから 日本のファンとほぼ同じものを見ていたわけです。ひ とつだけ違っていたのはキャラクターの名前でした。

それぞれ星か星座の名前が付けられていて、兜甲児は 「アルコール」、団兵衛が「リゲル」になったりして。

グッズも数多く販売されました。たとえば文房具 や出版物、アパレル、日本でいうところの超合金や ジャンボマシンダーもありましたよ。かなり膨大な 数の商品展開なので、売上げや種類はわかりません が、視聴率なら分かります。「コルドラック」は最高 視聴率100%を誇る最初で、恐らく最後のテレビ番 組でしょう。平均視聴率も70%を越えていたと聞 いています。今では信じられないような数字です。 これほどまでにダイナミックで、アクションも感動 もあるアニメを、私は知りません。

PROFILE ピエル・ジネール

1967年フランス生まれ、リヨン第3大学日本語学部卒。日本のア ニメが好きで、有名なアニメーターやマンガ原にあうため何度と なく来日を重ねている 現在はフランス国内で最高の部数を結る アニメ推議「アニメランド」 編集部の中心人物として活躍。 彼がイン タビューした作家は宮崎殿や鹿野秀明、松本零士、そして永井豊な ど100名以上。日本のアニメ業界にもっとも頭が広い外国人である。

ATERIAN S			
主要作品海外放送	:-N	- 75.1	
タイトル	国名	放送年	
マジンガーZ	スペイン	1977	
	台湾	1978	
	中南米	1978	
	イタリア	1980	
	中近東	1982	
	イギリス	1983	
	アメリカ	1984	
	フランス	1985	
グレートマジンガー	イタリア	1979	
	台灣	1987	
グレンダイザー	フランス	1978	
101111	イタリア	1978	
	アメリカ	1979	
	西ドイツ	1979	
	中近東	1979	
	中南米	1984	
	ギリシャ・キプロス	1985	
鋼鉄ジーグ	イタリア	1978	
	香港	1981	
	フランス	1985	
デビルマン	香港	1978	
	イタリア	1983	
キューティーハニー	香港	1978	
	フランス	1988	
マシンハヤブサ	イタリア	1978	
	フランス	1983	
	ギリシャ	1984	

e	Di	C
. Vari		
		1

(鬼」が掲載された「epic」



米酷に描きおろした「鬼」のトピラ

コミック海外販売				
タイトル	卷数	国名/出版社	発行年度	
メモリーグラス	全2卷	台湾 東立出版	96	
ドラグ恐竜剣	全1巻	台湾 東立出版	96	
	全1巻	香港 東立出版	96	
勇士ダンダン	全1巻	台湾東立出版	96	
UFOロボ グレンダイザー	全2卷	香港 自由人出版	93	
	全1卷	イタリア Dynamic Italia	97	
	全1卷	フランス Dynamic Visions	97	
グレートマジンガー	全7巻	イタリア グラナタブレス	92	
	全2巻	香港 自由人出版	93	
デビルマン	全2巻	香港キング洋行	82	
	全14卷	イタリア グラナタブレス	91	
	全3巻	香港 自由人出版	93	
	全3巻	イタリア Dynamic Italia	96	
	全3巻	フランス Dynamic Visions	97	
キューティーハニー	全1巻	香港 自由人出版	93	
マジンガーZ	全7卷	香港キング洋行	82	
	全12卷	イタリア グラナタブレス	91	
	全4巻	香港自由人出版	93	
マジンガー	全1巻	アメリカ First Publishing Inc	88	
魔王ダンテ	全2巻	イタリア グラナタブレス	91	
鋼鉄ジーグ	全1卷	香港キング洋行	82	



ゴルドラックが「MATCH」表版に



海外出版社同「デビルマン」

OVA	海外販売			
国名	タイトル	巻数	年代	メーカー
イタリア	カーマスートラ	1巻	96	YAMATO
	新キューティーハニー	4卷	96~97	ダイナミックイタリア
	手天童子	2巻	3	
	花平バズーカ	1卷	-	
	デビルマン	2巻	0	
	マジンガー劇場版	5巻	5	
	CBキャラ	3巻		
	けっこう仮面	2巻	*	0.4
	おいら女室	1巻	+	
	黒の獅士	1巻	*	15
フランス	The second second	4巻	96~97	ダイナミックビジョンス
	手天童子	2巻	1.50	
	デビルマン	2巻	31	
	マジンガー劇場版	5巻		
	CBキャラ	5巻	71	
	けっこう仮面	3巻	*	1.4
	おいら女質	2巻	1	9
J	黒の獅士	1巻	*	*
スペイン	バイオレンスジャック	3巻	95	マンガエンターテインメント
	デビルマン	2巻	3	-
	新キューティーハニー	4巻	96~97	ダイナミックイタリア
	手天童子	2巻	87	
KTY	バイオレンスジャック	3巻	96	マンガエンターテインメント
	デビルマン	2巻	96	
	新キューティーハニー	4巻	96~97	ダイナミックドイッチェラン
	手天童子	2巻		+
NAFTA	けっこう仮面	2巻	95	マンガエンターテインメント
	新キューティーハニー	4巻		
	あばしり一家	1巻	4	
	バイオレンスジャック	3巻		
	デビルマン	2巻	9	
	花平バズーカ	1巻	96	AD Visions Inc
	手天童子	4巻	- 41	
イギリス	バイオレンスジャック	3巻	95	マンガエンターテインメント
	デビルマン			(2-
	カーマスートラ			Western Connection
オーストラリア	バイオレンスジャック	3巻	95	マンガエンターティンメント
ALCOHOL: NO				

一戸川さんは小さい頃から本が好きだったとお聞きしたんですが、豪さんのマンガではどの辺りから読まれているんですか?戸川 昔からメカものにはいってなくて。マジンガーとか、ですか。

戸川 好きではあったんだけどね。でも愛、 と呼べるにいたるのは、もっと生身っぽい やつ。私は高度成長期の人間なんで、子供 の頃は『ハレンチ学園』とか。

一少年誌も読まれてたんですか。

ア川 少女マンガも好きだったけど、昔の少女マンガってバレーかギャグか、あとはお母さんがヘビ (笑) みたいな、その3つくらいしかバターンがなくって。男の子の雑誌の方がバリエーションあったんで、少年ジャンブと少年マガジンは必ず読んでた、ずっと。小学校の時にね、オモチャの金庫を買ったのよ。身の回りの大事なモノとか入れて遊んでたんだけど、最後にそれをタイムカブセルにしようと思ってね。そこに万博の入場券と「ハレンチ学園」の表紙を破って入れておいたのを、なぜかすごくよく覚えてる。

一少年誌であっても生身の、それも主人 公が女の子のマンガの方が好きだったんで すか。

戸川 キューティーハニー」とかね。 ハニーっていろんな人になれるじゃない。 小さな頃から私は女優になりたかったんだ けど、それはやっぱりいろんな人になりた かったのね。だからハニーの影響もあるの かな、とか。

一女優をやりたい、っていうのは、変
∅



PROFILE 1961年3月31日生。 小学3年生から子役として芸能界へ登場。1982年のTOTOウォシュレット CM出演を機に異彩を放つ実力派としてドラマ、映画、舞台と幅広く活躍。 音楽活動では自身のハント、ヤブーズも健在。熱心な支持者を得ている。

戸川 どこからも誰からも見られてしまうわけで。顔は出してるし。それでも頬を赤らめたりするっていう。だから私もマスコミという巨大なメディアにいても、恥ずかしさを失ったらいけないんだなって。大子には学んだわけですよ。

すごく深いですよね。

戸川 とまあ、こじつけてみたんですけどね、今(笑)。自分でも、なんであの人の味方をするんだろうと思いながら。

男のキャラクターはどうでしょう、どんなタイプが好きでした?

戸川 永井豪の作品に出てくる男の人は、 感情がある人が。人間的な怒りとか。

そうするとデビルマンになりますかね。

戸川 名前が何とかマンて多いじゃないですか。昔からマンのつくものって、マンじゃない部分ばかり伝わってくるんだけど、デビルマンは両方あるなっていう、デビルとマンの。マンの部分もすごく感じさせる、人間的な部分を。

悪魔と人間がひとつの個体のなかで両立してるという。

戸川 そもそも、理性の夕ガが吹っ飛ぶということの意味を、私らの世代はデビルマンで覚えたね。不動明がアモンに乗っ取られるためにランチキバーティーをするシーンとか、近所の人たちが牧村家に悪魔狩りだ、とかいって襲ってくるシーンとか、描写がものすごくリアルだったでしょう。理性の裏側にはこんなものがあるんだ、って初めて知ったのがデビルマンじゃないか、とか。理性の対局に本能や野性というもの

再川綿

「永井豪はバランスである」

対極をなすふたつの事柄。たとえば善と悪。あるいは理性と野性。 戸川純は二元論的なものの融合が永井豪の魅力であり、みずからのテーマでもあるという。 女優であり、シンガーでもある彼女の確固たるバランス感覚は、「デビルマン」で培われていった―。

身願望の現れでもあったと。

戸川 それは自覚してたんだけど、一番影響を受けたのは、実は敵の悪い女じゃないかって。

一ある意味、強さの象徴的な部分がありますよね、 悪役って。

戸川強さと、色気も大事だと思うのね。私、アメコミって好きなんだけど、バットマンとかには出てくるじゃない、強くて悪くてキレイなのが。キャットウーマンとか。だから「あばしり一家」も好き。菊の助って、もともと髪が短いしケンカも強い、怒ると恐いといわれつつ、恥じらいもあるのね。「ハレンチ学園」の十兵衛もスカートめくられるとキャーッて恥ずかしがるでしょう。男の強さと女の色気と、いいところだけ合わせたような、そういうのに惹かれるかな。

永井さんのマンガって、あばしりとかハニーのような全部さらけ出して動き回るようなタイプと、「まぼろしバンティ」とか「けっこう仮面」のような匿名性の高いヒロインと、両極端にいるじゃ

ないですか。戸川さんはどちらかというと、顔は 隠さないヒロインの方が好き?

戸川 そう、顔を出してる方がシンパシーを感じる。 匿名性の高いものって顔パレしてないだけで強み があるっていうか。顔を出して裸になってるという、 責任。

一種面は責任放棄じゃないかと。

戸川 いや、まるっきりの裸よりはエプロン一枚つけてる方が、男の人にとっては色気を感じるのと同じ意味あいのものだとは思うんですけどね、あのマスクは。ただ、私だってかなり恥ずかしいことをやってきてるけど、顔出してるんだぞ、みたいな。それなりにリスク背負ってるの、ってところで。

――シンバシーは感じられないかな、と。

戸川 むしろ、あばしりに出てくる法印大子。あ あいう人のほうが好き。

が存在していて、しかもその両方が同居しているってところに、観念的な影響をすごく受けてる。 二元論的な構造が融合してしまう世界。それが今の私のバランス感覚になってるんで。相反する二つのものを、常に自分の中に取り入れようとしてるんですよ。たとえば強さとかわいさ? みたいなね。ロリータ趣味って嫌いじゃないんだけど、でもこういうカワイイ服着るときは、ペーパータトゥとかリストバンドでバランスとってみたりね。まぁ、客観的にわかっててこんな格好をしてるのよ、って証でもあるんだけど。

なにかあったら、自分のシーソーに乗せて考えてみる、と。

戸川 そうそうそう。今やってる音楽でもそうなんだけど、テクノに、いかにも肉声って声をのせてみるとか。相反するものの融合が、私にとって一貫した永遠のテーマなんですよ。それを教えて頂いたのが、デビルマンじゃないかなあと。おぼるげに思うわけです。



Go Nagai is a cartoonist who has produced more than 160 titles since his debut in 1969.

The total number of his comic books released by different publisers is now 580, which proves his popularity. Here, we'd like to introduce his glorious work of 30 years through the covers of his comic books.



朝日ソノラマ・サンコミックス 若木書房・コミックメイト 1974.8.22 1969.7.25

馬子っこきん太 全 2 巻



秋田書店・サンデーコミックス 1969.7.30



1972.11.2

ハレンチ学園 全13巻 *英社・JC



1969.11.30

脚談社・K C 1969.7.19



1970.1.31



1970.5.31



1970.8.31



1970.9.30



1970.12.31



1971.2.28



1969.11.30

1971.4.30



1972.6,30



1972.8.31



1972.12.31



1974.12.3

ハレンチ学園 全7巻



1986.4.5



1986.5,6



1986.6.6



1986,7.6



1986.8.6



1986.9.6

1986.3.6

あばしり一家 全15巻 秋田書店·CC



1970,7.20



1970.11.10



1971.3.10



1971.10.5



1972.4.10



1972.5.10



1972.7.10





1972.8.10



1972.7.10



1972.8.10



1972.10.15



1972.11.25



1973,1.25



1973.12.10



1973.12.15

あばしり一家

秋田書店·AC





1986,9.20



1987.1.10



1985.12.20

全5巻 調談社・KC





1970.8.10



1970.12.10



1971.2.10



1971.4.10

1970.8.10

キッカイくん 全6巻 朝日ソノラマ・サンコミックス



1973.10.3



1973.10.3



1973.10.16



1973.10.16



1973.11,5



1973.11.5

キッカイくん 全3巻 朝日ソノラマ・SWC



1987.7.20



1987.8.20



Go Nagai is a cartoonist who has produced more than 160 titles since his debut in 1969. The total number of his comic books released by different publishers is now 580, which proves his popularity. Here, we'd like to introduce his glorious work of 30 years through the covers of his comic books.

ヤダモン



1970.10.10





絵·石川賢共作 少年團報社 1970.10.15



1971.7.1



絵·石川賢共作 若木書房・コミックメイト 1974.12.25

1975.1.15

スイートちゃん



若木書房・コミックメイト 1970.12.10

じん太郎三度笠



集英社・JC 1971.5.31



朝日ソノラマ・サンコミックス 1971.10.5

全3巻



1971.11.30



1972.1.27

ガクエン退屈男



朝日ソノラマ・SWC 1985.7.30



1985,8,20

ガクエン退屈男



角川震店・YCS 1990.11.7



1990.127

-2889年の反乱-



朝日ソノラマ·SMC 1971.10.25

鬼 -2889年の反乱-



朝日ソノラマ・改訂版 1979.1.30

全3巻 若木書房・コミックメイト



1972.2.15



1972,3.25



1972.4.25



勁文社・コミックス傑作選 1989.6.28

全3巻 朝日ソノラマ・サンコミックス



1972.6.23



1972.8.15

全2巻 朝日ソノラマ・SWC



1985.11.20



1985.11.30

1972.5.06

デビルマン 全5巻 MBSH-KC



1972,10.20



1972.10.20





1973.7.10



1973.9.10

全3巻 MM社·KCSP

デビルマン

1983.7.6



1983.7.6



1983.8.6

新デビルマン



脚談社・KC 1981.12.18



講談社・KCSP 1987.1.7

講談社·豪華曼蔵版



1987.9,17



1987.9.17



1987.11.17



1987.12.17

1987.10.17

全3巻 朝日ソノラマ・サンコミックス



1973,1.30

Σ



1973.2.15



1973.3.30

読者代表だった、 ボンクラ 編集者で一す o



きゃしゃで公家顔の永井豪さんを見知っ たのは、30年以上前の石森プロでした。彼 はチーフのアシスタントとして、一心不乱 に背景処理に打ち込んでいたと記憶してい ますが、その彼が、週刊少年マガジンから、 月刊ぼくらに異動した私の目の前に現れた のは、それから1年足らず後のことでした。 私はマンガ編集の成りたて、永井さんはマ ンガ家の卵ということもあり、同年代の気 安さもあって、読み切りギャグ「目明かし ポリ吉」の打合せは誠にスムースに進みま した。編集後の人気も上々で、ただちに次 回作の検討に入るはずだったのですが、当時、 月刊ぼくらは、週刊誌化を目指してばたば

たとしている最中でした。この雑誌は、昭 和44年秋に週刊ぼくらマガジンとして、再 発足し、昭和46年6月に休刊するという、 短命に終わりました。週刊ほくらマガジンに、 惜別の情を持ちつつ、古巣の週刊少年マガ ジンにもどったころには、永井豪さんはす でに「ハレンチ学園」で、巨大な存在にな

「デビルマン」を引っさげて、永井豪さん が週刊少年マガジンに登場し、その担当を 拝命したのは、担当者としては僥倖という べきでしょう。毎週原稿を拝見するときには、 読者と同じく、ドキドキしたのを覚えてい ます。同時に、この大きな作品のすべてが、

永井さんのなかで完成していることもわか りました。内容に関わる打ち合わせはほと んどなく、細部にいたるイメージまで、永 井さんの頭のなかで、発酵し熟成されてい たのです。私は、編集者というよりは、原 稿を真っ先に読める読者代表ともいうべき 存在でしたが、充分に満足しておりました。 シレーヌの持つ叙情性にホントにシビレて いたのですから。

永井先生、ありがとうございました。お 礼を申し上げると同時に、この時代(どこ かおかしくてあやしい)を打ち抜く、新た な永井ワールドの創出をお願いする次第です。

Go Nagai is a cartoonist who has produced more than 160 titles since his debut in 1969. The total number of his comic books released by different publishers is now 580, which proves his popularity. Here, we'd like to introduce his glorious work of 30 years through the covers of his comic books.

マジンガーZ 全4巻 集英社・JC



1973.2.28

1973.4.30





1973.7,31

朝日ソノラマ・サンコミックス



全5巻 立風書房

1974.4.20











1974.5.13

1974.5.13

調談社·KC



1975.11.25









誕生篇1980.8.25

怒涛篇1980.8.25



死闘篇1980.9.15

完結篇1981.1.10

1975.11.25



1976.1.16

1976.1.16

全3巻 朝日ソノラマ・SWC

マジンガーZ





1985.4.30

1985.5.25



1985.6.25

大都社







1996.12.30



中央公論社·愛蔵版 1989.3.25

MAZINGER



トレヴィル 1992.5.25

1996,12,5

全3巻 朝日ソノラマ・サンコミックス 魔王ダンテ



1973.6.15



1973.6.20



1973.7.25



朝日ソノラマ・SWC 1984.10.15

魔王ダンラ



1984.11.30

魔王ダンテ

中央公論社·愛蔵版 1991.6.5

オモライくん 全2巻



調談社·KC 1973.7.20

朝日ソノラマ・サンコミックス



1973.7.20



1980,3.19



1980.4.21



J I C C 1992.7,20

よくふか頭巾



青林堂 現代漫画家自選シリーズ 1973.10.10



秋田書店·CC 1974.1.30

1978.3.19



秋田書店、AC 1985.3.25



中央公論社·愛蔵版 1992.7.20

Cutie/\=



扶桑社 1993,11,30

ドロロンえん魔くん 全3巻 若木田房・コミックメイト

1974,4.20





1974.5.5



1974.6.25

ドロロンえん魔くん

ドロロンえん思う。



朝日ソノラマ・SWC 1985,9,20

ドロロンえん居ん



1985.10.25

ドロロン えん魔くん



中央公論社·愛蔵版 1991.7.20

なんでもちイ子



朝日ソノラマ サンコミックス 1974.4.10

1974.4.5

0

2

ш

COMIC WORK

Go Nagal is a cartoonist who has produced more than 160 titles since his debut in 1969. The total number of his comic books released by different publishers is now 580, which proves his popularity. Here, we'd like to introduce his glorious work of 30 years through the covers of his comic books.

バイオレンスジャック 全7巻 MWH・KC







1974.8.15

調談社・KCSP









1974.4.20

1977.6.20

1977.10.30

1978.5,25

1978.12.15

1974.4.20

バイオレンスジャック

全6巻











1984.10.6

1984.10.6

1984.11.6

1984.12.6

1985.1.10

調談社·豪華愛蔵版



1990.7.17



1990.8.17

1990.11.17







1990.12.14

1991.1.07

小さな手の天才



永井先生の担当をさせていただいたのは、 23年前、「バイオレンスジャック」の頃です。 当時、私は駆け出しの編集者で、先生は週 刊誌3本と月刊誌に連載を持つ超売れっ子 作家。それなのに、子供のような笑顔で、 新米の私に接してくれて、意見の言えるよ うな立場でない私の言葉も真面目に聞いて くださり、今から思えば顔から火が出ます。 本当に優しくて素敵な方です。

"画から音が聞こえる"という体験も、そ の頃、初めて味わいました。先生の仕事場 で原稿待ちをしている所に、出来上ったば かりの「バイオレンスジャック」20頁の画 稿が届きました。さっそく読み始めたので

すが、何故か読むうちにドキドキしてきま して、後半の10数頁めの画稿を開いた時に、 ふるえがきました。その頁はジャックの大 ゴマなんですが、画からジャックの心臓の 音が聞こえました。正確には、聞こえた気 がしたと書くべきなのでしょうが、その時、 あきらかに音がしました。永井先生の手の 平は子供のように小さくて、でもあの手の 平から、この画が生まれるんだと感動しま した。その時から、私は、永井先生を、心 の中で"小さな手の天才"と呼んでいます。





1984.5.25



1984.8.25



1984.11.25



1985.1.25



1985.6.10



1985.7,25







1986.3,25



1986.6.25



1986.8.25



1986.11.10



1987.1.25



1987.4.25



1987.8.25



1987.11.25



1988.4.10



1988.4.25



1988.7.25



1988.11.10



1989.1.25



1989,4.25



1989.7.25



1989.11.10



1990.1.25

1990.7.25







1990.6.25



1990.8.25



1990.9.25





日本文芸社・スペシャル愛蔵版 1989.12

バイオレンスジャック 全10巻 中央公論社・製蔵版









1996.11.25



1996.7.25



1996,9.25





1996.10.25



1996.10.25



1996.11.25





バイオレンスジャック 魔王降臨編

■き下ろし・日本文芸社 1993.11.10

Go Nagel is a cartoonist who has produced more than 150 titles since his debut in 1969. The total number of his comic books released by different publishers is now 580, which proves his popularity. Here, we'd like to introduce his glorious work of 30 years through the covers of his comic books.

永井豪傑作選 全3巻 朝日ソノラマ・サンコミックス





1974.12.2

1974.12.20



1975.5.1

1975.12.15

1980.10.25



1975.7.1





1976.2.15



1976.4.15

1974.11.15

朝日ソノラマ・サンコミックス





1980.8.30



1980,9.25





1980.10.25







1980.11.20

1980.8.30

朝日ソノラマ・SWC

1987.3,20

1987.4.20



1987.5.20

グレート・マジンガー



調談社·KC 1975.4.8

1987.3.20

グレート・マジンガー



立風書房 雷神篇 1980.11.25



暗順欄 1980.11.25

グレート・マジンガー



1986.1.20



大都社·STC 1989.9.10



グレート・

大都社,新装版 1995.11.10

大都社 1986.1.20

イヤハヤ南友 全7巻 瞬般 КС



1975.6.20



1975.10.30



1975.11.20



1976.2.10



1976.4.15



1976.7.20

1975.6.20

イヤハヤ南友 全7巻 X業社・PC



1980.4.20

1981.2.25



1980.6,20

1981.4.9





1981.6.9

1986.5.20

イヤハヤ南友 全4巻

永井 臺

朝日ソノラマ・SWC

イヤハヤ南友



1986.6,20

イヤハヤ南友

1986.7.18

イヤハヤ南友



1986.8.20

1980.2.20





1976.4.30





1978.1.31



1977.7.31



1978.7.31

けっこう仮面 全3巻

集英社・JCDX



1990,8.15

1990.10.15



1990.12.9

バクラツ教室



双栗社・PC 1975.9.10

心霊探偵オカルト団

原作·高円寺博/絵·石川賢共作 秋田書店·SC



1976.7.25



1976.8.25



1976.9.25



1976.10.20

心霊探偵オカルト団



原作・高円寺博 絵·石川賢共作 大都社 1991.12.10



1991.12.10

Go Nagai is a cartoonist who has produced more than 160 titles since his debut in 1969. The total number of his comic books released by different publishers is now 580, which proves his popularity. Here, we'd like to introduce his glorious work of 30 years through the covers of his comic books.

へんちんポコイダー



1977.7.15



原作·簡并順隆 朝日ソノラマ・サンコミックス 1977.3.20

講談社·KC 1977.2.25

全9巻

脚談社·KC





1977.5.10

1978.6.25





1977.7.20

1978.7.25



1977.8.20







1978.3,25

1978.11.25

1977.4.5



1985.8.6



1985.8.6

1.985.10.5



1985.9.6



1985.11,6



1988.9.17



全6巻 調殿社・豪華愛蔵版











1988.12.17

1988.10.17



1989.1.17



全5巻 小学館+MC 無頼・ザ・キッド



1978.1.5





1978.5.5



1978.9.5

無頼・ザ・キッド 全3巻 朝日ソノラマ・SWC



1986.2.25



1986.3.25



1986.4.30

角川書店·YCS



1978.8.5



1991.2.7



1991.3.7

キングボンバ



てんとう虫コミックス 1978.3.25





1978.7.25



大都社 1986.2.20

1991.1.7

永井豪SF傑作集

全8巻



1978.4.20

0

ш

2



1978.4.20



1978.6.20



1978.8.5



1978.11.25



1979,4.25



1979,8.4



1983.2.20

永井豪さんと 『ハレンチ学園』



新進気鋭の永井豪さんが「少年ジャンプ (月2回刊)」に登場したのは、昭和43年 7月10日発売の創刊号でした。その少しまえ、 永井さんは講談社や秋田書店の雑誌に『目 明かしポリ吉」、「馬子っこきん太」など、 従来のギャグ漫画には見られない強烈なバ ンチ力のある作品をひっさげて颯爽とデビ ユーしていました。

この頃、少年誌界の情勢は週刊誌の世を 迎えつつあり、集英社も「月刊少年ブック」 のほかに週刊誌的なものを模索しはじめて いました。ただ人員的に新編集部をつくる 余裕がなく、最初は「少年ブック」の編集 者が2誌をかけ持ちしていました。

清新な誌面は新しい感覚の漫画から生ま れる……という初代編集長の方針で、「少 年ジャンプ」の初期に大家は登場していま せん。まさに永井さんは『少年ジャンプ』 にピッタリの漫画家でした。西巣鴨の実家 にぶっつけ本番で飛び込み、執筆を快諾し てもらえました。そのとき交換した名刺の 肩書きには"まんか家ちゃん"とあります。

こうして「ハレンチ学園」は誕生したわ けですが、タイトルのハレンチというのは "破 廉恥"ではなく、当時、女子中高生の間で 流行っていた"すごい"とか"いけてる" という意味を持たせてつけました。しかし アイデア倒れだったようです。

内容は期待以上の出来映えでしたが、オ チは悪人の首がすっ飛ぶというギャグ漫画 らしからぬもので、永井さんのもう一つの 路線一バイオレンス路線が、すでに萌芽し ているのではないでしょうか。

「ハレンチ学園」は永井さんの代表作であ ると同時に、本宮ひろ志さんの「男一匹ガ キ大将』とともに二枚看板として、『少年 ジャンプ』躍進の原動力ともいうべき漫画 史上にのこる大傑作だと思います。

Go Nagal is a cartoonist who has produced more than 160 titles since his debut in 1969. The total number of his comic books released by different publishers is now 580, which proves his popularity. Here, we'd like to introduce his glorious work of 30 years through the covers of his comic books.

バイオレンスカー炎の鷹 全2巻

ハマグリどっせ~!!







1978.12.30

秋田書店·SC 1978.5.10

双葉社 · PC 1978.10.20

秋田書店·SC 1978,11.5

脚談社・K C



1978.12.25



1978.6.30



1979.4.20



1979.7.25

朝日ソノラマ・サンコミックス



1984.5.18



1984.6.18

1984.6.18



1984.7.10



中央公論社 - 愛蔵版 1992.1.20



集英社+JC 1979,1.31



1979.6.15



1979.5.25



1979.6.25



1979.7.25

シャーヤッコ・ホームズ



開談社 · KC 1979.7.5

シャーヤッコ・ホームズ



朝日ソノラマ・サンコミックス 1984.2.29

スペオペ宙学 全3巻 秋田園店・SC



1979.9.15



1979.10.30

1979.8.15

凄/王 全9巻 頭紋 KG



1980,1.20





1981.3.20



1980.2.20

1981.5.20



1980,5.20



1980.7.20



1980.10,20



1980,11.20

調談社·KCPS





1996,7.23



1996.8.23



1996.9.20



1996.10.23



1996.11,22

1996.6.21



1980.10,25



1981.1.25



1982.9.25



1981.4.25



1982.11,25



1981.10.25



1982.1.25



1982.4.25



1982.7.25

全6巻 作・小池一夫 集英社・YJCS





1990,11.24



1981.7.10

1990.12.18



1991.1.23



1994,8.24



1994.9.24

COMIC WORK

Go Nagal Is a cartoonis! who has produced more than 160 titles since his debut in 1969. The total number of his comic books released by different publishers is now 580, which proves his popularity. Here, we'd like to introduce his glorious work of 30 years through the covers of his comic books.

ビバ!女子プロレス



集英社 1980.12.25

UFOロボ グレンダイザー



立風書房 風雲篇1981.1.15

UFOUボ



大都社 1986.2.20

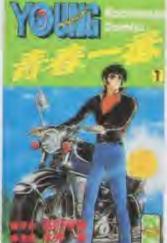
UFO□#



大都社·新装版 1995.11.10

全2巻

原作·高円寺博



全2巻 原作·高円寺博

疾風篇1981.1.15



調談社・YMKCSP 1987.11.17



1987.12.17

顕談社·YMKC 1981.7.10

秋田書店・CC

1981.8.10



1981.10,5



1981.12.10



1982.2.20



サンコミックス 1981.12.30



サンコミックス 1982.1.30

まぼろしパンティ





1982.3.15





真夜中の戦士



顕談社・KC 1982.7.20

真夜中の戦士



顕談社 · KCPX 1997.5.23



朝日ソノラマ・ サンコミックス 1983,2.18



1983.3.25

鉄戦士ムサシ 全2巻



朝日ソノラマ サンコミックス 1983,4.20



1983.5.20

鉄戦士ムサシ



大都社 1992.1.10

アイアンマッスル 全5巻 原案·鈴木光 講談社·KC





1983.8.18



1983.9.17



1983.11.18



1983.12.17

アイアンマッスル 全3巻 原業・鈴木光



講談社 · KCSP 1988.4.6



1988.5.6



1988.6.6

鉄の処女JUN

1983.8.18



朝日ソノラマ・サンコミックス 1984.1.25

鉄の処女JUN



大都社 1992.2.10

超少女UFO



朝日ソノラマ・サンコミックス 1984,3,30

ゴッドマジンガー 全4巻



1984,5.15

O

Σ

123

2

1984.6.15



1984.9.15

ゴッドマジンガ



中央公論社・愛蔵版 1995.9.25



1986.10.7



1986.12.7



1987.1.7

「手天童子」 取材裏話



酒呑童子をイメージしたタイトルからも わかるように、「手天童子」は異界の住人た る鬼をテーマにした冒険譚である。資料を あさるうちに、飛騨に鬼の首が保存されて いることを知った。そして、取材に出かけ た私たちは、なんとも不思議な体験をする ことになった。もう二十年も前のことだが、 その時の記憶はいまでも昨日のことのよう に鮮明である。

1984.8.15

念興寺というお寺の本堂の一脚、明るい ガラスケースの中に確かに鬼の首はあった。 やや小ぶりな真っ白なしゃれこうべに、五 センチほどの真っ白な角が二本はえ、目を 凝らして見てもとても作り物とは思えない。

写真撮影にも快器を得たが、温和そうなご 住職は、以前撮影した鉄道員が家族も巻き 込んでの大変不運な目にあっているので、 十分注意するようにとの忠告をつけ加えら れた。大きな交通事故やらなにやらか続発 したらしい。

取材を終え無事帰京したその夜から、私 たちの身の回りが騒がしくなった。我が家 の三歳の娘が深夜いきなり高熱を発し、直 撃は免れたものの、永井家では深夜けたた ましい音とともに位牌が枕もとに落下した という。同行した永井先生のマネージャー 氏の奥さんは階段で足首を捻り、永井先生 の仕事場によく遊びに来ていた大と猫が相 次いで怪死した。

やがて写真が出来上った。なんということ! すべての鬼の首の写真のどこかに、鮮血を思 わせる真っ赤な染みがくっきりと付いている。私 たちは写真の使用を諦め、お祓いを受けた。件 の鬼の首の写真の前での長い読経の後、僧侶 が告げた。「普通これだけお経をあげますと、 体が火照ってまいります。ですが、きょうは背筋 が寒くなるばかりでした」。写真は寺の奥深く に納められ、それから二十年以上、私の身辺に は何も怪異な事件は起きていない。読者を熱 中させるばかりではなく、周囲の全部を異界に 誘い込むような、そんな強烈無比なエネルギー を永井先生はもっているに違いない。

COMIC WORK

Go Nagai is a cartoonist who has produced more than 160 titles since his debut in 1969. The total number of his comic books released by different publishers is now 580, which proves his popularity. Here, we'd like to introduce his glorious work of 30 years through the covers of his comic books.

バラバンバ





調膜社 1984.10.26



1984.10.26



スコラ 魔族編 1987.12.17



涅魔編 1988.5.23

全2巻



スコラ 1987.12.17



1988.5,23

ぼくたちドーテ



徳間書店 1985.1.1

角川書店・YC



1985.9.7



1985.10.7



1985.11.7



1985.8.7



1985.12.7



1989.12.7



1990.9.7



原作·団龍彦 角川書店·YC 1986,2.7

調談社·KDSP



真夜中の戦士 1987.2.6



順の扉 1987,4.6



1987.5.6

This is 大介



朝日ソノラマ・SWC 1987.2.20

骨法伝説 夢必殺拳



調験社・KCSP 1987.8.6

全3巻 大陸書房

電送人バルバー

1987.3.6



1987.10.8



1987.11.12



1987.12.10



角川書店·YCS 1988.12.7

マシンガン刑事さぶ



大都社 1989.12.10

獣神ライガー 全2巻





1990.2.15



1990.3.31

1990.6,30



全4巻 構成・長谷邦夫 徳間書店・書き下るし

1990.9.30



1990.11.30

スーパー西遊記

株式会社徳川家康 全5巻 作·新宮正春 集英社

勁文社 1990.1.16











1991.7.24



角川書店 1991.11.1

1991.4.24









朝日ソノラマ・SSC 1992,4,25



朝日ソノラマ・SSC 1992:8:25



アスキー1992.9.22

1991.12.17

ミスト



集英社・JC 1992.10.7

ロボチョイA 全2巻





小学館・コロコロコミックス 1993.9.25

酒天童子異聞 闇の宴



中央公舗社 1984.8.20

ザ・バード 全2巻



集英社·YJCS 1984.8.24



1994.10.24

COMIC WORK

Go Nagai is a cartoonist who has produced more than 160 titles since his debut in 1969. The total number of his comic books released by different publishers is now 580, which proves his popularity. Here, we'd like to introduce his glorious work of 30 years through the covers of his comic books.

ダンテ神曲地獄編 上下巻





1994.9.22

淨罪編/天国編



調談社·書き下ろし 1995.10.23



福間書店・MBC 1995.2.28

発百万申し受け候



作·高橋三千綱 双葉社・アクションコミックス 1995.3.28

講談社・書き下ろし 1994.9.22



日本文芸社 1995.4.10



光文社・少年王コミックス 1995.9.10



光文社・少年王コミックス 1995.11.10



秋田書店・CJC 1995.11.20

1995.7.25

1996.3.20



徳間書店・書き下ろし 1996.1.31



1.996.3.31



大都社 1996.5.10



1996,5.10



1996.10.10



1996.10.10

1997.2.20



1997.2.20



1997.8.10

永井夢のサムライワールド)



中央公論社 1997.4.25

永井原のサムライワールド2



中央公路社 1997.5.25

赤井原のサムライワールド3



中央公論社 1997.6.25

永井をのサムライワールド4 談後藤又兵衛



中央公論社 1997.7.25

魔王ダンテ 全3巻



朝日ソノラマ 1976.10.20~11.20

ハレンチ学園 全12器



集英社 1976.11.30~1977.5.31

あばしり一家 全8巻



秋田書店 1977.6.20~1978.12.20

まろ 全2善



朝日ソノラマ 1977.7.20, 8.10

デビルマン

全5卷

デビルマン

調談社 1977.12,20~1978.3,31

ゴエモン先生

全2巻



集英社 1980.6.25. 8.25

マジンガース



中央公闆社 1994.12.18~1995.1.18

全3卷



中央公論社 1995.2.18

魔王ダンテ 全2巻



中央公論社 1995.4.18

ハレンチ学

キューティーハニ



扶桑社 1995.6.30

イヤハヤ南友 全5巻



扶棄社 1995.8.30~12.30

ティーハニ

全2卷



中央公闆社 1995.10.18

怪奇短編集



中央公論社 1995.11.18

キッカイくん 全4卷



竹書房 1995.12.18

オモライくん

德剛書店

1995.5.31



竹書房 1996,2.12

ドロロンえん魔くん





中央公論社 1996.3.18

全5巻

けっこう仮面

全多卷



角川書店 1896.4.25

あにまるケダマン 全2巻



扶躁社 1996.7.30

全日卷



扶桑社 1996.8.30~1997.1.30

酒天童子異聞闇の宴



中央公論社 1997.1.18

ミスト ストーリ



中央公論社 1997.2.18



テビルマン

1997.4.11~6.12

DEVILMAN



Granata Press 1991~93 ITALY

MAZINGA Z



IL GRANDE MAZINGA



Granata Press 1993 ITALY

MAO DANTE



Granata Press 1992 ITALY

MAZINGER



First Publishing 1988 USA

鉄甲萬能侠



暴力傑克 1~3

ver Sea

海外の永井 豪作品



大然 1995 台湾

闘魔王傑克 1~6



大然 1995 台湾

東立出版社

恐竜剣

1996 台湾

[HIS HISTORY 1945~1997]

1945 (0歳)

4月 永井一家、中国・上海より日本へ帰国。

9月6日 石川県輪島市に生まれる。永井芳雄・富士子の四男(男五人兄弟のうち)。

1952 (6億)

4月 輪島町立輪島小学校入学。

7月 上京。豊島区立大塚台小学校編入。

1958 (12歳)

2月4日 父·芳雄病没。

4月 豊島区立巣鴨第二中学校入学。

1961 (15歳)

4月 東京都立板橋高校入学。

1964 (18歳)

3月 同校卒業。漫画に専念し始める。

1965 (19歳)

4月 石森プロダクション・石森章太郎(当時)氏のアシスタントになる。3カ月でチーフアシスタントに。

1967 (22歳)

11月 石森プロ退社、独立。

1968 (23歳)

7月 "ハレンチ学園"連載開始により各方面で議論百出。このころ蛭田充がアシスタントとして参加。

1969 (24歳)

4月 豊島区南大塚にて有限会社ダイナミックプロダクション設立。社長に就任。この年、石川賢がダイナミックプロに入社。

1970 (25歳)

2月 株式会社ダイナミックプロダクション設立。

4月 永井豪ファンクラブ設立。初代会長・筒井康隆氏。

5月 日活映画"ハレンチ学園"公開。

10月 東京12チャンネル(当時) "ハレンチ学園" 放映(~71年3月)。

1971 (26歳)

1月 SF劇画と銘打たれる作品を次々発表。この頃ファンクラブの高千穂遙、団龍彦らとプロレス観戦に足繋く通うようになる。

1972 (27歳)

7月 NET(当時) "デビルマン" 放映。

12月 フジテレビ "マジンガーZ" 放映。

1973 (28歳)

7月 東映映画"マジンガーZ対デビルマン"公開。この頃からコミックのアニメ化が続々。

1974 (29歳)

3月 ダイナミックプロダクションを現在地・新宿区西早稲田に移す。

1975 (30億)

1月 "マジンガーZ"がスペインで放映。以降、アニメ作品が次々とヨーロッパで放映される。

1977 (32億) "ゴルドラック"(グレンダイザー)がフランスでオンエアされ、80%を越える視聴率と共に一大社会現象を起こす。

「バリ・マッチ」誌の表紙にも登場し、日本でもその狂乱ぶりが報道された。

1978 (33歳)

4月 小松左京、豊田有恒らとメキシコ旅行。この年、漫画界としては手塚治虫についで2人目のSF作家クラブ加入者となる。

1979 (34歳)

8月 "Xボンバー"の取材でNASA見学ツアーに出かける。

1980 (35億)

3月"凄ノ王"が第4回講談社漫画賞を受賞。ロサンゼルスで報せを受ける。

1982 (37歳)

9月26日 結婚。新婦は肥後純子さん。

1986 (41歳)

フランス・コルシカ島の映画祭・第2回ベデ・シネ・フェスティバルにフェデリコ・フェリーニらとともに招待される。

1987 (42歳)

2月 堂ヶ島温泉ホテルへ永井豪ファンクラブその他と旅行。デビュー20周年を記念して、高千穂遙、辻真先らも参加。 1988 (43歳)

2月 フランス、アポリアッツの国際ファンタジック映画祭に審査委員として招かれる。フランスに再び"ゴルドラック"旋風が吹き荒れる。 帰途、アンカレッジ上空でUFOをビデオカメラで収録。

8月 TBSテレビ"TV探偵団"出演。

1989 (44歳)

初の監督作品「永井豪のこわいZONE」発表。

1993 (48歳)

北陸放送「エネルギーぶらり旅」で初のテレビレポーターを勤める。

1996 (51歳)

日本SF作家クラブの会長に就任。

1997 (52歳)

漫画家生活30周年を迎える。

6月 日本SF作家クラブ主催の30周年記念パーティが東京ヒルトンにて行われる。 9月 銀座の文藝春秋画廊にて記念個展を開催。

一永井豪を読む―

HARUKA TAKACHIHO
GOSAKU OHTA
SHOICHI INOUE
SHO FUJITA
KENICHI YAMAOKA
YASUMI KOBAYASHI



比類なきロマンの大作

高千穂 遙 が読んだバイオレンスジャック

「ロマン」という言葉がある。

『バイオレンス ジャック』は、タイトルに「暴力」 という言葉があるためだろうか、その暴力描写ばかり が注目を集めることが多い。

しかし、それは間違っている。木を見て森を見ずの 類だ。作品を作品として考察していないことになる。

作品は、まず作品そのものが鑑賞されなくてはいけない。表現やキャラクターへのアプローチは、そのあとの話だ。

「バイオレンス ジャック」において表現として用いられている素材は、たしかに「暴力」である。だが、描かれているのは「ロマン」だ。あらゆる意味でのロマンが、この作品の中にはぴっしりと詰めこまれている。まずそれを見つめよう。

胸高鳴る大口マン。

これこそが「バイオレンス ジャック」に、もっ ともふさわしい謳い文句だ。

血と暴力に埋めつくされた物語が、なぜロマンたりえるのか。

それを知るには、人間とは何かを知らなくてはならない。

人間にはふたつの本質がある。

ひとつは本能に基づく「獣性」であり、もうひと つは脳髄の進化に伴って生じた「知性」である。後 者は人間のみ有することのできた資質なので、傲慢 にも「人間性」などとも呼ばれている。

このふたつの性質、どちらがより根元的かと問えば、 それは言うまでもなく前者の「獣性」のほうである。

すべての生命体は、他者を排除する。また、常に 自身が優先して生存することを求める。

この原則は、遺伝子が定めた。

遺伝子の最大の目的は、種の保存である。種の保 存のためにのみ遺伝子は存在しているといっても過 言ではない。

種の保存の要諦は、生と死の管理である。生命体をやみくもに生みだすだけでは、種の保存は成立しない。居住域が単一種であふれてしまったら、そのあとにくるのは大滅亡である。種を保存するためには新世代の登場とともに、前の世代はすみやかに消え去ってもらわなくてはならない。それがゆえに遺伝子は自身で自身を殺す。

もともと遺伝子というのは自己複製で世代をつないできた。いわゆる無性生殖というのがそれで、この方法によれば、次世代の個体と前世代の個体は厳密に同一生命体となる。したがって、前世代が死んでも自己は死なない。遺伝子レベルでは不死身を確保しているのである。

オスとメスによる有性生殖では、ここが異なってくる。次世代種はオスとメスの遺伝子を半分ずつ受け継いでいて、自己複製にはなっていない。だが、種の保存という意味では、それはいっさい問題にならない。

逆に、より強い種を確保できる可能性が高くなる。

整理してみよう。

種の保存に必要なプロセスだ。

まず増殖である。そもそも増えてくれなければ話にならないのだ。つぎに古い世代の死が欠かせない。そして、他者を排除する。そのために常に強い個体を選び、それを残していく。

これらの要素が鮮やかに調和したとき、熾烈な闘争がはじまる。そして、種は爆発的にその勢力を拡大する。

本能とは、遺伝子の意思だ。遺伝子の意思は闘争を 種の裡にもたらす。誰と闘うのか。言うまでもない。 「この世のすべて」とだ。

最初の敵は、自身のまわりにいる同種である。かれらは存在することだけで生存圏を狭くし、食糧を奪う。 排除しなくてはいけない。遺伝子は、それを許さない。

そこで、個体は闘う。結果として、強い者が残る。 何羽も生まれた離鳥が、餌の取り合いを経て数を減ら していくという光景をテレビなどで見たことはないだ ろうか。あれが、このケースにあてはまる。

つぎに個体はあらたな敵に出会う。それは異種(も しくは同種異部族)の生命体だ。バクテリア、寄生虫 といった例外を除けば、ひとつの空間に生存できる個 体は、常にひとつきり。ある個体が自分の場所を得る ためには、他の個体をそこから追いださなくてはいけ ない。これをテリトリーの確保という。

テリトリーの確保には、暴力が用いられる。圧倒的な暴力のみが、この問題を解決に導く。暴力は必然であり、それを回避する手段はどこにもない。遺伝子がそれを望んでいる。

ところが、ある日、とんでもない例外種が出現した。 人類である。

人類は地球 46 億年の歴史の中で、はじめて知性を持った生物である。知性は思考を生み、倫理をつくった。倫理とは、つまり秩序の源である。これにより、人類はかつてないほどの単一種の繁栄を手中におさめた。知性は人間にしかないから、「人間性」と呼び変えることができる。すると、それに対応する言葉として、遺伝子の命ずるがままに動く性質を「獣性」と呼ぶことが可能になる。

かくして、ここに摩訶不思議な生物が誕生した。

種は本来、その保存のみを願う。そう遺伝子が定めた。にもかかわらず、それに逆らう性質を人類は得てしまった。

曰く。暴力はいけない。貞節を守ろう。弱い種を保 護する。

遺伝子が目を剥いてひっくり返るような言動だ。本 来の性質である獣性を深奥に封じこめ、知性で遺伝子 の使命を制圧してしまった。

しかし、これは生物の自然な姿ではない。歪んだ、 不自然な姿である。 永井豪は、種としての人間のあるべきさまを堂々と描いた。それが、この「バイオレンス ジャック」である。人間とは、こういう生物だったのだ。繁栄とは、生きていくとは、要するにこういうことだったのだ。それを永井豪はストレートに描き、われわれの眼前に叩きつけた。だからこそ、この作品はロマンになる。知性による欺瞞の呪縛から解き放たれた人びとが本能のままに激しく蠢き、割拠するこの作品は、まぎれもない人類のロマンだ。絶対にそれ以外のものではない。

最後にセックスに触れておこう。

セックスもまたロマンを彩る重要な因子である。

運命のいたずらに感謝したい。「バイオレンス ジャック」は掲載誌がつぎつぎと変わり、最終的には青年誌に至った。これにより、正しい性描写が許されるようになった。もしも、少年誌連載のままだったら、この作品はこれほどの高みに到達することはできなかっただろう。

遺伝子の意思からセックスを切り離すことは、誰に もできない。より強い種を保存させるために無性生殖 から有性生殖へと移行したとき、セックスは生まれた。 セックスは暴力(及び、それに伴う死)とともに種の 保存を支えている。

人間の場合、そのセックスに知性がからんだ。 知性にくるまれたセックス。それは「愛」だ。

愛は常にセックスを伴う。それを証明するためには 一枚の絵があるだけでいい。後背位でつながったまま 荷車に縛りつけられ、ひとつになってスラムキングの もとへと運ばれていく飛鳥了と美樹の姿である。これ こそが獣性と知性との融合であり、人間だけがたどり つくことのできた「愛」による「種の保存」の具現化だ。 生と死。愛と暴力。神と悪魔。天使と野獣。

人類を人類たらしめているすべての要素が複雑に絡 み合い、ひとつの壮大な物語を紡ぎだしている。

わたしはこれ以上の大河ロマンを、他に知らない。 人類を本来の意味で描ききるには、これほどの時間と パワーと阿鼻叫喚が必要だったのだ。

ただひたすらに感動するのみである。

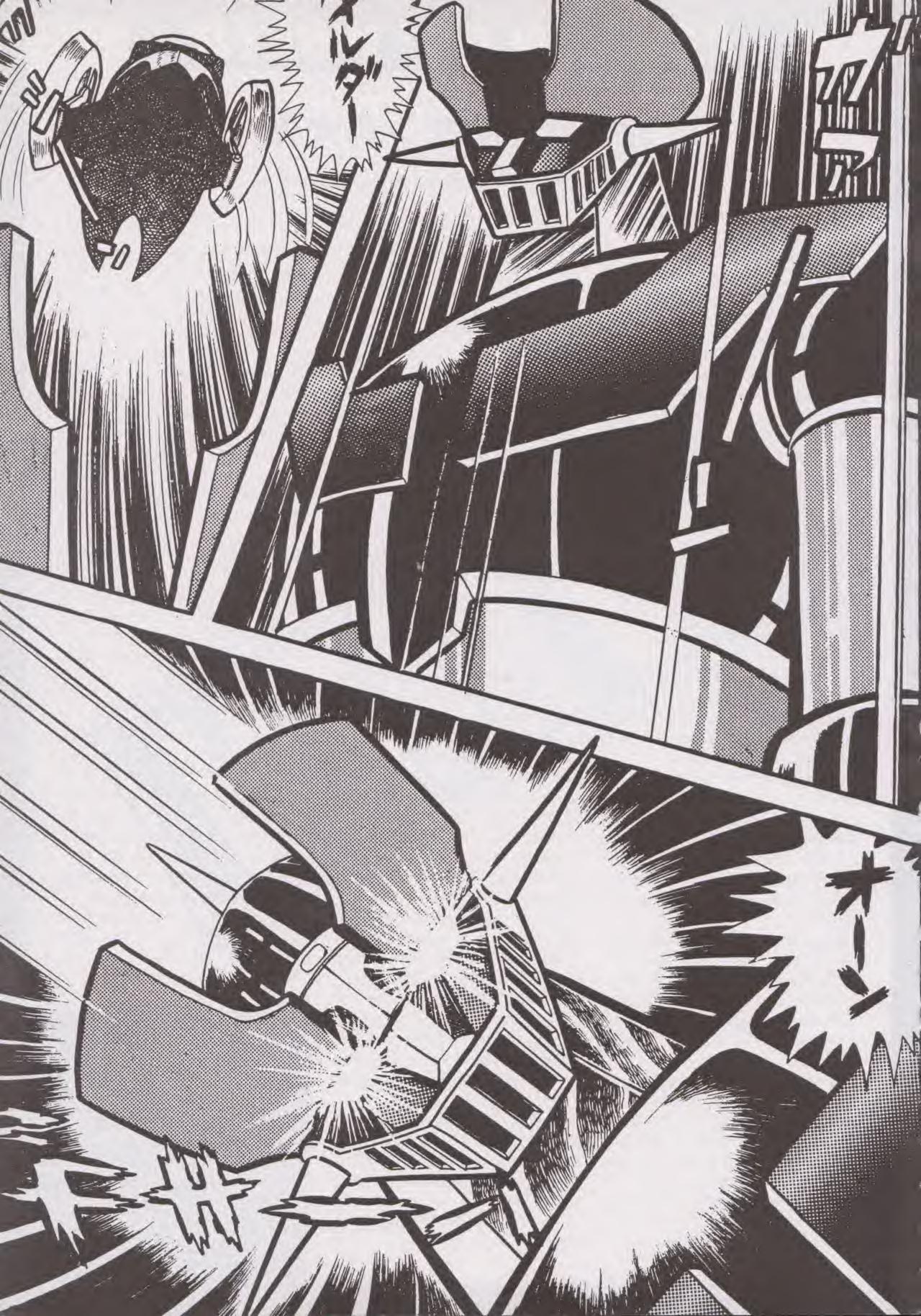
豪チャンが語るバイオレンスジャック

『デビルマン』という巨大な作品を書いた後だったので、それ以上 のスケールを持つものにしたかった。

それには「歴史の流れ」を感じさせるものが良いと思い、人間の攻 防の歴史を凝縮したような戦国時代を、現代に置き換えて作れない かと考えた。

そのためには一度、現代文明を破壊する必要があり、関東地方を大地震で破滅させることにした。

ジャックとは、歴史を動かしていく巨大エネルギーの象徴である。 現代の無法地帯で、ジャックという巨人と関わりながら攻防を繰り 返し、無秩序から秩序を構築していく人間たちの姿を描きたかった。



マジーンッ豪!!

桜 多 吾 作 が読んだマジンガーZ (!?)



豪ちゃん、マンガ家生活30周年おめでとう。

一口に30周年なんていうけど、すごいことだよな あ。おいらなんで何度もマンガなんかやめちゃおうか な…なんで時があったもんな。

豪ちゃんに初めて会ったのは32年前、師匠の石ノ 森章太郎親分の部屋。まだ新宿区牛込のアパートに2 部屋を借り、ひとつを仕事場としていた、春もまもな い頃だった。

32年も前となると記憶もだいぶあやふやで、自分に都合よく歪曲しているものだが、上京してデザイン学校に入ったら、まず石ノ森親分を尋ねるのが第一目標・一大事だったため、その時のことだけはもう一人いた女性アシスタント(片桐さん・・・・たったっけ?)の顔とともに、はっきりと覚えている。

本人は「あの頃はとってもやせてスマートだった」 というだろうが、明るいコロコロとした、後の"冷奴 先生"のキャラそのままの豪ちゃんが、座り机に向か って学研のコースの原稿を描いていた。

半分ドギマギしながらも、実は自信満々で描いたおいらの原稿を見てくれた。「すごい、大天才!!」とでもいってくれるかと思ったっら、ただ無言。気まずい沈黙に耐えられなくなった頃、「もっともっとたくさん描くしかないよ」と、ポツリ。あとはニコニコしながら楽しそうに仕事へと向かっていた。

親分が桜台へ移ってからも、時間を作ってはちょこちょこ遊びにいった。「佐武と市」のベタを「ぬっていいよ」と、いわれた時は、もう親分のアシスタントにでもなったような、天にも昇る最高の気分。手が震え、ベタははみ出し、仕上げの仕上げが必要だったことだろう。当然ながら、今じゃ自分の原稿のベタをぬっていても面白くも何ともない。「終わったら一杯飲める」くらいの思いしかない。ベタをぬるだけであんなにワクワクと心はずむあの頃へ、戻れるものなら戻ってみたい。

翌年夏、インチキみたいなデザイン学校を1年でやめて美術研究所へ通ったものの、毎日がつまらなく、やはりマンガでも描いてみようと親分宅へおしかけた時

「こんな下手なの入れちゃダメ!!」と、 一番強く反対したのは豪ちゃんだったが、「入れてくれるっていうまで帰んない!!」と、いきまいたオイラに閉口したのか、当の石ノ森親分はあっさりとアシスタント入門を許してくれたっけ。 有頂天で入ったものの、プロとアマは天と地ほどの 違いがあった。さんざ苦労しても描けないバックを横 あいから取上げ、いとも簡単にメリハリをつけて描か れたのには、ただただポーゼン自失。

その頃の豪ちゃんは、おいらが入門したのと入れ違いにフリーとなっていったが、その直前まで通いのチーフアシスタントと、生活のためのバイト、それに自分の作品まで描いて、いったいいつ寝てたんだろう。

入門には一番反対した豪ちゃんだったから、さんざんいじめられるだろう……と覚悟していたのだが案外に優しく、夜食の足しに、とゴッソリと缶詰を差し入れてくれたり。人を使うのも上手で「うまいうまい」とおだてられ、なんと!! 入って3日目には4色の色原稿(トッポジージョの表紙)なんかもやらされた。

それから1年と8ヵ月、とにかく月産400~600 もの枚数を3人のアシスタントでこなしていたせいか、どうにか格好もついて、金のたくわえもないままに親分のところをやめたおいらに『馬子っこ金太』などを連載していた豪ちゃんは手伝え……ともいわず「晩めしでも食って、のんびりしていけば」の言葉。ついつい甘えて半居候。毎晩のように豪ちゃんの兄、(のちの)泰字さんや謙次さんに、入れ替わり立ち変わり呑みに連れていかれるままに遊びまわり、遊び人吾作の今日の土台ができていった。

その頃、ある劇画家から石ノ森親分のところの8倍の給料を払うから専属アシスタントにならないか……と誘われた。悩んだあげく豪ちゃんに相談したところ「アシスタントになりたくて上京したのか! マンガ家になりたくて上京したのか! どっちなんだ!!」と、こっぴどく怒られた。それで進路が決まったのかもしれない。もうひとつ、ひどく怒られたのが、「キッカイくん」だったかな? の色を、遊びたい一心で手抜きをした時。あの冷奴先生のような顔が真っ赤になり、爆発せんばかりに怒られ、やり直させられた。

何年かあと、「今度デビルマンでのやるんだけど企 画から参加してくれない?」と誘われ、じゃあ忙しく ならないうちに、と1週間くらいの予定でフラリと四

> 国へヒッチハイクで旅行に出かけた。 景色はいいし、酒はうまいし…でつい つい長居。2週間も過ぎた頃、現地か ら電話を入れたら「行方不明だから蛭 ちゃん(蛭田充)にお願いしたよ。お 前の仕事なんかないよ」と怒られ、帰

りづらく1ヵ月の四国一 周旅行をしてしまった。 帰ってきてからは、2ヵ 月に1本くらいのベース で別冊ジャンプなどに描 いていた。そこへ『マジ



ンガー」の話がもち上がった。テレビの機械獣のアイディアをだすほかに、別冊ジャンプでテレビに添った形のマンガを連載することになった。最初の頃はなるべくテレビの進行にしたがって描いていたが、だんだん脱線しはじめ、連載が別ジャンから「冒険王」へ移る頃にはハチャメチャになっていった。さらに敵キャラだけおさえ、好き勝手に描いていたのが「グレートマジンガー」で、その勢いで"UFOロボ"の頃には、キャラは使っているものの基本設定までがかわっていた。豪ちゃんも、時の編集者も太っ腹、今ならとても許してもらえないだろう。

時間が過ぎれば苦しいことはみ~んな忘れる脳天気 なおいらだが、マジンガーを描いている最中に盲腸に なり、オエー、オエーとやりながらもチラして、アッ プしたとたんに入院なんでのもあったっけ。アシスタ ント連中はたまらなかったろう。

作品解説を、という依頼であったが、なにか思い出話になってしまった。導入部だけで、紙枚が尽きてしまいそうなので、40 周年記念、50 周年記念の出版物で続きを書きたいと思う。その時でも、読者の心のマジンガーとは錆びついてはいないはずだから。超合金とでできてるしね、マジンガーは。ってそういうことじゃないか。

怒られてば~かしのダメ吾作より

豪チャンが語るマジンガース

鉄腕アトム。や 鉄人28号 を見ながら育った僕は、いつ か自分もロボットものを書きたいと思い続けていた。

しかし、これまでに全く無い新しいタイプのロボットを思い 付くまでは絶対に書かないと心に決めていた。

ある日のこと、交通渋滞の車の波を見ていて、ふと「前の車 を跨いでいけるロボットがあったらいいナ〜」と思い、すぐ に会社に帰って、人間が乗り込み操縦する形の「人間操縦型 ロボット」をスケッチした。

こうしてマジンガースが誕生し、世界的規模で爆発的なロボット・ブームを引き起こす火付け役となったのだった。



永井豪の美少女たち

井上 章一 が読んだ美少女キャラクター

(国際日本文化研究センター所長)

強い少女、戦闘をする少女のマンガを、最近はよく 見かける。

ちょっとエッチな戦闘服の少女が、剣をもって男たちをなぎたおす。セックス・アピールをあらわした彼女らの武闘場面は、現代マンガの常道になっている。とくに、SFファンタジー・コミックでは、すっかりおなじみの展開だ。

ルーツをたどれば、永井豪へゆきつくと思う。「キューティーハニー」、あるいは、「けっこう仮面」がパイオニアだったのではないか。

もちろん、それ以前から、戦う女のマンガはあった。 たとえば、「サイボーグ009(ゼロゼロナイン)」 (石森章太郎)の003(ゼロゼロスリー)=フラン ソワーズ・アルヌール。彼女も、性的な魅力があり、 かつ格闘シーンをこなしていた。

だが、こと戦闘に関するかぎり、彼女が主役であったとはいいがたい。闘っていたのは、圧倒的に、009(ゼロセロナイン)=島村ジョーをはじめとする男性サイボーグたちである。フランソワーズは、ややそえもの的な役割を与えられていた。

彼女ひとりに限らない。女戦士は、男たちの戦陣へ、 色どりをそえる程度に描かれることが、多かった。ひ とりの女が、群をぬくファイターとして描写されるこ とは、なかったのである。

「リボンの騎士』(手塚治虫)のサファイアを、先例に思いつく人もいよう。だが、彼女は男のふりをして、闘っていたのである。すなわち、サファイア王子として。サファイア姫が、剣をふりかざしていたわけでは、けっしてない。

この点で、ハニーやけっこうのお姉さまが出現したのは、画期的であった。彼女たちは、ソロ・ファイターであり、しかも明白な女だったのである。女が闘う場の主役へおどりでる、そのさきがけをなしていた。いってみれば、男の領域であった戦闘場面へ、進出をとげたパイオニアだったのである。意外や、永井豪のキャラが、フェニミズム的実践の先陣をなしていた…。

のみならず、ハニーの場合は、ひとりの女子プロレスラーさえ派生させている。いうまでもない。JWPのキューティー鈴木がそうである。何という先見性。セクシー・バンサーを自称していたミミ萩原も、パンサー・クローからとったのか?

残念ながら、「けっこう仮面」を手本にしたレスラーは、まだ出現していない。おっぴろげジャンプを必 殺技にする覆面レスラー…。うーん、こればかりは、 ちょっとありえないだろうな。

キャラクターの描き分けは、むずかしい。とくに、 二枚目=美形キャラは、どんなマンガ家でも苦労する だろう。あの巨匠手塚治虫だって、美人の描写には、 キツネ顔とタヌキ顔の二通りぐらいしかなかったと思 う。あとは、髪型やアクセサリーなどで、おぎなったりするわけだ。

じっさい、ひとつのコマに複数の美人を登場させる なんていうのは、かなりつらいと思う。まあ、マンガ 家にしてみれば、腕の見せどころであろうか。

永井豪も、この点では、そうとう頭を悩ませている と思う。たとえば、「ハレンチ学園」の十兵衛と、「あ ばしり一家」の菊の助。違うマンガなんだから、同じ キャラを流用してもいいのに、永井はそうしない。き ちんと、描き分けている。

丸顔の菊ちゃんに、うりざねの十兵衛。ヤクザの娘とい う役柄のせいか、菊の助は、目が少々つりあがっている。

ハニーにいたっては、七変化などという設定さえ、 もうけていた。同じ少女に、少しずつアクセントをつ けて、七とおりの美形を出現させている。ちょっとし た離れ技だ。

けっこう仮面が顔をかくした秘密のひとつは、ここにあるかもしれない。なんといっても、美形キャラが山ほどでてくるマンガである。これに加えて、ヒロインのけっこうも描き分けなければならない。ええい、めんどうだ。いっそのこと、覆面を被せてしまえ……。すいません、永井先生。勝手な想像でした。そんな

おもしろいのは、ブオトコ、ブスのキャラクターである。「ハレンチ学園」でも『けっこう仮面』でも、 多彩なブオトコ教師に出演させている。「キューティーハニー」では、ブスの女教師。うーん、ながめてみると、学校の先生に醜形が多いんだな。

わけないですよね。

それはともかく、ブス、ブオトコの描き分けは、す ごい。十人十色というが、ほんとうにブス十色。一色 にそまりがちな美形とは、ぜんぜん違う。とにかく。 永井マンガでは、さまざまなタイプの醜形キャラが、 活躍する。けっこう、その描き分けを楽しんでもおら れるようだが、どうだろう。

美形を弁別する手間のうさが、ブスの乱発で、はらされるのかもしれない。美人描写に苦心されたその反動が、醜形のたたき売りとなって、あらわれたのではないか。ほーら、ブスもういっちょう、よーし、ブオトコも、おまけにもうひとつ……。

うーん、これも、私の邪推を永井先生にあやまらな くちゃあ、いけないのかな。

マンガに、女のボディ・ラインが描かれることは、 永井豪以前からあった。たとえば、スポーツもの。あ るいは、バレリーナもの。スポーツ・ウェアやバレ エ・コスチュームだと、どうしても、体の線がでる。 その線を、色っぽく描写したマンガ家が、いなかった わけではない。たとえば、『サインはV!』の望月あ きらも、それをひそかに楽しんでいたと思う。

しかし、登場人物が、そのボディ・ラインを恥じら

うことはなかったろう。ヒロインたちは、たとえ自分が女体の曲線美を発揮していても、無自覚にふるまっていたのである。

はずかしい告白をする。私はウランちゃん(「鉄腕アトム」)のパンツに、けっこうときめいたことがある。しかし、ウランちゃん自身は、すこしも自分のパンチラを恥ずかしがっていない。じつに、あっけらかんと見せている。それにドキドキする私のほうが、なにか罪ぶかいように思わされたものだ。

作者の手塚治虫は、意図していたかもしれない。ア トムはパンツいっちょうで年中裸なのに、ウランちゃ んはいつも洋服を身につけている。それは、パンチラ の効果を、作者がどこかで戦略的に狙っていたからで はないか。

いずれにせよ、作中のウランちゃんは、それに無頓 着。まあ、幼かったということだろう。

この点でも、永井美少女キャラは、画期的であった。 彼女たちは、見られることの恥ずかしさを、じゅうぶ ん意識している。そして、だからこそ、見せることの 力も知り尽くしていた。性的挑発と羞恥の両方を、と もにわきまえながら、ふるまっていたのである。顔を かくして全裸になるけっこう仮面は、そのゆきつく先 であったといってよい。

高校時代の永井青年は、体操部員であったという。 もちろん、レオタード姿の女子部員も、すぐそばでな がめていた。活発に動きまわるヒロイン像のイメージ は、そこで培われたのかもしれない。おっぴろげジャ ンプのルーツも、体操の開脚とびあたりではなかった か。見る/見られることの葛藤も、そこで学習された のかもしれない。

かつての同窓女子体操部員が、永井豪を読んだ時、何を思うのだろう。

「やーね、永井ケンったら、こんなふうにあたしたちを見ていたの」。

昔から永井青年の視線を知っていたはずの彼女ら も、今はじめて知ったふりをするのだろうか。

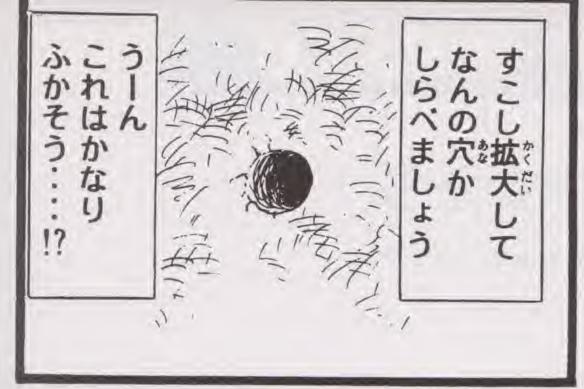
豪チャンが語るけっこう仮面

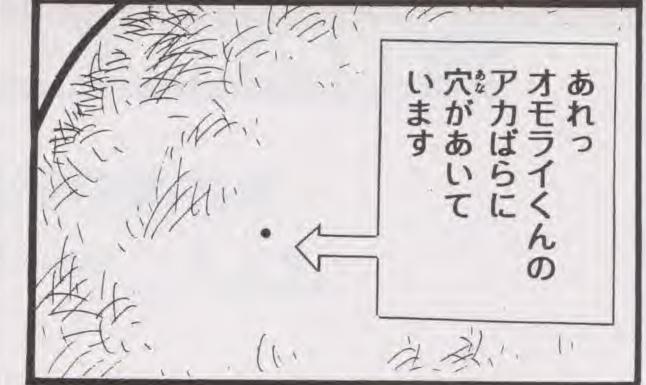
まぁ、月光仮面 ハロディーではあるが、まさに恥ずかしいはずの「体」を隠さずに、隠さなくっても良い「顔」を隠すとどうなるかという「逆転の発想」から始まり、人間の羞恥心というものをあざ笑うものを書きたかった。

本当は、一話完結の読み切りの約束だったのだが、人気が良かったので連載になり、ドンドン長引いていった。

まさか後で実写ビデオまで作られることになるとは、当時思いもよらなかった。

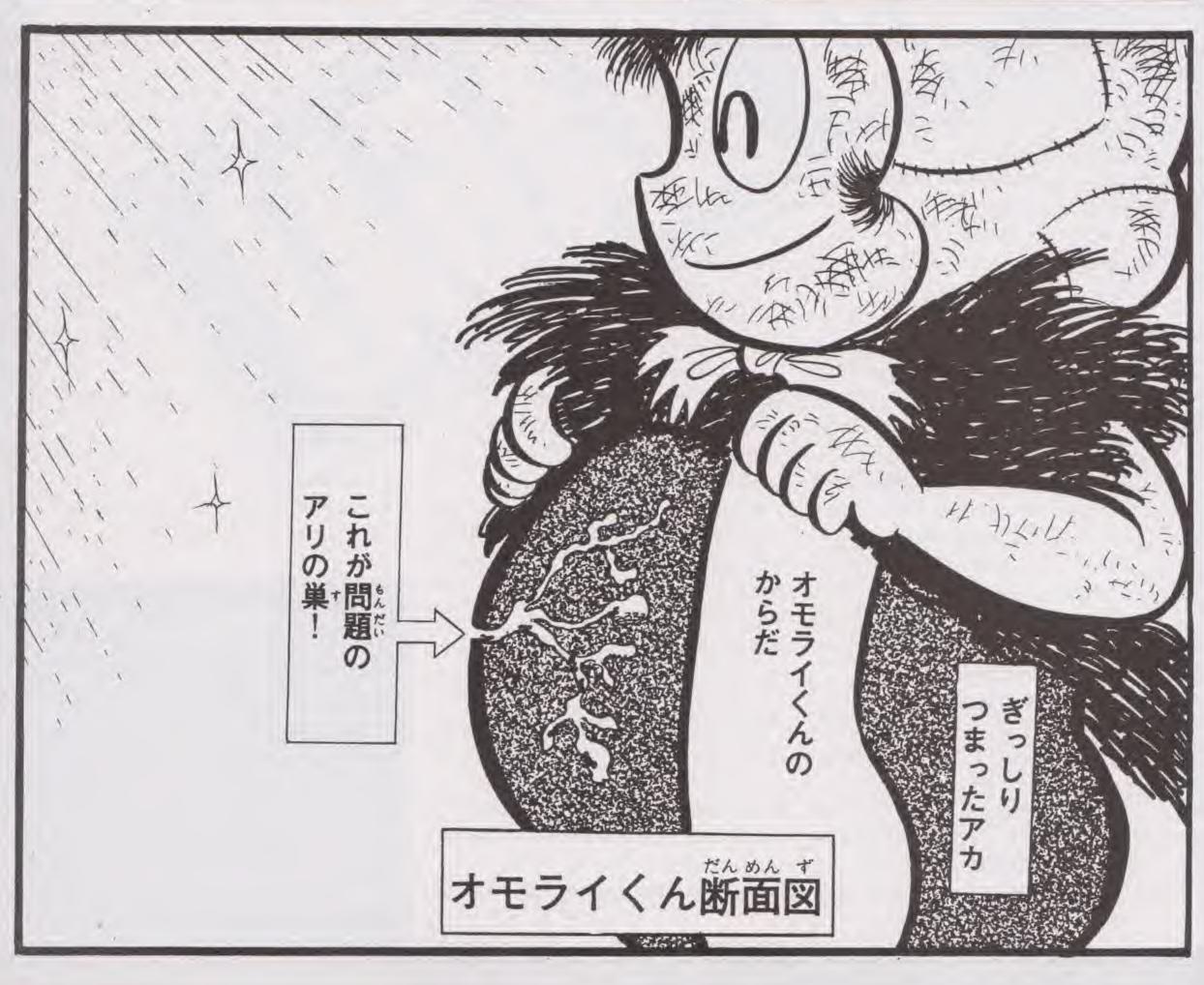
「ひょうたんから駒」「青天の霹靂」とはまさに、この「けっ こう仮面」のことであろうと思う。











悪くておかしい笑宇宙

藤田 尚&中田 雅喜 が読んだギャグ

(マンガ評論家)

(マンガ家

ずいぶん前に読んで、笑って、う~むと唸って、忘れられなくなってしまった(たぶんアメリカの)小咄があります。

先生「悪いこととは何ですか?」

生徒「はい、やってみておもしろかったら、それは悪いことです」

あれやこれや思い浮かべてみると、なるほど、ほとん どその通り。実に見事な定義(?)といえるでしょう。 そこで、永井豪のギャクマンガはおもしろい!ーーといったら、まるで永井マンガには悪いことが描かれている かのようですが、もちろん悪いことだらけです(笑)。

デヒュー5作目にして、あの赤塚不二夫先生に呼び出されて怒られたというマンガ界の問題児は、それが逆効果だったのか、確信犯となってさらに過激さをエスカレートさせていったのでした(笑)。

ただ実際は、悪いことがこれでもかとばかりに描かれ てありさえすればおもしろいかというと、決してそんな ことはなく、あーおもしろかったといえるマンガには、 読後の爽やかさ、後味のよさが不可欠なのです。

永井ギャグの後味が爽やかなのは、作品自体が明るいからであって、その明るさは三種類のあかるさのブレンドによるものだと思われます。

ひとつめのは、SF的な明るさ。

もともとSFが好きだったという作者の資質に、師事 した石森(当時)章太郎先生の、やはりSF的なモダン さが加わったおかげか。

ふたつめの明るさは、パロディの明るさ。

個人的にもっとも印象に残っているのが「豪ちゃんの ふぁんたじいーわらうど バン』(「COM」68年4月号) でした。これは、手塚治虫の『火の鳥』などとともに 「COM」に載って話題になっていた石森章太郎の青春 実験コミックポエム(・・・とでもいいますか?)「章太郎 のファンタジィワールド ジュン」の、まるっきりのパロ ディ。地平線に大きくかかった月をバックに、かわい子 ちゃんを追いかけていた主人公はそのまま月に激突・・・ しょんぼり座っている主人公の上空に昇っていった月の 表面に、ちゃんと人型の跡が残っているコマなど、ギャ グとファンタジィの両方が感じられ、「COM」に載っ たとき作者が書いた弁解(?)の「じつは"ジュン"のパ ロディからはいり、ファンタジック・ギャグマンガとい う新分野を開拓しようというこころみなのでありますで す」も、けしてその場かぎりのジョークとばかり言えな いような魅力がありました。

ぼくが初めて(しかもリアル・タイムで)読んだ永井マンガが、この「バン」で、当時、パロディの楽しさと妙な何かが心に残って、何度も何度も読み返したことを覚えています。「ジュン」の表現している、ちょっと恥ずかしくもあるボエジーを、パロディでぶち壊しているわけですが(ヒロインも、ラストで「ばか ばか ギャグマンガの主人公はすぐムードをこわすんだもん きらい」と怒

ってます)実は、永井さん自身にも少年的なテレのかげにポエムな心はしっかりあって、それがのちのシリアスな作品群、特に『デビルマン』の感動として開花したように思います。パロディのほうは、のちに「けっこう仮面」というタイヘンな作品で開花、もとい開脚したことは、ご存知の通りです(笑)。

みっつめの明るさは、ヒロインの明るさ。

かわいくてイロっぽいヒロインは、実はけっこう主人公より強くてたくましく、はじらいながらもどんどん裸になって、助けられたらお礼にキスして、いっしょについて来てくれたりするハッピーエンド。子供にとってもホントは重大問題、モテるかどうかには触れずに、笑いのための笑いだったギャグが多かったなかで、ハッキリ、主人公が戦いに勝ったら、かわい子ちゃんをゲットできる―― 外国映画を見るような永井ギャグのセクシーな明るさは、何よりの快感なのでした。しかも、主人公はスケベなくせに、いざ女のコのほうから迫られると真っ赤になってしまう純情なヤツだったりするところも、男の子の読者の共感を呼んだのでした。

テレ屋でオクテなヒーローと、そのスケベな心をわかってくれて積極的なセクシー・ヒロイン -- これは (いつだって) 少年の夢でしょう。性的なことが悪いことだと思われていた時代 (今も?) だったので、しょうがなく寝たふりをしていた子供たち (男の子だけでなく女の子も!) にあっけらかんとエッチの楽しさを教えてくれた永井マンガ。"豪マニズム"というより、自然体の"豪イング・マイ・ウエイ"の世界なのでした。

しかし、こーゆー、明るくエッチでバイオレンスなギャ グマンガが読みたかったんだよー・・・と、永井マンガに高 いシンクロ率を示していたぼくが、読み続けることがで きなかった作品が、ただひとつ―― それは、究極のフケ ツと至高のフケツをきわめてしまった「オモライくん」!!

おもしろくても、ついて行けない悪いこともあるんで すねェ。これに関しては、ぼくと同世代で、「オモライ くん」をバイブルにしている女性漫画家の中田雅喜さん に、バトン・タッチいたしましょう。

○「オモライくん」のころ

まだ「コジキ」が放送禁止用語ではなかった時代---。 コジキが「浮浪者」でなく、寒山拾得の頃から続く「乞 食」という神聖な職業であった頃の物語だ。

舞台は、その名も清潔学園というごく一般的な小学校。 そこにごく当たり前にコジキスタイルの小学生、オモライくんが存在している。その不潔さはもはや凶器で、顔を拭くと蒸しタオルは一瞬にして真っ黒。帽子をとればフケの濃霧。廊下まで悪臭。机の代わりにゴザ(死語!)を敷いて教室に座っている。もちろん教科書もノートも持っていない。音楽の授業に笛が買えなくて、自分の身体に何重層にもへばりついた垢を削り取って(一見太って見えるオモライくんの身体も顔もすべて垢の層!)、それを口の中に入れ唾で柔らかくして粘土細工のように こねあげ、垢コネ笛をつくってしまう(ハアハア・・・)。

こうやって思い出し出し書いているだけでも気持ち悪いのに、その笛をまた、音楽の教師がとりまちがえたりして・・・。まちがえで吹いているうちに教師の唾で笛がガムのように粘ってきて・・・。オチは当然「教師発狂」だったりする。

私はこの作品をリアルタイムで読んだ。クラスメートの家で。私の少女時代はまだ街角にコジキはいたし、一般の人々も貧しかった。その「少年マガジン」を買ってたクラスメートも、長屋に住んでいた。私の家は一般的な公務員で、うちの二階から裏の長屋の共同生活が良く見えた。物干しもトイレも井戸(+)も共同。風呂はなし、六畳一間の沈んだ畳に親子5人が寝起きしている家族も多かった。

みんな泣くのも笑うのも大声で元気いっぱいだった。 かと思うと、ぐるりと一町内分白い壁に囲まれた噴水付 の豪邸……の娘も、しっかりおんなじクラスにいたりし た。もしオモライくんのような子がクラスにいても、た ぶんそれほど不思議ではなかったろう。そういう少女時 代をおくったから、だから、「オモライくん」に共感で きた。私の家も当然貧乏だったから、長屋の友人と「オ モライくん」を読んで笑った笑った。大声で笑いあった。

さて、5年ほど前、本屋でJICC出版局から出た「オモライくん」を見つけ、懐かしさのあまり飛びついて買ってしまった。うちの7才の娘に「おもしろいから読んでごらん」と読まそうとしたが、「よくわからない」と突き返された。そして「アカってなに?」と聞かれて、あぜ〜んとした。別に私が潔癖症なわけではない(潔癖症のマンガ家がいるはずもないが)。ただ、娘は赤ん坊の頃から保育園育ちで、汗をかいたら着替え、汚れたら着替え、毎日入浴の習慣がついている。

これでは垢など知ろうはずもない。こいつ! 垢って もんが解るまで、サバイバルキャンプにたたき込んでや る! 土の上で寝起きしてこい!

そのためにはキャンプ費用ン万円が・・・

お金を払わねば垢も体験できない…そんな時代になった。 私は「オモライくん」が好きだ。

豪チャンが語るオモライくん

今や、禁止用語になってしまったコ○キの世界、コ○キのキャラクターが、実は人間社会の中で一番気楽で純粋で人間的なんじゃないかと思い、主人公にした。

オモライくんたちが幸せなら幸せな程、普通の人間たちがちっ ほけでつまらない存在に思えてくるんじゃないか、またその両 者のギャップが笑いを生むんじゃないかと考えた。

体は汚くても、心は最高に美しいオモライくんは天使であり、汚いことを汚いと思わないことは、逆にスーパー! だと思うのだ。 デビルマン をやるために、残念ながら途中でやめてしまった 作品の一つである。



『手天童子』研究序説

一または永井豪作品における「鬼」の研究―

山岡 謙一 が読んだ手天童子

(永井豪ファンクラブ代表)

○はじめに

手天童子」について書くようにとの編集部からの ご下命である。気安く引き受けたものの、よく考 えてみたら「手天童子」について語るには「鬼」 の問題を避けては通れない。永井豪作品にとって 「鬼」とは何なのか? 与えられた紙幅で、それを どこまで解明できるが、はなはだ心許ない。しかし、 せめてそのアウトラインくらいは明らかにして、 今後の研究の方向性を探るくらいのことはやって みたいと思う。乞うご期待!

○「鬼」に関する作品の系譜

永井豪作品には「鬼」が出てくるものが多い。 そう気づいたのは、昭和50年、秋田書店発行の少 女向け月刊誌「ブリンセス」2月号に発表された 手天童子』を読んだ時のことだった。

まず、ギャグ漫画家としてデビュー後、3年目に して初めて描いた劇画作品が、そのものズバリの 「鬼」(ただし作品のテーマとしては後の「真夜中 の戦士」につながる)だった。「週刊少年マガジン」 昭和45年1月1日号に掲載された作品である。

また、「週刊少年サンデー」昭和46年7月4日 号から同年12月26日号まで連載された『ズバ蛮』 には百鬼一族が登場する。さらに、石川賢氏との 合作でアニメ化された「ゲッターロボG」では敵 役に百鬼帝国が設定されていた。

「プリンセス」版『手天童子』に遅れること約1 年半、「週刊少年マガジン」昭和51年9月5日号か ら、「手天童子」が、構想も新たに連載開始された。

その後にも、「夜に来た鬼」(昭和53年「月刊少年 マガジン | 5月号掲載) や、海外向けに描いた「鬼」 (昭和58年「EPIC」掲載)といった作品もあるが、 質量ともに、「週刊少年マガジン」版「手天童子」 が、「鬼」を描いた最高峰といっていいだろう。

なお「プリンセス」版の『手天童子』は単行本 収録時点で「邪神戦記」と改題されているので、 この後「手天童子」と書けば、すべて「週刊少年 マガジン」版の『手天童子』を指すものとする。

○『手天童子』のマルチ展開について

連載終了後19年の間に、「手天童子」は、新書版、 スペシャル版、愛蔵版 (ハードカバー)、文庫版と、 4回にわたって単行本化されたほか、小説化されたり、 ゲームブックが作られたり、OVA化もされている。

また、「手天童子」というネーミングの元となった

という番組の「酒吞童子は三度死ぬ」の回に、永井 豪氏は出演され、「酒香童子」や「鬼」に関して、 それまでに調べたことをまとめて発表された。

それがきっかけとなり、「小説中公」創刊号から、 その後の研究成果を盛り込んだ「闇の宴」を連載 することになる。

さて、「手天童子」に関する周辺のデータはこれ までとし、いよいよ「鬼」との関係に話を移すこ とにしよう。

○「鬼」がたたる話

「週刊少年マガジン」に「手天童子」を運載し た時のエピソードとして、作者が「鬼」にたたら れたというものがある。

それについては、永井豪氏自らが「鬼の首風雲録」 (昭和52年「面白半分」7月号から翌年1月号まで連 載されたエッセイ)に書いておられるので、詳しい ことはそちらを参照していただけると幸いである。

この"たたり"は相当根が深いらしく、それま で病気らしい病気をしたことがなかった永井豪氏 は、最初の劇画作品の「鬼」を描き上げた直後に、 高熱を出して寝込んでしまったという。永井豪氏 にとっては、まさに「鬼の霍乱」だといえる。

飛騨高山の念興寺に「鬼の頭蓋骨」の取材に行 った時の話は、特に恐ろしい。実は、私はこの時 の写真という物を見せてもらっているのだ。その 写真は、結局、入谷の鬼子母神でお祓いを受け、 焼かれてしまったようだ。

その後、「手天童子」がOVA化された時に、付 録として鬼子母神のお守りがつけられたのは、そ のためなのである。

また、「週刊漫画ゴラク」に「バイオレンスジャ ック」を連載している時のこと。この作品は、ご 承知のように、他の自分の作品の主人公や主要キ ャラクターたちを次々とゲスト出演させることが 趣向のひとつになっている。そこで「手天童子編」 を描こうとして、描き始めたとたんに、またもや "たたり"が始まったため、急遽「骨法編」に切り 替え、事なきをを得たという話しもある。そのた めか、「アイアンカイザー編」では「鬼」は無関係 (どちらかというと『ススムちゃん大ショック』の 系列だと思われる)のようだ。

永井豪氏は、UFOを目撃したり、幽霊を見たり、

「酒吞童子」との関係から、NHKの「歴史発見」 鬼にたたられたりと、さまざまな体験をされている と聞く。不幸にして、そういった経験皆無の私とし ては何も言う資格はない (あえて体験したいとも思 わない)が、現代科学では割り切れない何かが実在 することだけは確かだという気はする。

○おしまいに

「手天童子」の連載が最終回を迎えた時、ファ ンの間でちょっとした騒ぎが起きた。この作品が、 永井豪作品としては珍しく、きれいにまとまった からだ。牙の原での死闘から宇宙へ、未来へ、さ らにはタイムマシン(ここは「鬼」と同じ)で平 安時代へ跳び、最後は「鬼獄界」という1つの世 界を破壊する大クライマックスに至るまで息もつ かせぬ展開。それがジグソーパズルの各ピースが 収まるべきところに収まるようにきれいにまとま っていき、しかも最終ページはホームドラマを思 わせるハッピーエンドではないか!(アイアンカ イザーの努力はどうなる?という疑問は、また別 の機会に論じよう)

先途のNHK「歴史発見」の「酒香童子は三度死ぬ」 の中で、永井豪氏は「手天童子」を「鬼の悲しい 魂を慰めるレクイエムのような物語になってしま った」と語っておられたが、永井豪作品をリアル タイムで追いかけてきた者にとっても、この作品 は、まさに見えざる「天の手」に導かれて描かれ た作品のように思われてならない。

だとすれば、「手天童子」は、鬼たちもまた平和 を望んでいるのだという、鬼たちからのメッセー ジだったのかもしれない。

豪チャンが語る手天童子

最初は、アメリカの「コナン」シリーズのようなヒロイッ ク・ファンタジーを、日本独自の感性で作れないかと思い、 「鬼の世界」のヒロイック・ファンタジーを描くつもりで始 めた作品だった。

ところがタイトルのイメージに引きずられたのか、ストーリ 一が暴走し、ヒロイック・ファンタジーというより、主人公 の「自分探し」の旅、人間の内面を探る物語になっていって しまった。

最終回を書いてるとき、ものすごい量の涙が溢れ出て止まら なかった。前世の記憶だろうか? 何か、僕自身の深い心の 闇と関係あると思う。



荒ぶる英雄

小林 泰三 が読んだデビルマン

(小説家)

「デビルマン」はなぜこうも我々の心を膚にするのか? 「デビルマン」、そして、その原形となったと考えられる「魔王ダンテ」を読んでまず驚かされるのがその壮大な神話的構造だろう。しかし、秩序を体現するべき「神」は断片的あるいは無個性な存在としてしか扱われない。そこで生き生きと描かれるのは方向を持たないエネルギーを持て余す「悪魔」たちと、それに翻弄される愚かな人間たちである。

両作品に登場する「悪魔」のイメージの元になっているキリスト教・ユダヤ教神話に関して我々日本人が持っている知識量は今では仏教神話や日本神話のそれを遥かに越えてしまっている。少なくとも1960年代以降に生まれた者たちにとっては、日本神話における人類の始祖「イザナギとイザナミ」よりも、「アダムとイヴ」の方がずっとポピュラーである。また、キリストの母がマリアであることを知らない者は珍しいが、釈迦の母が摩耶夫人であることを知る者は物知りの部類に属する。永井豪氏が「悪魔」の基本的なイメージをキリスト教・ユダヤ教神話から借りているのは「悪魔」を題材とするに当たっては当然のことである。しかし、その神話構造はキリスト教・ユダヤ教のそれとは完全に異質である。

キリスト教・ユダヤ教神話では「神」・「人間」・「悪魔」は完全に隔絶し、それぞれの位置は確固としており、互いに入れ替わることが不可能な不可逆的構造を持っている。正義とはすなわち神であり、神に反逆するものが悪である。それは文字どおり、天下りに人間に与えられ、疑われることすらない。神の言葉はすなわち宇宙の法則なのだ。

それに対し、永井豪氏の神話世界では「神」と人間と「悪魔」は互いに入り交わり、境界は曖昧となる。互いに区別することすら離しく、時に大きな逆転を見せる可逆的構造を持っている。

「魔王ダンテ」の前半ではふたつの組織の間の戦いが描かれる。ひとつは魔王ダンテの復活を目論む悪魔崇拝者たち、そしてもう一方は魔王の復活を阻もうとする神に仕える者たち。通常なら、物語はこのふたつの組織の戦いを軸に進んでいくと考える。ところが、実際には両組織とも魔王ダンテ登場とともに裏方に回ってしまい、その後ほとんど物語には登場しなくなる。注目すべきはこのふたつの組織が見かけ上、区別がつかないということだ。指導部の人間たちはなぜか人相が悪く、陰謀を巡らしている。部下たちは自分たちの組織の理想のためにはいとも

簡単に自分の命を捨て、他人の命を奪い取ってしま う。ふたつの組織は互いに相手の鏡像になっており、 その違いは相対的なものに過ぎない。

「デビルマン」において、「悪魔」たちは同族を 殺戮し合う闘争心だけの異形の怪物であることが冒 頭近くで強調されるが、最後に同族を殺し合うのは 「悪魔」たちではなく、猜疑心により理性を失って しまった人間たちである。そして、理性を失わなか った僅かな人間たちは人間の心を持ったまま、 「悪魔」の肉体を持つ悪魔人間へと変化してしまう。 ここでも、人間と悪魔の区別は曖昧だ。

さらに、衝撃的なのは神の正体である。

「魔王ダンテ」では「神」は平和に暮らしてきた「悪魔」たちを突然に襲った侵略者である。しかも、「悪魔」の醜い姿の原因は「神」のエネルギーによるものとされている。「悪魔」は徹底的に被害者だ。「神」は「悪魔」から地球を奪い取った後、無数に分列し、人間になる。つまり、人間とは「神」の分身であり、「神」とは人類のことに他ならない。「神」・人間・「悪魔」は相対化され、区別がなくなってしまう。

「デビルマン」においてはやや趣が違う。「神」についての明確な描写はなく、「神」を親と呼ぶ魔王サタンにより、「小宇宙に命を吹き込んだ」創造主として語られるのみである。「悪魔」は神の予定になかった存在であったため、滅ぼされようとしたのだという。「神」の子であるサタンは弱き「悪魔」たちに同情し、彼らと共に神に反旗を翻す。「神」が地球から去った後、「悪魔」たちは二百万年の眠りにつく。目覚めた時、地球は「悪魔」たちにとって予定外の存在である人間に支配されていた。サタンに率いられた「悪魔」たちは人間を滅亡させることに決める。しかし、サタン自らがラストで述懐するように、「サタンが「神」から『悪魔」を守るために戦ったこと」と「デビルマンが「悪魔」から人間を守るために戦ったこと」は相似である。

我々は善悪に関する多くの事柄をあたかも数学に おける公理のように疑ってはいけないものとして受 け入れてきた。「(いわゆる) 自然保護は善である」 (本当に自然を破壊したり、保護したりすることが できるかどうかは別にして)、「人類の存続を妨害す るものは悪である」、あるいは「人間の命はすべて に優先させなければならない」などと。

永井豪氏はこの思い込みを簡単にひっくり返し てくれる。世の中には無条件に決まっていること などなにもない。すべてのことは生存のための死に 物狂いの闘争の果てに獲得したものばかりなのだ。 最近の戦いにたまたま勝った方を「神」と呼び、 たまたま敗れた方を「悪魔」と呼ぶ。残酷なほど の明快さだ。

「神」や「悪魔」は絶対的な存在ではなく、容易に入れ替わる相対的な存在であるという発見は大変な驚きであった。そして、永井豪氏に刺激された物語の作り手たちの多くは「悪魔は神の被害者であった」というテーマで大量のエピゴーネンを生み出すことになった。

二大神群間の闘争は多くの神話に共通する普遍的なモチーフである。キリスト教・ユダヤ教神話をはじめとする不可逆的構造を持つ神話の中では勝った側のみを「神」とし、負けた者は「悪魔」になる。しかし、可逆構造を持つ神話では勝った側と負けた側はそれぞれ別々の機能をもった「神」になる。例えば、日本神話では、皇祖神の一人であるイザナミや民間で大黒天と習合されているオオクニヌシなどは実は敗れた側の神なのである。

そして、二大神群の狭間で、荒ぶる神や英雄たちが生み出されていく。スサノオ、ヤマトタケル、雄略天皇、天武天皇、阿修羅王、鬼子母神……。神話や古代史の英雄たちの多くは荒ぶる英雄たちなのだ。

秩序を破壊する虐殺者から新たな秩序を担う救世 主に豹変し、強烈なエネルギーを周囲にまき散らす。 人々は彼らの物語に震え、そして魅了される。

『デビルマン』、「魔王ダンテ」、『凄ノ王』、『バイオレンス ジャック』、……永井豪氏の作品に我々の心が引きつけられてやまないのは、彼らが荒ぶる者たちの系譜に連なるからではないのか? そう、デビルマンこそは現代の荒ぶる英雄である。

豪チャンが語るデビルマン

とにかく、エネルギーのいる作品だった。

書いている時の充実感はものすごかったが、普通の5~10倍 の力を必要としたので、他の連載を次々と切りながらやって いき、これ一本に精神を集中させていった。

それでもまだ辛くて、書いては休み書いては倒れ、完成させ た時には自分が燃え尽きてカスになったような気がした。

当時、自分が書いた原稿の内容を見て、自分でビックリする ことがよくあったが、「まるで何か見えない力によって書か されていた」気がするこの作品は、「未来戦争への警鐘」の 役割を負っているように思える。















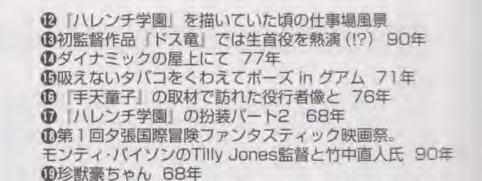


- 「アイアンマッスル」の西脇美智子のジムを訪問
- ❷社員旅行で行った猿が京温泉にて 70年
- ❸初めてのグアム旅行にて 71年
- ●ひとり雄叫びをあげる豪ちゃん 77年頃
- €スプラッタ豪ちゃん、人柄ですね
- ●兄、泰宇氏との兄弟愛?雑誌のグラフ撮影にて 80年
- 3雑誌グラフ撮影のため「ハレンチ学園」の扮装パート1 68年9特別手配中の男?永井豪 袋田温泉駅前にて 97年
- ●「けっこう仮面3」の完成発表会でニンマリ 93年
- ●体操で鍛えた肉体美 63年









◎豪ちゃんのゴルフ好きは有名(本人談:ヘタだけど…)













studio

永井豪の写真を見ていると、その人柄がよく分かる。高校生の頃の笑顔と52才の笑顔はまったく同じである。 そんな"豪ちゃん"の回りには常に人が集まる。永井豪作品の魅力は"豪ちゃん"の、人となりがあってこそ生まれるのでは。 そう思う。いや、そうなのだ。30年の歳月をたった2ページで紹介してしまう愚かさをお許しください。

東京は新宿区西早稲田に建つ、ダイナミックプロダクション&ダイナミック企画。 家、アシスタント、マネジャー、ブランナーなど総勢30人の ●有能(ですよね!)なスタッフが、日夜、陰となり日なたとなり永井豪を支えている。 ●蔦のからまる不夜城に一台のポラロイドカメラが潜入した

PHOTO · SHINOBU KAZE (DYNAMIC) NAME · SHINOBU KAZE &

IKUYA KOUMORI (DYNAMIC)



石川长生 しいりかしのだ」朝ばんな散生



くれるけど本物ではないが気のため 4 P 関 ムロちゃんが出迎えて 0 ドアを 開けると



タイナミ いてくスプレイ おおとれると かり 0 制 3P



社長宝にある オマケに空もつてるが。 時をつげるすぐれもののもかでなっ

二日酔いかかくなりました。



社長室で江事をする

温泉、スキーか好きです。

图市

江山するしているる



アミスタントの エロスを、自水する男だん

14年前にタナナシックフので生まれた。とてもおとなしり後、年の出して 刃か、4本は、とれてははした。



国先生が食品っている 猫のよばき



漫画家山水下个不和意光生

かなマンガを描いてみたいです。 セーラームーンが大好き。



もか、今では日本語はやうべうです。イタリアでアニメのグレンゲイヤー

ダイナミック外観

ツタかうっとうとせなっている

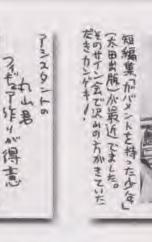


女ガズオ母キヨコ よろとてネーデザインをせています。ごは文を 北秋野さんの実家では織物



はなざないとは鉄ジーケを福いてはなざないとはなどのたらかラスを





経理の国政さん





見る。 ら仕事ぶりを ンスシャックの WEENSORED

ダイナミンク企画の

豪班の聖取 星君佐

です。

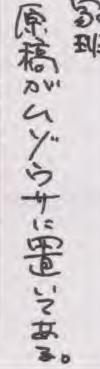
カワイ丁孝昌くん(三才半)に 毎日ベアタリというべいさん

白鳥人人

歌

任事は

ダイナミクを重めるディコ



マラナミックへ口の



カリシャで大はしますインないでアロになるのかン人、れ、企画の世事で

一元九七・一・三にエの下川

いソコンで遊んでいる

2=3

以下三う企画の徳原 元



人間です。格解枝太好き







新婚です。オメデトウノ・格回枝つアンでもある。





list of his work

967.....1976

全ては「目明しポリ吉」からはじまった。

1967

目明しポリ吉 (ぼくら・11月号) ヤダモン (原作: うしおそうじ・ぼくら・12~'68.7月号)

1968

タ日の剣マン (別冊少年マガジン・1月号) ちびっこ刑事ちゃん (別冊まんが王・1/15号) じん太郎三度笠 (少年マガジン・2/4~3/3号) ハナの三四郎 (別冊少年マガジン・2/20号) 三匹の剣マン (少年マガジンコミックス・春の 特大号、初夏号、夏季号)

豪ちゃんのふあんたじい・わらうどバン (COM・4月号)
 地獄の剣マン (別冊少年マガジン・4、8、9号)
 馬子っこきん太 (まんが王・5~69.12月号)
 いざり市物語 (COM・5月号)

ハレンチ学園 (少年ジャンプ・7/25~72.9/25号) アラー君 (ぼくら・8~69.10月号) 電撃四郎イナズマ作戦 (別冊まんが王・8/15号) 風天忍法帳 (少年ジャンプ・8/22号) ラ・サムライ (COM・9月号)

ラ・サムライ (COM・9月号) ブラボー!! 先生 (少女フレンド・9/7~10/1号)

ウスラセブン (少年ジャンプ・9月26号) 会心作 (COM・10月号)

新撰組そまつ記 (少年ブック・10月号) パンジーちゃん (なかよし・11月号)

くいしんボクちゃん (小学一年生・12月号) レシーブちゃん (なかよし・12月号)

1969

なぞなぞぼうやXくん (小学1年生・1~3月号) ウルトラスパイヒゲゴジラ (少年ブック・1月号) ゆめの世界のマリちゃん (なかよし・1月号) ごうけつミカちゃん (なかよし・お正月増刊号) わんぱく野郎のメカニック大戦争

(少年マガジン・1/1号)目明しポリ吉(COM・1月号)ファイティングパンツくん(少年ブック・2月号)

キッカイくん (少年マガジン・2/2~70.11/8号) ダイマチ先生 (なかよし・2月号)

女番長ほういん大子 (少年画報・3月号) ハンサムくん (なかよし・3月号)

(りぼんコミック・2月号)

みがわりパンジーちゃん (なかよし・3月号) ハンターくん (少年ブック・3月号)

コイビトくん (少年ブック・4月号)

スイートちゃん (少女フレンド・4/22~5/27号) ファニーボーイ (ファニー・5月号)

猛烈デタラメ漫画シリーズ

きまぐれ教室

(ジョーカー・5/9~8/4号) ピンキーの恋のキゼツ (りぼん・6月号) スイートちゃん (少女フレンド・7/8~12/25号) あばしり一家 (少年チャンピオン・8/10~'73.4/9号) 学園番外地 (少年画報・9/8~'70.9/22号) 西部の用心棒マカロニちゃん (別冊まんが王・9/15号) 豪ちゃんのハーレーざんこく笑

(少年マガジン・9/28~12/21号)

大盗賊 (別冊まんが王・秋季号) チャンウン (ぼくらマガジン・11/18~12/26号)

1970

きすらい学徒 (まんが王・1~5月号) 鬼 (少年マガジン・1/1号) こまっチャーム (少女フレンド・1/6~6/23号) ひどい巨塔 (ビッグコミック・1/10号) すきすきスキーちゃん (少女フレンド・1/20、1/27号) 怪傑ウルトラスーパーデラックスマン

(ぼくらマガジン・2/17~9/22号) GO! GO!GO ちゃん笑 (別冊少年マガジン・2~7月) ガクエン退屈男 (ぼくらマガジン・2/17~9/22号) GO!豪!ナンセンス (少年サンデー・3/22~7/5号) 吸血鬼狩り (別冊少年マガジン・4月号) 人類の進歩と不調和(サンデー毎日増刊劇画・5/9号) 小説・天国と地獄 (プレイコミック・6/27号) 豪ちゃんのふしぎな世界 (少年サンデー・7/12号) (少年サンデー・7/19~71.6/27号) ボーイハンター (女学生の友・8~9月号) 天国と地獄 (ぼくらマガジン・8/11号) 社員はV (週刊読売・9/11号) かいじゅうはかせポコペンちゃん

(小学一年生・9~71.1月号)

三四郎 (漫画サンデー・9/12号)

キャプテンバースト

(SFマガジン・11月臨時増刊号)

[TV]

ハレンチ学園 (東京12ch・10~'71.3月)

[劇場]

ハレンチ学園 (にっかつ) ハレンチ学園 身体検査の巻 (にっかつ)

ハレンチ学園 タックル・キッスの巻 (にっかつ)

1971

魔王ダンテ (ぼくらマガジン・1/1~5/31号) ゴルゴ17・18・19 (ビッグコミック・1/10号) チャカぼこ (幼稚園~小学六年生・2~8月号) 野牛のさすらう国にて (少年マガジン・1/24、1/31号) 百円病院シリーズ (別冊少年マガジン・4月号) 幻想恐怖絵噺 (少年マガジン・4/11~4/25号) 永井豪読み切りシリーズ

(少年ジャンプ・6/29~7/19号) やっこらショ (COM・7月号)

[劇場]

新ハレンチ学園 (にっかつ)

1972

オモライくん (少年マガジン・1/1〜6/4号) あにまるケダマン (少年サンデー・1/16〜10/22号) がんばれスポコンくん(少年キング・1/9、1/16〜2/13号) 電人サンダー (たのしい幼稚園・5〜7月号) デビルマン (少年マガジン・6/11〜'73.6/24号) マジンガーZ (少年ジャンブ・10/2〜'73.8/13号) [TV]

デビルマン (NET・7~'73.3月) マジンガー Z (フジ・12~'74.9月)

1973

ドリーマン (少年サンデー・2/18号)

廃人20面チョ (少年ジャンプ・3/12号) もーれつガリベンくん (少年サンデー・4/22号) 霧の扉 (少年マガジン・5/13号) ちょっとだけよ! (劇画ゲンダイ・6/3号) 白雪姫 (少年チャンピオン・6/4号) はれんちレンコンマンちゃん(少年サンデー・6/24号) バイオレンスジャック

(少年マガジン・7/22~'74.9/30号) ドロロンえん魔くん (少年サンデー・9/30~'74.3/31号) キューティーハニー

(少年チャンピオン・10/1~'74.4/1号) マジンガーZ (テレビマガジン・10~'74,9月号) [TV]

ドロロンえん魔くん (フジ・10~'74.3月) キューティーハニー (NET・10~'74.3月) [劇場]

マジンガー Z 対デビルマン (東映動画

1974

真夜中の戦士 (少年ジャンプ・4/22号) 女子大生 (週刊サンケイ・4/26~5/3号) 快ケツ平社員 (週刊ポスト・4/27号) ドンケツ王 (少年サンデー・5/19号) バクラツ教室 (少年チャンピオン・7/22~8/5号) イシャシャしゃん (問題小説・8~10月号) おいら女蛮 (少年サンデー・8/4~'76.1/18.1/25号) けっこう仮面 (月刊少年ジャンプ・9~'78.2月号) グレート・マジンガー

(テレビマガジン・10~75.10月号) イヤハヤ南友 (少年マガジン・11/3~76.4/28号) ダイガク無籍人 (週刊プレイボーイ・11/12~75.9/2号)

グレートマジンガー (フジ・10~75.9月)

[劇場]

マジンガー Z 対暗黒大将軍 (東映動画)

1975

シャーヤッコ・ホームズ

(月刊少年マガジン・1月、77.2月、79.2~9月号) 手天童子(邪神戦記) (プリンセス・2月号) ハゲ髪鬼毛毛一発 (少年ジャンプ・4/21号) ドキドキどし〜ん!! (マーガレット・6/1号) リョコー少年団 (増刊少年キング・8~76.7月号) 心霊探偵オカルト団 (少年キング・8/18~76.5/24号) UFOロボ グレンダイザー

(テレビマガジン・10~76.5月号) シャーヤッコ・ホームズ (フォーライフ・12月号)

[TV]

鋼鉄ジーグ (NET・10~'76.8月) UFOロボグレンダイザー (フジ・10~'77.2月) [劇場]

グレートマジンガー対ゲッターロボ (東映動画) グレートマジンガー対ゲッターロボG空中大激突

(東映動画)

(東映動画)

宇宙円盤大戦争

1976

女賊ふろとかげ (少年ジャンプ・3/29号) ビバ!!女子プロレス (週刊プレイボーイ・4/17号) 混乱列島 (原作:筒井康隆・週刊小説・4/26~9/13号) チェンジ! さぶ (少年アクション・5/17~7/12号)

list of his work

1976-----1987

新境地を開拓。視線はさらに深く鋭く。

へんちんポコイダー (テレビマガジン・6、10、77.1月号) キングボンバ (てれびくん・6~77.7月号) ハマグリどっせ~!! (週刊明星・6/13~'78.6/4号) ガルラ (テレビマガジン・7~77.2月号) どんがら三銃士 (小学二年生・7~177.3月号) 手天童子 (少年マガジン・9/5~'78.4/23号) ビバ!女ターザン (週刊プレイボーイ・10/12号) いちもつクン (女性自身・10/20~'77.3/3号) 怪傑痴仮ン面 (プレイコミック・10/28、11/25号) (月刊少年ジャンプ・11月号) ハレンチ学園 無頼・ザ・キッド(マンガくん・11~78.4/25号) [TV]

グロイザーX (東京12ch・7~'77.3月) バトルホーク (東京12ch・10~'77.3月) プロレスの星アステカイザー (NET・10~'77.3月) 「劇場]

グレンダイザー対グレートマジンガー(東映動画) グレンダイザー・ゲッターロボG・

グレートマジンガー決戦大海獣 (東映動画)

1977

氷壁の母 (増刊少年ジャンプ・1月号) パイオレンスジャック

(月刊少年マガジン・1~78.12月号)
ファンタじい (月刊少年ジャンプ・3月号)
電送人バルバー (テレビマガジン・4~10月号)
あばしり一家・ゴエモン星人 (プレイコミック・4/7号)
おさかん家族 (プレイコミック・4/21号~78.4/13号)
豪ちゃんのあら?えっ!さっさ~

(サンジャック・7~78.1月号) (女性セブン・8/31号)

バイオレンスカー炎の鷹

遗品

(少年キング・10/3~'78.1/23、1/30号) 超人間現わる (マンガ少年・12月号)

1978

カス闘技世界一決定戦 キッカイ対オモライ (少年マガジン・1/1号)

ガリキュラろぼちゃード・キーン

(少年ジャンプ・1/30~2/6号) 若バカさま (少年キング・2/20~7/13号)

(少年キング・2/20~7/13号) 若バカさま (単行本収録·3/30) 鏡の中の宇宙 (月刊ジャンプ・3月号) 第三時中華大戦 (月刊少年ジャンプ・4~179.3月号) 超マン (少年ジャンプ・4/24号) おちこぼれクン 黒の獅士 (少年マガジン・5/28~ 79.6/10号) 永井豪フェスティバル(月刊少年マガジン・5~7月号) スペオペ宙学 (少年サンデー・8/10~'79.5/20号) へんきんタマイダー(マンガくん・8/10~79.3/25号) (少年キング・9/5号) 魔人戦車バルドス 炎魔地獄 (マンガ少年・9月号) ビバ!スターウォーズ (週刊プレイボーイ・11/3号) [TV]

魔女っ子チックル (テレビ朝日・3~79.1月)

1979

都市M1 (増刊少年マガジン・1/15号) 新デビルマン (バラエティ・2月号) ゴエモン先生 (月刊少年ジャンプ・4~'80年7月号) 新デビルマン (原作:第1話・辻真先第3話・高円寺博・ 増刊少年マガジン・5/25、'80.1/25、9/15、'81.3/16、5/8号) 花平バズーカ (原作: 小池-夫・ヤングジャンプ・ 6/7~'82.1/7、1/14号)

00学園スパイ大作戦(少年チャレンジ・6~81.7月号) 凄ノ王 (少年マガジン・7/22~'81.4/8 号) 髑髏の館 (女性セブン・7/27~9/26号) UFOから来た少年ムー (ムー・8~'80.春季号) いや~んハニー (プレイボーイ・10~'80.5月号) 思い出の K君 (少年ワールド・12月号) シューマン夫人とブラームス・愛のコンチェルト (サウンドレコパル・12月号)

1980

Xボンバー (フジ・10~'81年3月)

1981

まぼろしパンティ(月刊少年ジャンプ・1~82.5月号) まいるど7 (少年チャンピオン・5/1~10/30号) 魔法人形ペンドラ (よいこ・6~82.8月号) 魔獣大陸(原作:川又千秋・野生時代・6~84.1月号) ハレンチ学園vsトイレット博士(ヤングジャンプ) 花の独身チョンガーマン (増刊ヤングジャンプ) マリコ・ワイルド (原作:川又千秋・ヤングジャンプ) DON! (増刊少年マガジン・7/10号) 00スパイ春太郎

(少年チャレンジ・7/10~'82.1/22号) 「族」狩り (漫画ゴラク・8/7号) This is 大介 (少年マガジン・8/11~12/15号) 真夜中の戦士

(増刊少年マガジン・9/11~'82.10/29号) シンデレラ騎士 (マーガレット・10/9~'82.4/23号)

1982

女子プロレス2100年(ジャストコミック・2月号) スーパーにゃん (コミックボンボン・3~6月号) 翼の人々

(原作: 団龍彦・ヤングジャンプ・3/18~7/22号) 青春の雨 (増刊ヤングマガジン・4/26号) 鉄戦士ムサシ (コロコロコミック・4~'83.3月号) 快ケツ婦饕さん (漫画アクション・11/28号) [TV]

ロボッチ (テレビ東京・10~'83.6月)

1983

夢少女レイ (ヤングマガジン・1/17号)
 アイアンマッスル (少年マガジン・2/2~11/30号)
 ぼくたちドーテー隊 (ヤングマガジン・3/17号)
 超少女UFO (中一時代・4~'84.3月号)
 おれのロリータ (週刊プレイボーイ・4/5号)
 アブNO学園 (ヤングマガジン・4/18~6/20号)
 鉄の処女JUN

(ビッグコミックススピリッツ・5/15~11/15号)恋の傷みは超特急 (ジャストコミック・5月号)鬼 [ONI] (エピック・6月号)

バイオレンスジャック

(漫画ゴラク・8/5~'90.3/23号)

超能力戦士ジェネス

(原作:永井秦宇・増刊SFアドベンチャー) バラバンバ (スコラ・10/13~'84.8/9号)

[TV]

ゴーバリアン (テレビ東京・7~'83.12月)

1984

超能力戦士ジェネス

(原作: 永井奏宇・SFアドベンチャー・2~5月号) ドジラセンセー (コロコロコミック・10~85.8月号) ゴッドマジンガー (小学館・描き下ろし)

[TV] ゴッドマジンガー (日本テレビ・4~'84.9月) [OVA]

超能力少女バラバンバ (JHV)

1985

先セーション(漫画アクション・5/29~8/5号)凄ノ王伝説・火神子(パラエティ・6~'86.3月号)コミック郵性省(野生時代・7月号)ピンクのグリーン(BIGゴルフコミック)イソギンチャクサマー(平凡パンチ・9/9号)

[ビデオ]

マジンガーZ・TVシリーズ (東映ビデオ) マジンガーZ・劇場版1・2 (東映ビデオ) キューティハニーTVシリーズ1 (東映ビデオ) [OVA]

夢次元ハンター ファンドラ レム ファイト編

(日本コロムビア)

1986

マシンガン刑事さぶ (コミックウー・1/18~5/19号) その後のヒゲゴジラ (AVIC・8月号) サムライ日本

(ビッグコミックススピリッツ・8/25~10/20号) ランボーセンセー (少年宝島・12/19~'87.3/6号) [ビデオ]

マジンガーZ・T V シリーズ2・3 (東映ビデオ) マジンガーZ・劇場版3 (東映ビデオ) UFOロボグレンダイザー・T V シリーズ

(東映ビデオ)

キューティーハニー・TVシリーズ2 (東映ビデオ) [OVA]

夢次元ハンター ファンドラ2 デッドランダー編 (日本コロムビア)

夢次元ハンター ファンドラ3 ファントス編 (日本コロムビア)

バイオレンスジャック ハーレムボンバー

(ボニーキャニオン)

1987

夢必殺拳 (月刊少年マガジン・1~8月号) バラバンバ2 (コミックバーガー・4/14~11/15号) 新・凄ノ王 (COMICハンマー・7/14号) [ビデオ]

マジンガーZ・T V シリーズ4 (東映ビデオ) グレートマジンガー・T V シリーズ (東映ビデオ) キューティーハニー・T V シリーズ3 (東映ビデオ) [OVA]

デビルマン誕生編 (キングレコード)

list of his work

漫画家生活30周年。そしてここから。

1988	CBキャラ永井豪ワールド・	[実写日
フルメタルレディ (ベアーズクラブ・8月号)	オレは強いぞ!マジンガーZ (バン	
[OVA]	CBキャラ永井豪ワールド・	
バイオレンスジャック・地獄街 (JHV)	これが最後だ!バイオレンスジャック (バン	ダイ) [L]
1989	手天童子・鬼獄の章 (日本コロム	
バブルエンジェル (漫画サンデー・1/3号)	カーマスートラ	(東宝) [OV
獣神ライガー (コミックボンボン・3~'90.3月号)	1992	新キューティーハニー1~
凄ノ王伝説・闇の魔人編(野生時代・4~'90.3月号)	ヒトコママンガ (コミック産経・3	/17号) 19
凄ノ王伝説外伝 (コミックコンプ・5~6月号)	ロボチョイA	メモリーグラス (チャン
スーパー西遊記	(月刊コロコロコミック・6~'93.7	
(コミックGENKI・夏の号~90.冬の号)	マジンサーガ (ベアーズク	The state of the s
[TV] (エレビ和ロ 0 100 + 日)	Cutieハニー (週刊SPAI・7/5~'93.	
獣神ライガー (テレビ朝日・3~'90.1月) [実写ビデオ]	株式会社徳川家康(原作:新宮正春・集	
永井豪のこわいZONE (バンダイ)	単行本第5巻描き下ろし	The state of the s
「ビデオ]	石川県環境漫画	[実写ビ
マジンガーZ必殺技コレクション1~2 (東映ビデオ)	[実写ビデオ]	平成ハレンチ学園
[OVA]	永井豪のホラー劇場 霧加神	[LI
手天童子・憑鬼の章 (日本コロンビア)	(タキ コーポレーシ 永井豪のホラー劇場 マネキン	/ョン) マジンガーZ・TVシリー
1990	(タキコーポレーシ	- 1. V
株式会社徳川家康		
(原作:新宮正春・報知新聞・1月~9/28号)	おいら女蛮 (タキコーポレーシ	
ZIPANG (ベアーズクラブ)	[LD]	
カーマスートラ	劇場版マジンガー Z 対暗黒大将軍 (東映ビ	ハレンチ紅門マン遊記
(構成:長谷邦夫・徳間書店・描き下ろし・3~11月)	劇場版グレートマジンガー対ケッターロボG	
RED STRINGS (週刊ヤングジャンプ)	(東映ビ	The state of the s
霊界探検 (ベアーズクラブ)	劇場版UFOロボグレンダイザー対グレートマ	
マジンサーガ	ガー(東映ビ	
(週刊ヤングジャンプ・12/13~'92.3/15号)	劇場版グレンダイザー・ゲッターロボG、グ	
[実写ビデオ]	トマジンガー 決戦!大海獣 (東映ビ	
空想科学任侠伝 極道忍者ドス竜 (東北新社)	キューティーハニー・TVシリーズ1~4	LD-BOX(円谷
永井豪のこわいZONE 2 (バンダイ)	(東映ビ	
けっこう仮面 (JHV)	[OVA]	デビルマンレディー (週刊
[ビデオ]	けっこう仮面2 (日本コロム	
バイオレンスジャック・ハーレムボンバー	あばしり一家 (ポニーキャニ	オン) 吸血温泉へようこそ (コミ
(大陸書房)	鉄の処女JUN (日本コロム	ピア) サムライワールド1~6
バイオレンスジャック・地獄街1~2 (大陸書房)	花平パズーカ (日本クラ	ウン) 1.豪談児雷也 2.豪談霧隠才蔵
マジンガース・TVシリーズ5 (東映ビデオ)	おいら女蛮 (日本コロム	ビア) 4.豪談後藤又兵衛 5.豪談真田
[OVA]	黒の獅士・陣内篇 (日本コロム	ピア) (中央公論社
手天童子・降魔の章 (日本コロムビア)	1993	[実写ビ
デビルマン・妖鳥シレーヌ編(講談社・バンダイ)	闇の宴 (小説中公・1~'94.9	
バイオレンスジャック・ヘルスウィンド (JHV)	ドラグ恐竜剣(月刊コロコロコミック・8~'93.3	3月号) [TV
1991	パイオレンスジャック	キューティーハニーF (T
感動温泉 (フロム・エー・5/28号)	(日本文芸社・描き下ろし・	
ミストストーリー (月刊ジャンプ・6~'92.9月号)	[実写ビデオ]	グレートマジンガー・TV
アニマード (週刊ファミコン通信・7/26~92.4/10号) 一発百万申し受け候		JHV)
(原作:高橋三千綱・Mr.ゴルフ・8~'92.3月号)	[LD]	to-to-to-
カントクくん(ヤングジャンプワーキングデビュー)	キューティーハニー・TVシリーズ5 (東映ビ	
(実写ビデオ)	デビルマン・TVシリーズ1~3 (東映ビ	74)
美少女探偵 まぽろしパンティ (マグザム)	1994 THE BIRD (週刊ヤングジャンプ・4/14~9	V4 E \
[LD]	平成ハレンチ学園 (週刊漫画ゴラク・5/13、8/5	10,24
劇場板マジンガー Z 対デビルマン (東映ビデオ)	大牙 (マンガボーイズ・7~95.5	
[OVA]	ダンテ神曲・地獄編	(1.9)
The same of the sa	T T MAN PER CANADID	

ビデオ]

怒りの雷鳴

(バンダイビジュアル)

D]

4~5 (東映ビデオ) VA]

-4 (東映ビデオ)

レビオンJack・3/1~96.2号》 談社・描き下るし・10月) ールトランス・11~連載中)

サンデー・12/5、12/12号) |刊宝石・12/~'97.4/10号) ビデオ]

(タキ コーポレーション) D]

- XLD-BOX1~3

(東映ビデオ)

VA]

(東映ビデオ) (ピンクパイナップル) (ピンクパイナップル)

店・描き下ろし・1~3月) コロコミック・8~972月号) D

Vシリーズ LD-BOX1 (東映ビデオ)

ザー・TVシリーズ 谷コミュニケーションズ)

|モーニング・1/30~連載中) (BUZZ・3~連載中) ミックバズーカ・5~7月号)

蔵 3.豪談猿飛佐助

田軍記 6.豪談荒木又右衛門 社・描き下ろし・4~9月)

(ミュージアム)

V]

T V朝日·2/15~放映中) D]

VシリーズLD-BOX1~2 (東映ビデオ)

●その他の作品

(講談社・上下巻描き下ろし・9月)

勇士ダンダン (少年王・10~'95.7月号)

ハレンチ紅門マン遊記

鬼の首風雲録 (面白半分・5~'78.1月号) 魔界水滸伝 (イラスト・野生時代'81.10月号) (週刊漫画ゴラク・12/16~'95.6/2) GO! 豪! シアター (エッセイ・獅子王'85年)

手天童子・鉄鬼の章

CBキャラ永井豪ワールド・

オレは悪魔だデビルマン!

けっこう仮面1

(日本コロムビア)

(日本コロムビア)

(バンダイ)

幻のデビュー作

ファンならご存じのとおり永井豪のデビュー作は「目明しポリ吉」。

しかしその数か月前に「ぼくらマガジン」誌上で掲載されるはずだった、いわば幻のデビュー作品が、この「ゴー・ゴー スイート」だ。 諸般の事情により日の目を見ることはかなわなかったが、テンション、スピード感、クオリティ、いずれをとっても、天才の出現を予感させるには充分な内容。 本名の永井きよしがクレジットされている、唯一の"作品"としても大変貴重な資料である。本を横にして読み進めて頂ければ。

完











録





























































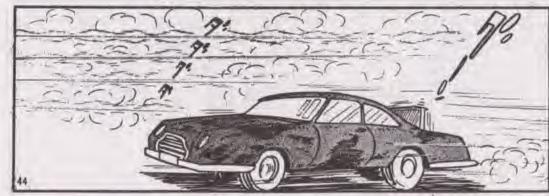






































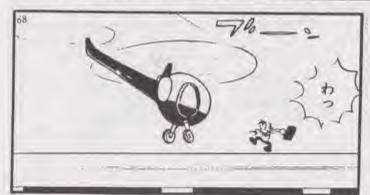




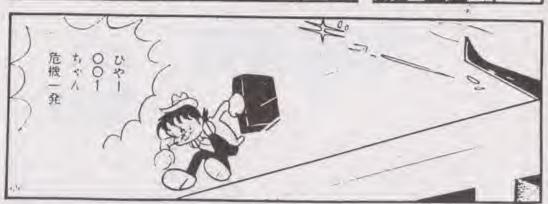


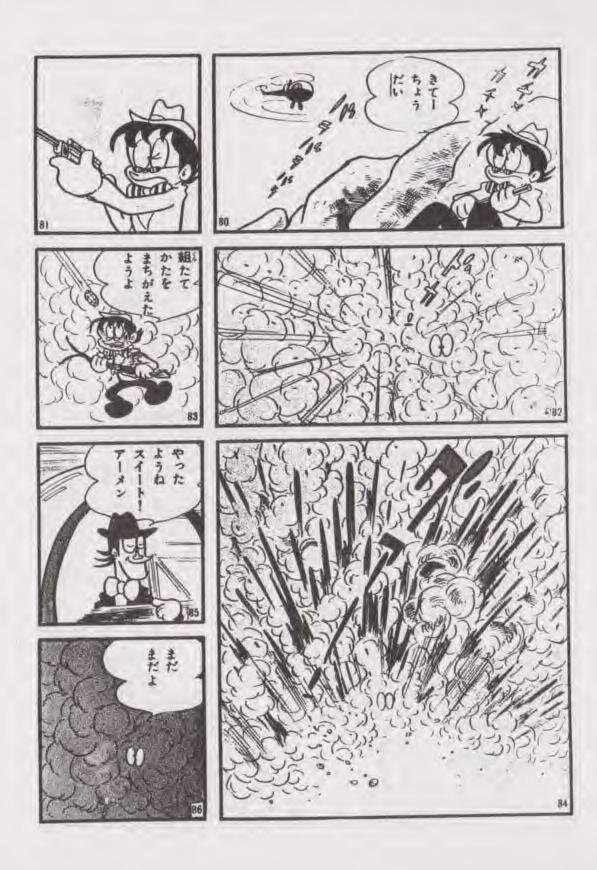




























この作品を出版社に持ち込み、力量を認められて、マンガ家デビューが決まりました。 ボクは本来ストーリーマンガ家志望だったのですが、 石森プロでのアシスタント生活が忙し過ぎたため、

時間をかけずに書けるギャグマンガで勝負することにしました。 これは、アシスタント業をやりながら猛スピードで描き上げたものなので、

今あらためて見直すと、雑なところが目に付いてヒヤ汗ものです。

しかし、その後の作品に見られる持ち味や要素がたくさん入っているので、

紛れもなく、ボクのマンガ家人生はこの作品でスタートしたと言えるでしょう。

1997 永井豪

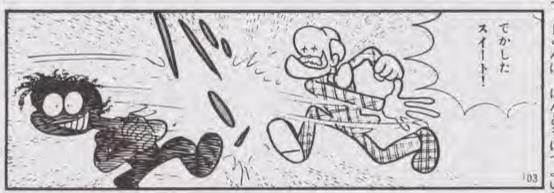
●一部文字にカスレ、ニジミ等がみられますが、なにぶん30年前の印刷、ご客鼓いただければ幸いです。また、原稿を提供してくださった永井豪ファンクラブの会長・山岡謙一氏には、この場を借りて厚く側礼申し上げます。

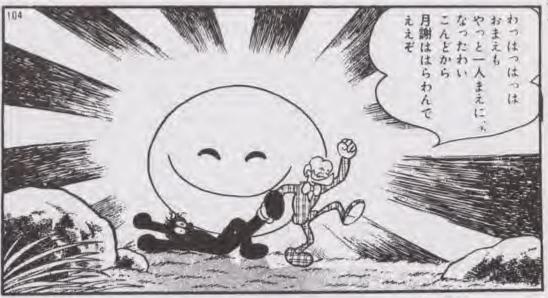












おわり)

戦うマンガ家ここにあり _{永井 豪}

戦ってきた。無我夢中で戦い続けてきた。今も、そしてこれからも戦っていこうと思っている。「何と)」 もちろん「マンカ」とである。

僕がマンガ家の道に踏み込んでから、何と30年もの年月が終ってしまったそうだ。何故「そうだ」と伝じ調にしたかというと、実は当人である僕自身に、そんなにも長い年月、マンガ家をやり続けてきたという言葉がまったくないからなのだ。

確かに30年といえば、世の中が一変するに足る。充分長い時間である。僕がデビューした1967年には、ソイッキーの登場により世界中にミニスカート・ブームが巻き起こり、日本の女性たちもミニスカで街を闊歩していた。そして今 再びミニスカが流行っているが、最近の日本女性のスタイルの長さといったら、30年前のツイッキーもまっ言してある 日本人の体型一つとっても 30年という年月のもたらす変化はスゴイン

しかし、僕は常に「前しか見ない」性格で、昨日のことさえすぐに忘れてしまい、意識はいつも明日、来 週、来年のスケジュールに向いていて、思いは数十年先の方に飛んでしまっている。さらに言うと、過去に 関しては良いことだけしか覚えていないし、未来についても楽しいことしか思い浮かはない。これなオメデ タイ性格だから、ここまで続けてこられたのかもしれない。

だからこの度、30年ということで頻繁にインタビューを受け、過去の出来家や当時の心型について別的もれる度に、意識の回路をなかなか過去モードに切り替えられず、アタフタしている。心中次回のストール・ 展開や、次に描きたい作品、将来したいことの方に向いてしまっているからた

さて、僕にとって「30年」とは一体何を意味しているんだろう? 一つだけ言えるのは、「マンカ」という表現手段が、30年間やそこらやってきただけでは極めることの出来ない、重に奥の深い手強いヤッチゅうにいうことた。

ところで、僕はいつも「漫画」という言葉を使うときに、カタカナで「マンガ」とひらくことにいている 漢字の「漫画」には、明治時代の古い漫画を連想してしまう。漫画を「マンガ」と表記することによい、B 本の漫画の枠を超えた。何か新しいインターナショナルなメディアになるようだ気がして、僕にかなり昔から日常的にカタカナ表記を用いることにしている。

果たして、今や日本のマンガは世界的なブームになり、MANGAといえば日本製コミックスを意味する 言葉として海外で通用するほど、インターナショナル文化へと成長を遂げた。これも30年の歳月かもたらし た変化のひとつと言えるだろう。

僕が30年間戦い続けてきた「マンガ」とは一体なんであろう? それは、絵で表現するドラマであり、笑いてあり感動であり、アートであると思う。

表現手段としてのマンガは、極めて奥か楽く、しかも幅が広い。作家一人一人によって、全く返ったアプローチの仕方が可能であり。中心となるキャラクターひとつとっても。大同さぎ葉のようにリアルに映し出して現実的な日常で切り取ることも可能なら、とても人間の姿とは思えら程デフォルメされたキャラクターに、哲学的で可味深なセリフを吐力と、大バカをやらせてそのギャップの面白ささアピールすることも可能である。つまりマンガは、映画以上にナンデモアリの表現手段なのた。

まったく、トレデモナイ化け物、無限とも思える表現手段に、首を突っ込んでしまったものだと思う。「マレガ」を手なづけるには30年なんかじゃとっても足りやしない、というのが現在の正直な気持ちである。

それでも、僕の場合ギャヴマンガから始められたのはとてもラッキーッ! だったと思っている。もともと、ストーリーマンガ志望だったのだか 石森プロでのアシスタント生活が余りに忙しすぎて、絵の仕上げに時間のかかるストーリーマンガは描けなかったため、簡単にできるギャヴマンガでデビューしたのであった。しかし、アレンチ学園 の大ヒット以後、数多くのギャヴマンガを描き続けたことで、マンガを地、うえで、一番大切なことに気付くことができたし、ストーリーマンガを描くようになってからも、表現の個を広げられるという意味で、とても大きな収穫となった。

「マンガを描く上で大切なこと」とは、楽りみながら描くということに尽きると思っている。キャフマンガを描いていた頃、僕は自分のギャグがオカシくてオカシくで、大笑いしながら描いていた。「ハレンチ学園」の時も、夜中に笑いが止まらなくて困ったことも度々で、アシスタントたちも一緒になって笑い転げながらやっていた。描くのが楽しいので、死ぬほど忙しいことも、世間から非難されていることも、まったく気にならなかった。

ストーリーマンガを描くようになってからも、「楽しんで描く」という僕の基本姿勢は少しも変わっていない。ギャグとストーリーでは楽しさの要素は違うのだが、自分が楽しんで描くことか、作品をツィグイ引っ張っていく原動力になっていると思う。

楽しんでやってきたマンガの道であるが、もちろん辛いことに山ほどある。それぞれの報話の編集方針に従わなければならないし、読者の期待に応えなければ、アッという間に連載中止に追いしまれる。力を込めて生み出したキャラクターが充分に活躍できぬまま終わってしまうのは、自分の子供を交通事故で死なせてしまったように悲しい。そんな時には、自分の力不足を反省し、作品やキャラクターに「ゴメンネ」と謝ってしまう。

そういう辛い思いをしたくないので、僕は今日も、これからも戦い続ける。僕の特でも限りの知識やアイデア、テクニックを用いて、魅力のあるストーリー展開や画面作りをしていく努力により、自分が生み出したキャラクターを「生かし続けていく」戦いこそが、僕とマンカとの戦いなのである。





TATSUMI MOOK

"GO NAGAL All His Works"

平成9年10月10日第1刷発行

監修 ダイナミックプロダクション

発行人 廣瀬和吉

編集人 宮入正樹

発行所 辰巳出版株式会社

〒160 東京都新宿区新宿2-15-14辰巳ビル TATSUMI PUBLISHING CO.,LTD TATSUMI bild, 2-15-14 SHINJUKU SHINJUKU-KU TOKYO 160 JAPAN

TEL. 03-5360-8088

印刷 図書印刷株式会社

PLANNING Automatic inc.

MAKING DIRECTOR Shunji Koike (Automatic inc.)

EDITORIAL STAFF Hiroshi Watanabe (Automatic inc.), Takahiro Gohzu (Automatic inc.)

ART DIRECTOR & COVER DESIGN Toshihiko Kyomen (Kyomen Design Office)

DESIGNERS Riku (Automatic inc.), Tetsufumi Saitoh, Takayuki Kondoh,

PHOTOGRAPHERS Luca (Automatic inc.), Takamoto Tokuhara

WRITERS Kaoru Hanai (Automatic inc.), Masahiro Haraguchi, Junk Yuji (Burst)

ADVISORY EDITOR Atsushi Yoshida (Tatsumi Publishing)

TOTAL ADVISER Kazuhiro Miyajima (Tatsumi Publishing)

SPECIAL THANKS Ikuya Koumori (Dynamic Production), Rika Ishii (Dynamic Production) Federico Colpi (Dynamic Planning), Kenichi Yamaoka(Memory Bank) Tamiko Arakawa, Naomi Yoshida, Yoshiko Akuzawa, Sigmac, Tatsuya Hatta Kyo Hirai, Osamu Mizuno, Izumi Horikiri, Suzuko, Fumiyo, Akira Kasahara

COLLECTION COMICS Memory Bank, Masaharu Tsubota TOYS Tadao Miura, Kihei Kawamura

MAKER&SHOP

- ●海洋堂/06-909-1220●コスチュームパラダイス/03-3770-3551●コテメンドウ/0463-24-9005
- ●日本切手/052-853-0111●バンダイ/03-3847-5116●バンプレスト/0473-67-7148
- ●フューチャーショップ/03-3460-9742●ボークス/075-955-2087●マックスファクトリー/0471-764595
- ●メディコムトイ/03-3460-3933●モデルガレージ/06-458-5450●モビ
- ●ユタカ/0471-43-9671●夢工房宝島/06-382-9117●レッズ/03-3863-0576

PRESENT FOR READER

5名 @1/6ソフビ 妖鳥シレーヌ (ボークス) 6名 @リアルアクションヒー ローズ グレンダイザーP46 (メディコムトイ) 3名のTシャツ デビルマ ンP76 デビルマンP86 ② デビルマンP87 (コスチュームパラダイス) 3名6Tシャツ デビルマンP78 デビルマンP83上右 (フューチャーシ ョップ)各2枚4名 ③ シルバーリング「デビルマン」 シレーヌ 「デビルマン スカルP79 (フューチャーショップ) 3名

●申し込み方法 巻末に添付されているハガキに住所・氏名・年齢などを明 記して、アンケートにお答えの上ご応募ください。

●締め切り 1998年8月31日(当日消印有効)。当選者の発表は、商品の発 送をもって代えさせていただきます。

















THANKS FOR DOWNLOADING



IF YOU ENJOYED THIS SCAN, THEN WHY NOT DONATE SO THAT I CAN ACQUIRE MORE BOOKS & MANGA. OR, IF YOU HAVE SOMETHING, YOU CAN ALSO SEND ME IT TO SCAN.